

Pioneer

オーディオブック
AUDIO BOOK

応用
編



HDD AVナビオートサーバー

AVIC-VH9990

HDD AVナビオートサーバー

AVIC-ZH9990

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ:
システム設定

その他の機能

付録


carrozzeria


安全のために必ずお守りください

絵表示について


取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。

 このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。

 このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ
システム設定

その他の機能

付録

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】



モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
 注意	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例： 戻る にタッチする
メニュー	ナビゲーション本体やリモコンについているボタンを表します。 例： メニュー を押す AVIC-VH9990をお使いの場合、一部タッチスイッチが採用されています。→『スタートブック』 本書では、それらスイッチについても「〇〇〇を押す」と表記しています。
▲ / ▼ / ◀ / ▶	ロータリーコマンド&セレクターを上下左右に押すことを表します。 例： ▲ / ▼ プリセットチャンネルを順に送ります。
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→『音楽ディスクの再生』(P40)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す / 長くタッチする	“ピッ”と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける / タッチし続ける	押している(タッチしている)間だけ動作していることを示します。



- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・本書では、「NAVI*STUDIO Ver.3.2」を「NAVI*STUDIO」と表記しています。
- ・本書では、タッチパネルの操作を基本に説明しています。リモコン操作がタッチパネルの操作と異なる場合は、「リモコン操作：〇〇」と表記しています。

目次

はじめに

安全のために必ずお守りください... 2
安全上のご注意 3
本書の見かた 4
本書の表記のしかた 4
ご使用前に 知っておいていただきたいこと 9

基本操作

オーディオ基本操作 12
AVメニューの操作 12
リスト操作 13
AVソースの切り換えかた 14
AVソースを切り換える 14
AVソースをOFFにする 14
画面の切り換えかた 15
AVソース画面と ナビ画面を切り換える 15
AVソース画面を切り換える 16

放送受信

ラジオを聞く 18
ラジオの放送を受信する 18
プリセットの種類を選ぶ 18
放送局の手動登録 19
放送局の自動登録 19
バンドを切り換える 20
交通情報を聞く 21
交通情報を受信する 21
地上デジタルテレビを見る 22
地上デジタルテレビを見る 22
操作タッチキーの表示のしかた 22
プリセットの種類を切り換える 23
放送局を手動で登録する 24
受信可能な中継局を探す 24
番組情報を取得する 24
番組表を表示する 25
番組内容を表示する 26
データ放送を見る 26
サービスを切り換える 27
タイムシフト機能を使う 27
リスト表示を切り換える 28

2画面で表示する 29
映像を切り換える 30
音声を切り換える 30
字幕を切り換える 30
サービスリストから チャンネルを選ぶ 30
データ放送画面の操作のしかた 31
バンドを切り換える 31
音声多重の切り換え 32
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン) 32
リストを切り換える 33
視聴予約する 33
機能設定を行う 35

音楽ディスク

音楽ディスクの再生 40
再生する 40
リストから選んで再生する 42
タイムバーサーチ再生 42
リピート再生 43
ランダム再生 43
スキャン再生 43
サーチモードの切り換え 44

映像ディスク

DVDビデオの再生 46
再生する 46
操作タッチキーの表示のしかた 46
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ) 47
CMスキップ/バック 48
コマ送り再生 48
スロー再生 49
リピート再生 49
タイムバーサーチ再生 50
ブックマークの登録 50
ダイレクトサーチ 50
字幕言語の切り換え 51
音声言語の切り換え 51
アングルの切り換え 52
リターン再生 52
音声出力の切り換え 52
初期設定をする 53

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
ユーザーインターフェース

ビデオ
ユーザーインターフェース

その他の機器

オーディオ
システム設定

その他の機能

付録

DVD-VRの再生	57	詳細情報を表示する	77
再生する	57	リピート再生	77
操作タッチキーの表示のしかた	57	ランダム再生	78
CM スキップ/バック	58	ダイジェストスキャン再生	78
コマ送り再生	58	フィーリングプレイで再生する	79
スロー再生	59	リンクゲートプレイ	83
リピート再生	59	リンクゲートプレイで再生する	83
リストから選んで再生する	60	リンクゲートプレイを中止して 通常再生に戻る	84
タイムバーサーチ再生	60	プレイリストや グループを作成する	85
ダイレクトサーチ	60	ユーザーグループに プレイリストを作成する	85
字幕言語の切り換え	61	カスタマイズグループを作成する	86
音声言語の切り換え	61	グループやプレイリスト、 トラックを編集する	88
音声多重の切り換え	61	グループを編集する	88
初期設定をする	62	プレイリストを編集する	91
DivXの再生	63	トラックを編集する	95
再生する	63	タイトル情報を取得する	97
操作タッチキーの表示のしかた	63	タイトル情報について	97
CM スキップ/バック	64	タイトル情報を取得する	97
コマ送り再生	64		
スロー再生	65		
リピート再生	65		
ランダム再生	66		
リストから選んで再生する	66		
タイムバーサーチ再生	67		
字幕言語の切り換え	67		
音声言語の切り換え	67		
初期設定をする	67		
ミュージックサーバー			
音楽用 CD を録音する	70		
CD から録音するには	70		
録音領域について	70		
録音についてのご注意	70		
CD録音の制限について	70		
タイトル表示について	71		
録音設定	71		
CDを自動的に録音する	72		
パソコンから			
楽曲データを転送する	73		
楽曲データを転送するには	73		
録音領域について	73		
楽曲転送の制限について	73		
ミュージックサーバーの聴きかた ...	74		
グループ、プレイリスト、 トラックについて	74		
再生する	74		
リストから選んで再生する	75		
タイムバーサーチ再生	76		
		ビデオサーバー	
		パソコンから	
		動画データを転送する	100
		動画データを転送するには	100
		録音領域について	100
		動画転送の制限について	100
		ビデオサーバーの見かた	101
		ジャンル、サブジャンル、 タイトルについて	101
		再生する	101
		操作タッチキーの表示のしかた ...	101
		CM スキップ/バック	102
		コマ送り再生	103
		スロー再生	103
		リピート再生	103
		ランダム再生	104
		リストから選んで再生する	104
		タイムバーサーチ再生	105
		字幕言語の切り換え	105
		音声言語の切り換え	106
		初期設定をする	106

その他の機器

iPod の操作のしかた	110
再生する	110
聴きたい曲を探す	111
見たい映像を探す	112
リピート再生	112
シャッフル再生	113
ワイドスクリーン設定	113
コントロールモード設定	113
BT AUDIO の操作のしかた	114
再生する	114
リピート再生	115
ランダム再生	115
BT AUDIO 機器を接続する	116
マルチ CD の操作のしかた	117
再生する	117
リピート再生	118
ランダム再生	118
スキャン再生	119
エクスターナルユニットの 操作のしかた	120
基本操作	120
ビデオなどを見る	121
ビデオなどの見かた	121
外部機器(AUX)の音声を聞く ...	122

オーディオ・システム設定

オーディオ設定のしかた	124
チャンネルモードを切り換える ...	124
CUSTOM メモリーについて	125
フェーダー / バランス	125
リスニングポジション	126
グラフィックイコライザー	126
SFC (サウンドフィールド コントロール)	128
Dolby Pro Logic II	129
Neo: 6	130
サウンドレトリバー (アドバンスド サウンドレトリバー)	131
ソースレベルアジャスター	132
ASL (オート・サウンド・ レベライザー)	132
デジタルダイレクト	133
ダイナミックレンジコントロール ...	133
ダウン MIX	134
SW PLUS	134
オートサウンドセッティング	135

サウンドセッティング (詳細設定)	135
車に合わせて音場を自動で 補正する (AUTO TA&EQ) ...	140
AUTO TA&EQ を行う前に	140
AUTO TA&EQ の設定方法	141
システム設定のしかた	143
AUTO TA&EQ	143
デジタルアッテネーター	143
録音設定	144
消音設定	144
ワイドモード	144
AV 入力設定	144
リアモニター出力設定	145
サブディスプレイ設定 (AVIC-VH9990)	146
オートフラップ設定 (AVIC-VH9990)	147
ガイド / ハンズフリー SP 設定 ...	147
オーディオ設定リセット	148
MSV プロープ情報を作成する	148
DivX VOD コード	149
CD 録音 / PC 転送使用領域設定 ...	149

その他の機能

画面を設定する	152
画質を調整する	152
ワイド画面の拡大方法を 切り換える	153
画面の表示モードを切り換える ...	154
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション) ...	156
リアモニターを組み合わせる ...	158
リアモニターに表示される 映像について	158

付 録

再生できるディスクの種類	160
DVD に表示されている マークの意味	161
ディスクの操作について	161
ディスクの構成について	162
DVD ビデオ	162
CD	162
WMA/MP3/ AAC ディスクについて	163

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付 録

フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて	163
WMA とは?	164
MP3 とは?	164
AAC とは?	165
DivX とは?	165
Gracenote® について	166
故障かな?と思ったら	167
共通項目	167
FM/AM	167
DVD	168
CD、ROM (WMA/MP3/AAC) ...	169
ミュージックサーバー	170
ビデオサーバー	170
地上デジタルテレビ	171
リアモニター	172
メッセージと対処方法	173
音楽ディスク	173
映像ディスク	174
ミュージックサーバー	174
ビデオサーバー	175
iPod	175
地上デジタルテレビ	175
AUTO TA&EQ	176
索引	177
メニュー索引	177
用語索引	180

ご使用前に知っておいていただきたいこと

はじめに

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。)また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

(例) DVDを見ようとしたとき



基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

基本操作

オーディオ基本操作.....	12
AV メニューの操作.....	12
リスト操作.....	13
基本的なリストの操作.....	13
リストの選択操作.....	13
AVソースの切り換えかた.....	14
AV ソースを切り換える.....	14
AV ソースを OFF にする.....	14
画面の切り換えかた.....	15
AV ソース画面とナビ画面を切り換える.....	15
AV ソースプレートが表示について.....	15
AV 情報の表示について.....	15
AV ソース画面を切り換える.....	16

オーディオ基本操作

本機の操作は、タッチパネル、本体のボタン、リモコンで行うことができます。

AV メニューの操作

AV メニューとは、オーディオや映像に関する設定や各機能の操作を行うためのメニューです。

1 地図画面で **NAVI/AV** を押す



AVソース画面(→P15)が表示されます。



2 **メニュー** を押す

AVメニューが表示されます。

3 操作したい項目にタッチする



ソースメニュー

※ソースメニューの内容は、AVソースごとに異なります。詳しくは、各AVソースの説明ページをご覧ください。

AV 初期設定

オーディオ設定	オーディオ設定画面を表示します。(→P124)
システム設定	システム設定画面を表示します。(→P143)

- AVメニューを閉じるには、**戻る**にタッチするリモコンの**戻る**または**メニュー**を押します。

リスト操作

リスト画面の操作について説明します。

基本的なリストの操作



1 行送り

リストを上下に 1 行移動します。

タッチ操作	▲/▼ にタッチします。
リモコン操作	スクロールコントローラーを上 / 下に操作します。

ページ送り

1 画面ずつ移動します。

タッチ操作	▲/▼ にタッチします。
-------	---------------------

タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り換わります。

タッチ操作	タブ (例: 2チャンネル) にタッチします。
リモコン操作	スクロールコントローラーを左 / 右に操作します。

リストの選択操作



全選択	リスト項目を全て選択状態にします。
全解除	選択状態のリスト項目を全て解除します。

チェックリストについて



チェックリストでは、項目にタッチすると「✓」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✓」が消え、選択が解除されます。

リモコン操作	スクロールコントローラーを上 / 下に操作して 決定 を押します。
--------	------------------------------------------

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付録

AVソースの切り換えかた

CD、ミュージックサーバー、DVD などの音源や映像（以降、AV ソース）を切り換えます。

AV ソースを切り換える

AV ソース選択画面を表示して、AV ソースを直接選ぶことができます。

1 **[S]** を押すか、AVソースマークにタッチする

- リモコンのロータリーコマンド&セレクターの○(SRC)を押して、AV ソースを順に切り換えることもできます。(TI(交通情報)へは切り換わりません。)

AV ソースマーク



AV ソース選択画面が表示されます。

2 お好みのAVソースにタッチする

(画面例：AVIC-ZH9990)



選んだ AV ソースに切り換わります。

- ナビゲーション画面のときに AV ソースを切り換えると音声のみ切り換わります。**[NAV/AV]**を押すと AV ソース画面に切り換えることができます。→「画面の切り換えかた」(P15)
- 接続していない AV ソースや、再生の準備ができていない AV ソースには切り換わりません。
- “AUX1” / “AUX2” は AVIC-VH9990 のみ、“AUX” は AVIC-ZH9990 のみとなります。また、“AUX2” および “AUX” は、AV ソースを OFF にし、「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P144)で “AUX2 (IP-BUS)” または “AUX” を ON に設定しないと、切り換わりません。
- “VTR” は、「システム設定」の「AV 入力設定」(→ P144)で “VTR” を ON にしないと切り換わりません。
- “EXT1”、“EXT2” は、本機が AV ソースとして対応していない IP-BUS 機器(エクスターナルユニット)を最大 2 台までコントロールできるように用意されている特別な AV ソースです。本機では、マルチ CD プレーヤー以外の IP-BUS 機器がエクスターナルユニットとして扱われます。
- AVIC-VH9990 の場合、**[SRC]**を押して AV ソースを順に切り換えることもできます。(TI(交通情報)へは切り換わりません。)

AV ソースを OFF にする

1 AVソース選択画面で **OFF** にタッチする

AV ソースが OFF になります。

- ロータリーコマンド&セレクターの○(SRC)を長く押して、AV ソースを OFF にすることもできます。
- AVIC-VH9990 の場合、**[SRC]**を長く押して、AV ソースを OFF にすることもできます。
- AVIC-ZH9990 の場合、**[S]**を長く押して、AV ソースを OFF にすることもできます。

画面の切り換えかた

AV ソース画面の切り換えかたについて説明します。

AV ソース画面とナビ画面を切り換える

AV ソースの音声はそのまま、画面だけナビゲーション画面と AV ソース画面を切り換えることができます。

1 **NAVI/AV** を押す

NAVI/AV を押すごとに、以下のように画面が切り換わります。

ナビゲーション画面



AV ソース画面



AVソースプレートの表示について

ナビ画面（現在地画面）のときに、AV ソースを切り換えたり、選局・選曲などの操作を行うと、地図画面上に約4秒間 AV ソースプレートが表示されます。

AV ソースプレートには、現在再生中の AV ソースの状態が表示されます。

AV ソースプレート



- AV ソースプレート表示中に、ソースマークにタッチすると、AV ソース選択画面（→ P14）を表示することができます。

AV情報の表示について

地図画面に AV ソースの情報（放送局名・再生中のトラック名 / アーティスト名など）を表示させておくことができます。

またミュージックサーバー再生中は、ジャケット写真が登録されている場合、ジャケット写真を表示させることもできます。

例：ミュージックサーバー再生中の地図画面



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオ

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

- 表示される内容は、AV ソースによって異なります。
- AV 情報表示の設定については、『ナビゲーションブック』 - 「設定を変更する」をご覧ください。

AV ソース画面を切り換える

AV ソース画面の表示方法を切り換えることができます。

1 AVソース画面で**ビュー**にタッチする

タッチすると、画面表示が以下のように切り換わります。

通常再生画面



オールオフ画面



- オールオフ画面のときに画面にタッチすると、通常再生画面に戻ります。
- 映像系 AV ソース (DTV や DVD など) のときは、映像画面にタッチして操作タッチキーを表示してから **ビュー** にタッチすると切り換わります。

放送受信

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ:
システム設定

その他の機能

付録

ラジオを聞く	18
ラジオの放送を受信する	18
プリセットの種類を選ぶ	18
放送局の手動登録	19
放送局の自動登録	19
バンドを切り換える	20
交通情報を聞く	21
交通情報を受信する	21
地上デジタルテレビを見る	22
地上デジタルテレビを見る	22
アイコン一覧	22
操作タッチキーの表示のしかた	22
プリセットの種類を切り換える	23
放送局を手動で登録する	24
受信可能な中継局を探す	24
番組情報を取得する	24
番組表を表示する	25
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ	25
番組内容を表示する	26
データ放送を見る	26
サービスを切り換える	27
タイムシフト機能を使う	27
タイムシフト再生する	27
再生位置（インデックス）を登録する	28
リスト表示を切り換える	28
2画面で表示する	29
映像を切り換える	30
音声を切り換える	30
字幕を切り換える	30
サービスリストからチャンネルを選ぶ	30
データ放送画面の操作のしかた	31
十字パネルタッチキーの操作	31
数字パネルタッチキーの操作	31
バンドを切り換える	31
音声多重の切り換え	32
放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）	32
リストを切り換える	33
視聴予約する	33
番組の視聴を予約する	33
予約した時刻になると	34
予約した番組の確認／編集をする	34
予約を取り消す	35
機能設定を行う	35
設定内容の詳細	36
ダウンロードの手順	38

ラジオを聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする (→P14)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局(周波数)を受信します。
◀ / ▶	周波数を順に送ります。
◀ / ▶ (長くタッチする)	受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類を切り換えます。(→P18)

本体のボタン操作：

◀ / ▶	プリセットチャンネルを順に送ります。
◀ / ▶ (長く押す)	受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

ロータリーコマンド&セレクター操作：

◀ / ▶	周波数を順に送ります。
◀ / ▶ (長く押す)	周波数を連続で送ります。(NON STOP SEEK)
▲ / ▼	プリセットチャンネルを順に送ります。



- 受信をやめるには、AVソースをOFFにします。(→P14)
- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさざぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は[STEREO]が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録させた放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに登録されている車周辺放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする



タッチすると、「エリアプリセット」と「ユーザープリセット」が切り換わります。





- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局の手動登録

ユーザープリセットメモリーに、FM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録させることができます（マニュアルプリセット）。

1 「ユーザープリセット」にする (→ P18)

2 ◀/▶にタッチして登録させたい放送局（周波数）を選ぶ



3 登録させたいリストのプリセットの枠に 2 秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に登録させることができます。

1 [メニュー]を押して[BSM]に2秒以上タッチする



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。



- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、前の登録が残る場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシングビデオ
サーパー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付
録

バンドを切り換える

本機では AV ソースごとに2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

1 **メニュー** を押して **BAND** にタッチする



▼
タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2 (各6局)

AM1 ↔ AM2 (各6局)

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている AM の交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AV ソースを TI (交通情報) にする (→ P14)



- AVIC-VH9990 の場合、**(S)** を長く押し、**「TI (交通情報)」** に切り換えることもできます。





交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

2 本体のボタンまたはロータリーコマンダー&セレクターを操作して周波数を切り換える

本体のボタン操作：

	周波数を 1 620kHz にします。
	周波数を 1 629kHz にします。

ロータリーコマンダー&セレクター操作：

	周波数を 1 620kHz にします。
	周波数を 1 629kHz にします。

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別の AV ソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

地上デジタルテレビを見る

地上デジタルテレビジョン放送を視聴することができます。



・地上デジタル TV を初めてご覧になるときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア (→ P37) をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)」(P32)

注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

地上デジタルテレビを見る

1 AV ソースを DTV (地上デジタル TV) にする (→ P14)

前回受信していた放送局を受信します。



アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンが AV ソースプレートに表示されます。

	2 言語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1 セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

操作タッチキーの表示のしかた

地上デジタル TV の操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは 2 ページあります。

1 地上デジタル TV 映像表示中に画面にタッチする



・リモコンの**決定**を押しても操作タッチキーを表示することができます。

操作タッチキー 1



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
	3 桁チャンネルを順に送ります。
	受信できる物理チャンネルを自動的に探し、受信すると止まります。(SEEK)
プリセット切換	プリセットの種類を切り換えます。(→ P23)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→ P24)
番組表	番組表を表示します。(→ P25)

番組内容	番組内容を表示します。(→ P26)
d	データ放送画面に切り換えます。(→ P26)
操作	パネルタッチキーを表示します。(→ P31)
タイムシフト	タイムシフト機能で再生視聴します。(→ P27)
インデックス	タイムシフトにインデックス位置を登録します。(→ P28)
リスト切換	リスト表示を切り換えます。(→ P28)
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→ P27)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー2



2画面	サブ画面に1セグ放送を受信して、2画面で表示します。(→ P29)
1画面	2画面表示を解除します。
2画面入換	メイン画面とサブ画面を入れ換えます。(→ P29)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→ P30)
音声切換	複数の音声言語がある場合、音声を切り換えます。(→ P30)
字幕切換	複数の字幕言語がある場合、字幕を切り換えます。(→ P30)
サービスリスト	サービスリストを表示します。
◀前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

本体のボタン操作：

◀ / ▶	プリセットチャンネルを順に送ります。
◀ / ▶ (長く押す)	受信できる物理チャンネルを自動的に探し、受信すると止まります。(SEEK)

□—タリ—コマ—ンダ—&—セレク—タ—操作：

◀ / ▶	3桁チャンネルを順に送ります。
◀ / ▶ (長く押す)	受信できる物理チャンネルを自動的に探し、受信すると止まります。(SEEK)
▲ / ▼	プリセットチャンネルを順に送ります。

- 操作タッチキーとリスト画面は約8秒で消えます。もう一度表示したいときは、画面にタッチします。
- 受信をやめるには、AVソースをOFFにします。(→ P14)

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする



タッチすることにより、「エリアプリセット」と「ユーザープリセット」が切り換わります。

つづく→



- ・エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- ・エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで手動で登録させることができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」にする(→ P23)

2 ◀/▶にタッチして登録させたい放送局を選ぶ



3 登録させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだリストに登録されます。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアの中継局が存在する場合は、放送局名の右側に マークが表示されます。受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

1 「エリアプリセット」にする(→ P23)

2 受信中の放送局名にタッチし にタッチする



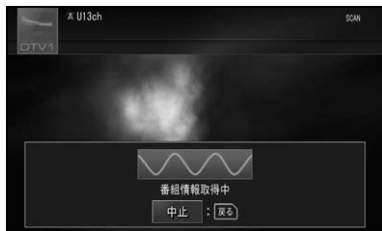
- ・「オート放送局サーチ設定」で、「中継局+系列局」または「中継局」を設定しておく、エリア内の受信状態の良い中継局で自動で切り換えることができます。→「機能設定を行う」(P35)
- ・エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→ P32)をしてください。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得にタッチする





中止 にタッチすると、取得を中止します。

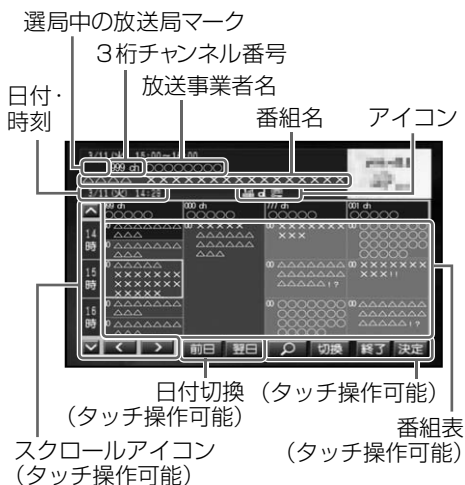
番組表を表示する

本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組 (EPG) を表示できます。

1 番組表にタッチする



番組表が表示されます。



前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。

開始	ジャンル検索画面が表示されます。ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。(→P25)
切換	タッチするごとに、以下のように表示方法が切り換わります。 4チャンネル分→7チャンネル分→1チャンネル分→4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定	現在放送中の番組であれば、選んだ番組を視聴します。 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 番組情報取得の操作 (→P24) を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、**▲**/**▼**/**◀**/**▶** で空欄部分を選んで **決定** にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

ジャンルから見たい番組を検索することができます。

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表が表示されているときに、**開始** にタッチする

2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



そのジャンルに該当する番組が表示されます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ユーザーインターフェース

ビデオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

- ジャンル検索画面表示中に \uparrow \downarrow でジャンルを選び、カラーボタン（青、赤、緑、黄）にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わります。
これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

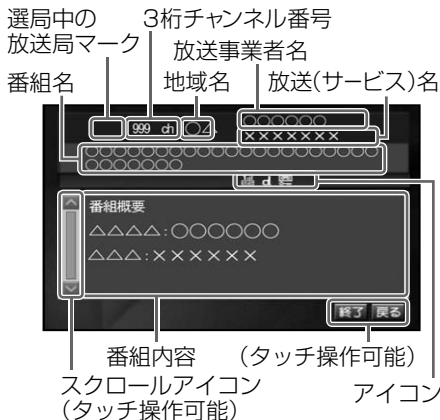
番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容にタッチする



番組内容が表示されます。



- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- 終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合は、データ放送に切り換えることができます。

- 地域を対象としたサービス（設定した地域の天気予報や選挙速報など）を行っている場合は、郵便番号設定（→P36）で設定した地域の情報を受信します。出荷時は、オート（自転車位置）に設定されています。

1 d にタッチする



データ放送の画面に切り換わります。

- データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作することはできません。パネルタッチキーで項目を選んで操作します。→「データ放送画面の操作のしかた」(P31)
- データ放送画面から、通常の放送画面に戻るには、画面にタッチしてから **d** にタッチします。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換にタッチする



別のサービスが表示されます。

タイムシフト機能を使う

現在見ている放送にワンセグがある場合、本機では常時 10 分前までのワンセグを録画しています。

例えば、良いシーンを見逃した場合など、見直すことができます。

- タイムシフトは一定時間録画されたデータが無いと再生できません。
- タイムシフトはワンセグを録画する機能です。ワンセグが無い場合は録画されません。
- 放送局によっては、通常の放送とワンセグで異なる内容を放送している場合があります。その場合、録画されたワンセグを再生しても現在見ている放送内容とは異なります。
- タイムシフトは、2カ国語放送の場合主音声は録画されます。
- タイムシフトは以下の条件で消去されます。
 - 本機の電源を OFF にした場合
 - チャンネルを切り換えた場合
 - 中継局や系列局が切り換わった場合
 - 独立データ放送などサービスを切り換えた場合
 - 全国チャンネル一覧などデータのダウンロードを開始した場合
 - 地上デジタルテレビ以外の AV ソースに切り換えた場合

タイムシフト再生する

1 タイムシフトにタッチする



現在より数秒前から再生が始まります。



タイムバー

	通常再生に戻ります。
	一定の時間だけスキップ／バックを行います。(→P28)
	早戻し／早送りを行います。タッチするごとに、速さが3段階で切り換わります。
	タイムシフト再生を終了します。
タイムバー	タッチした位置(指定時刻)より再生します。(タイムバーサーチ) (→P28)

- タイムシフト再生中も録画は行われており、10分前の映像は順次消去されていきます。再生を開始したタイミングや早戻し／バックの操作をしている時間により、見たい映像が消去されている場合があります。
- 再生位置(インデックス)を登録すると、登録した場所から再生を始めます。(→P28)ただし、登録してから10分以上経過すると、登録した再生位置(インデックス)は消去されます。
- 表示している時刻はおおよその時刻で、実際の番組の時刻とは若干ずれる場合があります。
- 受信状況が良くない状況で録画された場合は、正しく再生できない場合があります。

CM スキップ／バック

再生中の映像を、一定時間だけスキップ／バックします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 タイムシフト再生中に、CMスキップ / CMバックにタッチする

タッチすることにより、以下のような秒数でスキップ／バックされます。

CMスキップ	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る
CMバック	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る

タイムバーサーチ

タイムシフト再生中に表示されるタイムバー（0秒～9分59秒）から、位置（時刻）を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする

タッチした位置（時刻）から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

再生位置（インデックス）を登録する

1 ワンセグ放送受信中にインデックスにタッチする



タイムシフトの再生位置（インデックス）が登録されます。

リスト表示を切り換える

リスト表示を切り換えます。

1 リスト切替にタッチする



タッチすることにより、表示が以下のように切り換わります。

「放送局名＋番組名：3段表示」→「放送局名：5段表示」→「番組名：5段表示」→「放送局名＋番組名：3段表示」に戻る

放送局名 + 番組名：3 段表示画面



放送局名：5 段表示画面



番組名：5 段表示画面



- エリアプリセット表示中は、メインチャンネルの番組名が表示されます。1つのチャンネルに複数の番組があり、サービス切換にて切り換えた場合でも変わりません。
- ユーザープリセット表示中は、登録されている3桁チャンネル番号の番組名が表示されます。
- ワンセグ放送を受信している場合、番組名は「番組情報未取得」になることがあります。
- 番組によっては、放送される時間帯が未定となることがあります。

2画面で表示する

通常の放送とワンセグを2画面（メインに通常の放送、サブにワンセグ）で表示することができます。

1 2画面にタッチする



- **1画面** にタッチすると、サブ画面を消し1画面に戻ります。
- **2画面入換** にタッチすると、メイン画面とサブ画面を入れ換えます。
- 2画面表示は、サブ画面の表示される位置をあらかじめ設定することができます。（→P36）
- 2画面表示時は、AVソースプレートにサブ画面のチャンネルと放送局名も表示されます。
- 2画面表示は以下の条件で解除されます。
 - チャンネルスキャン（→P32）実行時
 - 視聴者設定クリア（→P37）実行時
 - ダウンロード（→P38）実行時

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換にタッチする



▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

映像 1 → 映像 2 → 映像 3 → 映像 1 に戻る

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕言語と表示の ON/OFF を切り換えます。

1 字幕切換にタッチする



▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

字幕 1 → 字幕 2 → 字幕 OFF → 字幕 1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声言語があるときに、切り換えます。

1 音声切換にタッチする



▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

第 1 音声 → 第 2 音声 → 第 3 音声 → 第 1 音声に戻る

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリストにタッチする



2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面 (→ P26) で、画面にタッチして操作タッチキーを表示させる

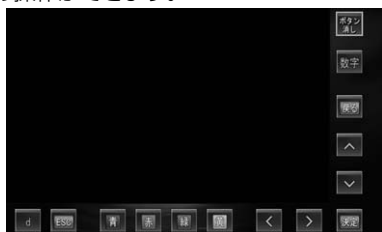
2 操作にタッチする



パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。



ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーに切り換えます。
戻る	1 つ前の操作に戻ります。
▲/▼/◀/▶	カーソルを操作します。
決定	項目を決定します。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
ESC	ESC ボタンとして使います。(全解除など)
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。



数字キー (1 ~ 10/0、11/*、12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。十字パネルタッチキーに切り換えます。
戻る	1 つ前の操作に戻ります。
決定	項目を決定します。

バンドを切り換える

本機では2つのバンド「BAND1/BAND2 (DTV1/DTV2)」があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー (P1 ~ P12) を使い分けることができます。

1 [メニュー] を押して [BAND] にタッチする



タッチするごとに BAND1 (DTV1) ↔ BAND2 (DTV2) が切り換わります。

- 普段は BAND1 (DTV1) を使用し、旅行先では BAND2 (DTV2) を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

音声多重の切り換え

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 **メニュー**を押して**音声多重**にタッチする



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

MAIN → SUB → MAIN + SUB → MAINに戻る

MAIN	主音声（日本語）
SUB	副音声（外国語）
MAIN + SUB	主・副音声 （日本語＋外国語）



- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。
- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーとサービスリストに自動的に登録させることができます。

1 **メニュー**を押して**スキャン**に2秒以上タッチする



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

リストを切り換える

表示されるリストの大きさを切り換えます。

1 **メニュー**を押して**リスト大**または**リスト小**にタッチする



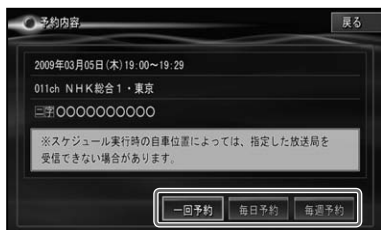
選んだ番組の概要が表示されます。

- 現在放送中の番組を選んだ場合は、その番組を視聴します。

2 **予約**にタッチする



3 **予約スケジュールを選んでタッチする**



一回予約	その放送回だけ予約します。
毎日予約	その番組を毎日予約します。
毎週予約	その番組を毎週予約します。

- 放送の時間帯が重複する番組は予約できません。
- 100件まで予約できます。
- 毎日予約**、**毎週予約**で予約されるのは、選んだ番組と同じ放送局の同じ放送時間帯です。番組の放送時間が変更になった場合など、違う番組を受信する場合があります。

4 **確認**にタッチする

視聴予約する

見たい番組を予約しておくことができます。毎日や週間などの予約スケジュールを指定することや、予約を確認・編集したり、予約を取り消すことができます。

- サマータイムが開始された場合、サマータイム期間をまたいで予約を行うと、予約番組が正しく実行されない場合があります。その場合は、もう一度視聴予約を行ってください。

番組の視聴を予約する

1 番組表画面(→P25)で番組の枠にタッチする



はじめに
基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
メニュー
ユーザーインター
ビデオ
その他の機器
オーディオ設定
その他の機能
付録

予約した時刻になると

予約した番組の放送開始時刻前になると、メッセージが表示されます。

1 はいにタッチする



予約しておいた番組が受信されます。

- 番組情報取得中など、別の機能を実行中は**はい**にタッチしても予約していた番組が受信されない場合があります。
- 予約した時刻にダウンロード実行中(→P38)の場合は、メッセージは表示されません。
- 予約した時刻に受信可能な地域にいない場合は、受信できません。
- 毎日予約、毎週予約してある番組でも、表示される番組名は、予約した際の番組名となります。
- 予約視聴開始の案内メッセージは、現在地画面およびAVメニュー以外のAVソース画面で表示されます。

予約した番組の確認／編集をする

確認する

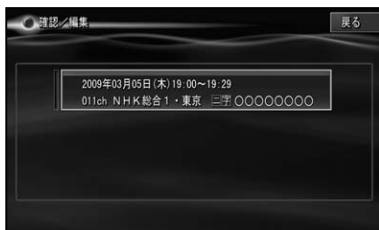
1 **メニュー**を押して**予約済み番組**にタッチする



2 **確認／編集**にタッチする

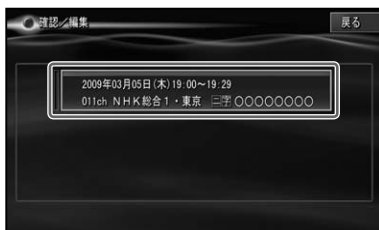


予約した内容(予約日時、チャンネル名、放送局名、番組名、予約スケジュールなど)が表示されます。

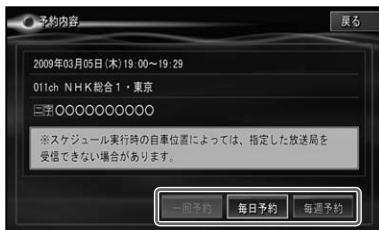


編集する

1 予約した内容にタッチする



2 予約スケジュールを選んでタッチする



一回予約	その放送回だけ予約します。
毎日予約	その番組を毎日予約します。
毎週予約	その番組を毎週予約します。

- 現在放送中の番組は操作できません。
- 毎日予約、毎週予約してある番組でも、表示される番組名は、予約した際の番組名となります。
- 放送される時間帯が未定の番組は予約できません。

予約を取り消す

1 **メニュー** を押して **予約済み番組** にタッチする



2 **消去** にタッチする



3 **取り消したい予約内容** にタッチする



- 選んだ予約内容には「✓」（チェックマーク）が付きます。
- 連続して選択できます。

4 **終了** にタッチする

確認のメッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする

予約した内容が消去されます。

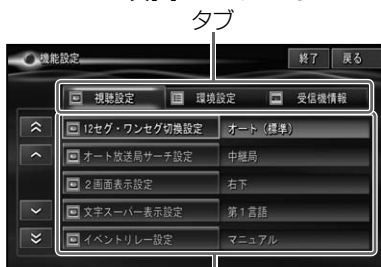
機能設定を行う

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。機能設定には、視聴設定、環境設定、受信機情報メニューがあります。

1 **メニュー** を押して **機能設定** にタッチする



2 **メニューの種類(タブ)** を選んで **メニュー項目** にタッチする



メニュー項目

視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。
受信機情報	[受信機情報] メニューが表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ユーザーインターフェース

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切替設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。

「切替設定」:

「オート」* 受信状況に応じて、通常の放送とワンセグを自動で切り換えます。

「マニュアル」 通常の放送とワンセグを手動で切り換えます。

「優先度」(「オート」選択時のみ):

「12セグ優先」 12セグの受信を優先します。

「標準」* 通常の設定です。

「ワンセグ優先」 ワンセグの受信を優先します。



- 自動切り換えは、プライマリーサービスの場合のみ動作します。12セグ放送とワンセグ放送が異なる内容を放送しているときは、自動で切り換わりません。
- 「12セグ優先」は、受信状態が悪くなっても12セグ受信が優先されるため、画像が乱れたり音声が止まったりする場合があります。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局+系列局」 自動で中継局・系列局を探します。

「中継局」* 自動で中継局を探します。
「OFF」 中継局、系列局は探しません。

2画面表示設定

2画面表示を行った場合のサブ画面の表示位置を設定します。

「左上」 画面左上に表示します。

「左下」 画面左下に表示します。

「右上」 画面右上に表示します。

「右下」* 画面右下に表示します。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

「第1言語」* 第1言語で表示します。

「第2言語」 第2言語で表示します。

「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」 自動でチャンネルを切り換えます。

「マニュアル」* 手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」* 自動でチャンネルを切り換えます。

「マニュアル」 手動でチャンネルを切り換えます。

【環境設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」* 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」* 自転車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

ダウンロード設定

放送波に含まれたデータをダウンロードして、本機内のデータをバージョンアップするかどうかを設定します。

「ON」* データをダウンロードします。

「OFF」 データをダウンロードしません。

- ダウンロード中は、放送を見ることはできません。ただし、「4 チューナー設定」(→ P37) を「番組表取得 / サーチ優先」にしている場合は、ダウンロード中も放送を見ることが出来ます。

番組名称情報取得設定

DTV 以外の AV ソースのときや、「4 チューナー設定」を「番組表取得 / サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得 (→ P24) するかどうかを設定します。

- 「ON」* 自動的に取得します。
- 「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

- 「はい」 設定をクリアします。
- 「いいえ」 設定をクリアしません。

- チャンネルおよび番組表、機能設定 (視聴設定、環境設定) が消去されます。

番組表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか全チャンネルにするかを設定します。

- 「メインチャンネル」* メインチャンネルの番組表を表示します。
- 「全チャンネル」 全チャンネルの番組表を表示します。

4 チューナー設定

4 つのチューナーを全て受信性能優先とするか、受信と機能を 2+2 チューナーで分けるか設定します。機能とは、中継局サーチや系列局サーチ、他の放送局の番組表取得、ダウンロードなどです。

- 「受信性能優先」* 4 つのチューナーを全て受信性能優先とした設定になります。
- 「番組表取得 / サーチ優先」 必要に応じて 2 チューナーで放送を受信し、残りの 2 チューナーで機能を実行します。

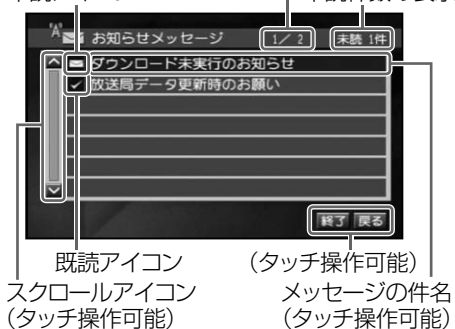
【受信機情報】メニュー

お知らせメッセージ

本機に送られてきたメッセージを表示します。

メッセージ一覧画面

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
未読アイコン 未読件数の表示

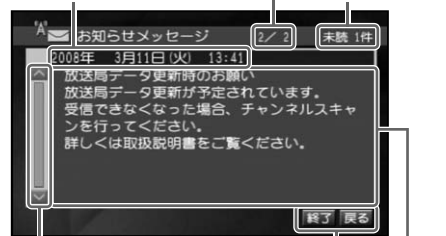


既読アイコン (タッチ操作可能)
スクロールアイコン (タッチ操作可能) メッセージの件名 (タッチ操作可能)


1 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数
日付・時刻 未読件数の表示



スクロールアイコン (タッチ操作可能) メッセージの内容 (タッチ操作可能)

- 「戻る」または「終了」にタッチすると、放送画面 (視聴画面) に戻ります。
- 未読メッセージがあると、画面に  (→ P22) が表示されます。

バージョン情報

本機のソフトウェアのバージョンや、B-CASカードなどの情報を表示します。

本機ソフトウェアのバージョン



B-CASカードの情報 (タッチ操作可能)



- 4チューナー設定(→ P37)で「番組表取得・検索優先」に設定している場合、ダウンロード画面は表示されません。(表示はされませんが、ダウンロードは自動的に行われます。)
- ダウンロードを中止する場合は、**中断**などのキーにタッチします。
- ACCがONの状態であれば、AVソースのON/OFFにかかわらず、ダウンロードを行います。
- ダウンロードが成功すると、画面にメッセージが表示されます。画面に従って、**再起動**などのタッチキーにタッチしてください。
- ダウンロードが失敗したときは、受信状態が安定しているかどうか受信レベルを確認してください。
- 受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ダウンロードの手順

更新されたデータが地上デジタル放送で配信されたときに、ダウンロードして本機内のデータをバージョンアップすることができます。



- あらかじめ、**環境設定**メニュー (→ P36) の「ダウンロード設定」を「ON」にしておく必要があります。
- 走行中よりも停車中のほうが受信状態が安定してダウンロードが成功する確率が高くなります。
- ダウンロードが完了するまで、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- ダウンロードが成功して本機内のデータを更新すると、本機の設定内容が消去される場合があります。その場合は、お使いになる前に機能設定 (→ P35) を行ってください。また、設定内容などは事前にメモしておくことをおすすめします。

1 「ダウンロード待機中」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチを切らずに待つ



ダウンロードが完了します。

音楽ディスク

音楽ディスクの再生.....	40
再生する.....	40
リストから選んで再生する.....	42
タイムバーサーチ再生.....	42
リピート再生.....	43
ランダム再生.....	43
スキャン再生.....	43
サーチモードの切り換え.....	44

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの再生

CD、ROM (WMA/MP3/AAC) の基本的な再生のしかたを説明します。

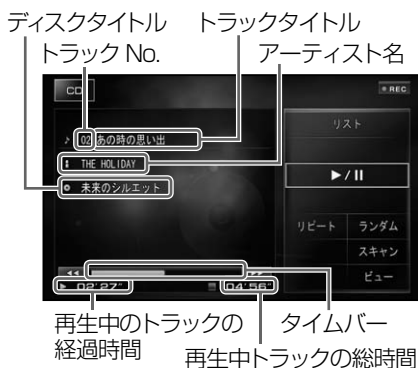
再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

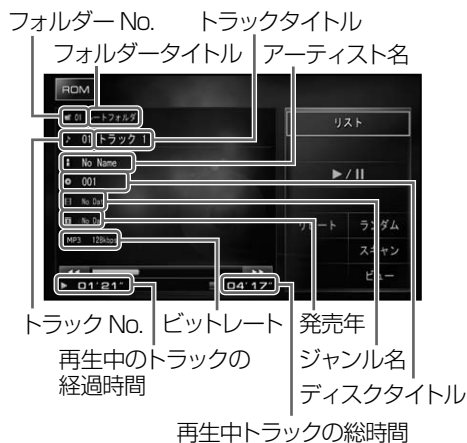
自動的に再生が始まります。

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り換えてください。(→P14)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P160)を参照してください。
- 再生を中止するには、AV ソースを OFF にします。(→P14)
- WMA/MP3/AAC は WMA/ID3/AAC タグ(→P163)からタイトル情報を取得できた場合、AV ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名は全角 16 文字(半角 32 文字)の表示ができます。
- WMA/MP3/AAC は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして AV ソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMA のときにタグの Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC データ (ROM) と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクを再生した場合、再生される優先順位は以下になります。優先順位の高いもののみ再生されます。
① CD → ② ROM → ③ DivX

CD (通常再生中)



ROM (WMA/MP3/AAC)



- VBR の MP3 を再生中は、タイムバー右下の総時間表示は「VBR」となります。

REC	再生中ディスクに未録音の曲があった場合、ミュージックサーバー (MSV) へ録音します。
リスト	リスト表示に切り換えます。(→ P42) ROM 再生中は、長くタッチするとルートフォルダーへ移行します。(→ P42)
II	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。(→ P43)
ランダム	ランダム再生します。(→ P43)
スキャン	スキャン再生します。(→ P43)
タイムバー	早戻し/早送りを行います。 タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生)(→ P42)

本体のボタン操作：

◀ / ▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押す)	CD 再生時は早戻し/早送りを行います。 ROM 再生時はフォルダーのアップ/ダウンを行います。

ロータリーコマンド&セレクター操作：

◀ / ▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押す)	早戻し/早送りをを行います。
▲ / ▼	フォルダーのアップ/ダウンを (ROM 再生時のみ) 行います。

- 早戻し/早送りの動作は、10 曲飛びに選曲する「ラフサーチ」に切り換えることもできます。(→ P44)

CD → MSV (録音中)



REC	ミュージックサーバー (MSV) への録音を停止します。
リスト	リスト表示に切り換えます。(→ P42)

- 録音していない CD を再生すると、自動的にミュージックサーバー (MSV) への録音が始まります。→「録音設定」(P71) 全ての曲の録音が終わると再生していた曲の次の曲から通常再生が開始されます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生 (ランダム再生など) タイムバーサーチ再生、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、**REC** にタッチして録音を中止してください。
- 本機内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDDB) から情報が取得できた場合は、AV ソースプレートのタイトルやアーティスト名が表示されます。情報が取得できなかった場合は、「No Title」や「No Name」と表示され、録音完了後、ミュージックサーバーでタイトルの再取得を行うことができます。(→ P97)
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については「音楽用 CD を録音する」(→ P70) を参照してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

リストから選んで再生する

リストを表示して、直接聞きたい曲を選んで再生することができます。

- 録音中はリストの操作ができません。
■REC にタッチして録音を中止してから操作してください。

1 リストにタッチする

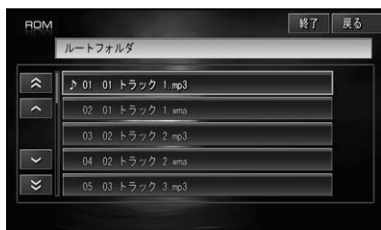


再生中の CD やフォルダーの内容がリスト表示されます。

CD (トラックリスト) リスト画面：

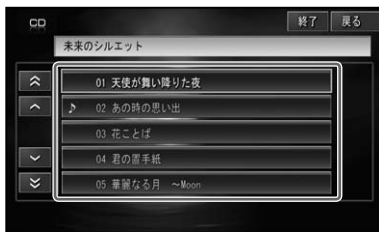


ROM (トラックリスト) リスト画面：



- ROM 再生中に **リスト** に長くタッチすると、ルートフォルダーから表示されます。

2 聴きたい曲 (トラック) にタッチする



- ROM のトラックリストで **↑** (リターン) にタッチすると、上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。
- ROM のフォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- 通常再生画面に戻る場合は、**終了** または **戻る** にタッチします。
- リスト画面は約 20 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト** にタッチします。

タイムバーサーチ再生

通常再生画面に表示されるタイムバー (CD : 0 秒 ~ 99 分 59 秒、ROM : 0 秒 ~ 999 分 59 秒) から、位置 (時刻) を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

タッチした位置 (時刻) から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。
- VBR の MP3 を再生中は、タイムバー右下の総時間表示は「VBR」となります。また、正確な総時間が取得できないため、タッチした位置 (時刻) と実際の再生位置 (時間) がずれる場合があります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

CD

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

ROM (WMA/MP3/AAC)

DISC REPEAT → TRACK REPEAT
→ FOLDER REPEAT → DISC REPEAT
に戻る

DISC REPEAT	再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック（曲）を繰り返します。
FOLDER REPEAT (ROM再生時のみ)	再生中のフォルダーを繰り返します。

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（TRACK REPEAT中の選曲操作など）を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート範囲は画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り換わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- ランダム再生をONにすると、AVソースプレートに表示されます。

スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー/グループ内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダー、グループを探すときに使います。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3/AAC)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を次のように指定します。

つづく→

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲はそれぞれ上記のリピート範囲に切り換わります。

聴きたいフォルダー (WMA/MP3/AAC) を探すとき

ディスク内の全フォルダーの 1 曲目だけの演奏開始部分を、約 10 秒間ずつ再生します。リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。

2 スキャンにタッチする



タッチすることにより、スキャン再生の ON/OFF が切り換わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- スキャン再生を ON にすると、AV ソースプレートに表示されます。

3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度「スキャン」にタッチする

スキャン再生が OFF になり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生 (リピート再生、ランダム再生など) やリピートの範囲を超える操作 (フォルダーの切り換えなど) を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

サーチモードの切り換え

本体の ◀ / ▶ やロータリーコマンド&セレクターの ◀ / ▶ を押し続けると、早送り / 早戻しにするか、10 曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 [メニュー] を押して「サーチモード」にタッチする



2 設定するサーチモードにタッチする



FF/REV	早送り / 早戻しになります。
ラフサーチ	ラフサーチになります。

映像ディスク

DVD ビデオの再生	46	DVD-VR の再生	57
再生する.....	46	再生する.....	57
操作タッチキーの表示のしかた.....	46	操作タッチキーの表示のしかた.....	57
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ).....	47	CM スキップ / バック.....	58
ディスクメニュー操作キーで操作する.....	48	コマ送り再生.....	58
CM スキップ / バック.....	48	スロー再生.....	59
コマ送り再生.....	48	リピート再生.....	59
スロー再生.....	49	リストから選んで再生する.....	60
リピート再生.....	49	タイムバーサーチ再生.....	60
タイムバーサーチ再生.....	50	ダイレクトサーチ.....	60
ブックマークの登録.....	50	字幕言語の切り換え.....	61
ダイレクトサーチ.....	50	音声言語の切り換え.....	61
字幕言語の切り換え.....	51	音声多重の切り換え.....	61
音声言語の切り換え.....	51	初期設定をする.....	62
アングルの切り換え.....	52	テレビアスペクト.....	62
リターン再生.....	52	DivX の再生	63
音声出力の切り換え.....	52	再生する.....	63
初期設定をする.....	53	操作タッチキーの表示のしかた.....	63
基本字幕.....	53	CM スキップ / バック.....	64
基本音声.....	53	コマ送り再生.....	64
メニュー言語.....	53	スロー再生.....	65
マルチアングル.....	53	リピート再生.....	65
テレビアスペクト.....	54	ランダム再生.....	66
視聴制限.....	54	リストから選んで再生する.....	66
オートプレイ.....	55	タイムバーサーチ再生.....	67
言語コード表.....	56	字幕言語の切り換え.....	67
		音声言語の切り換え.....	67
		初期設定をする.....	67
		映像出力設定.....	68
		テレビアスペクト.....	68

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

システム設定

その他の機能

付録

DVD ビデオの再生

DVD ビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

注意


- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。



- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り換えてください。(→P14)
- ・DVD によっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)」(P47)
- ・オートプレイの設定を ON にすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P55)
- ・DVD の録音レベルは他の AV ソースより低い場合、他の AV ソースから DVD に切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターで AV ソースごとの音量の違いをそろえることができます(→P132)。
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P160) を参照してください。
- ・再生を中止するには、 にタッチするか AV ソースを OFF にします。(→P14)
- ・フロントカメラまたはバックカメラの映像表示中は、一時的に再生を停止します。

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 DVD の映像表示中に画面にタッチする





- ・リモコンの **決定** を押しても操作タッチキーを表示することができます。

操作タッチキー 1



タイムバー


CM スキップ / CM バック	一定の秒数だけ早送り / 早戻しを行います。(→P48)
	クロスキーを表示して、ディスクメニューの操作を行うことができます。(→P48)
トップメニュー / メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P47)
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

▶▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。 (→ P48, 49)
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。 (→ P49)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録することができます。(→ P50)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。
◀◀ / ▶▶	早戻し/早送りをを行います。
◀◀ / ▶▶ (タッチし続ける)	キーから指を離しても早戻し/早送りを引き続き行います。もう一度タッチすると通常再生に戻ります。
タイムバー	タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生) (→ P50)

操作タッチキー 2



サーチ/10キー	タイトル、チャプター、10キーによるサーチを行います。(→ P50)
字幕切換	再生中に字幕言語を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P51)
音声切換	再生中に音声言語を切り換えます。(マルチ音声) (→ P51)
アングル切換	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル) (→ P52)
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。
◀◀ 前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。

 **ビュー** にタッチすると、操作タッチキーを消すことができます。

本体のボタン操作：

◀ / ▶	チャプターのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押す)	タイトルのアップ/ダウンを行います。

□—タリ—コマ—ダー&セ—レク—ター操作：

▲ / ▼	タイトルのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶	チャプターのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押す)	早戻し/早送りをを行います。
◀ / ▶ (押し続ける)	キーから指を離しても、早戻し/早送りを引き続き行います。もう一度押すと通常再生に戻ります。

ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機器



オーディオ設定

その他の機能


付録

2 画面にタッチして操作する



-   にタッチして、ディスクメニュー操作キー (→ P48) で操作することもできます。
- スクロールコントローラーで操作することもできます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部が  に隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 ディスクメニュー表示中に にタッチする

2 / / / にタッチして項目を選び、**決定**にタッチする



- **ボタン消し** にタッチすると、ディスクメニュー操作キーを消すことができます。

CM スキップ / バック


再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチすることにより、以下のような秒数で早送り / 早戻しされます。

CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→30秒に戻る
CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→5秒に戻る

- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 にタッチする

タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。



- ▶II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊘ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 II にタッチし続ける

送り方向にスロー再生されます。



スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16
スロー-UP	1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

- ▶II にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、⊘ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → **CHAPTER REPEAT**
→ **TITLE REPEAT** → **DISC REPEAT**
に戻る

DISC REPEAT	再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

- 選んだリピート範囲は、AV ソースプレートに表示されますが、通常再生である DISC REPEAT は AV ソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (CHAPTER REPEAT 中のチャプターの切り換えなど) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ (→ P55) の設定が ON のときは機能しません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

ビデオ
サーバー

その他の機器

シリアル設定

その他の機能

付録

タイムバーサーチ再生

操作タッチキーに表示されるタイムバー(0秒~999分59秒)から、位置(時刻)を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

タッチした位置(時刻)から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

- AVIC-VH9990をお使いの場合は、1枚のディスクで、**ブックマーク**によるブックマークと、ディスク取り出しボタン操作によるブックマークの両方を登録することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで登録したブックマークが優先されます。

再生中に登録する

1 ブックマークにタッチする



選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。

- 再生中のブックマークの登録は、ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録します。5枚を超えて新しいディスクにブックマークが登録されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ディスク取り出しの際に登録する
(AVIC-VH9990)

1 再生中に(△) (ディスク取り出しボタン)を2秒以上押してからディスクを取り出す

ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして登録されます。

次回ディスク挿入時にその場面より再生され、ブックマークは消去されます。

- ディスク取り出し時のブックマークの登録は、ディスク1枚分のブックマークを登録します。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 サーチ/10キーにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**10キーモード**が選べます。



3 数字キーにタッチし、見たい場面のサーチの種類番号を入力したら**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

- パッケージについている **(.S.)** マークの数字が、字幕言語の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

- パッケージについている **(@)** マークの数字が、音声言語の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声言語の内容を表示しています。実際に再生される音声言語は、設定により表示とは異なる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機器

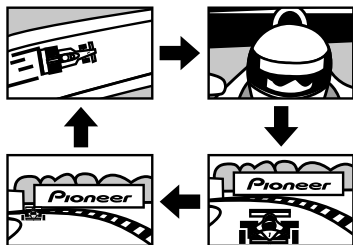
システム設定

その他の機能

付録

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。



- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 アングル切換にタッチする

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り換えが行えます。



タッチするごとに、アングルが切りかわります。

- パッケージについているマークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P53)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターンにタッチする



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

音声出力の切り換え

音声が入力された PCM のディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 メニューを押して L/R 切換にタッチする



タッチするごとに、出力の設定が以下のように切りかわります。

L+R → R → L → L+R に戻る

L	左の音声を出力します。
L+R	左右両方の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。

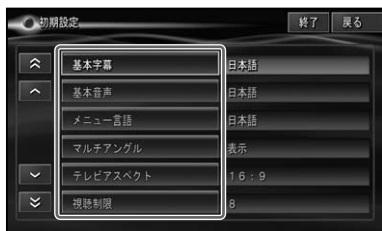
初期設定をする

DVDの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

1 「メニュー」を押して初期設定にタッチする



2 各項目にタッチして設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

- 初期設定メニューを操作中は、DVDの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

基本字幕

優先して表示させたい字幕言語を設定することができます (マルチ言語字幕)。

1 「基本字幕」にタッチする

2 それぞれの言語を設定する



日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

- 「その他」にタッチしたときは、「言語コード表」(→P56)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

基本音声

優先して聞きたい音声言語を設定することができます (マルチ音声)。設定項目は基本字幕と同じです。

メニュー言語

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。設定項目は基本字幕と同じです。

マルチアングル

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。工場出荷時は「表示」です。

1 「マルチアングル」にタッチする

2 アングルを設定する



- | | |
|------------|-----------------|
| 表示 | アングルマークを表示します。 |
| 非表示 | アングルマークを表示しません。 |

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像 (マルチアングル) が収録されているディスクに対して有効です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスキャン

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します。(左右にはみ出た映像は表示されません。)



- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで「16:9 PS」マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

1 視聴制限にタッチする

2 暗証番号を入力し決定にタッチする



3 制限レベルを設定する



視聴レベル 内容

視聴レベル	内容
8	ディスクを全て再生します。
7~2	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生します。)
1	子供向けのディスクのみ再生します。



- **視聴制限**にタッチすると、暗証番号入力画面が表示されますので、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ

DVD を挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 オートプレイにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

- オートプレイの設定を ON にしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイを OFF にして再生してください。
- オートプレイの設定が ON のときはリピート再生は機能しません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ベルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラーヤラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
セモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スندا語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チクリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

DVD-VR の再生

DVD-VR の基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- ・停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

- ・すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り換えてください。(→P14)
- ・DVD-VR の録音レベルは他の AV ソースより低いため、他の AV ソースから DVD-VR に切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターで AV ソースごとの音量の違いをそろえることができます(→P132)。
- ・再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P160)を参照してください。
- ・再生を中止するには、**■** にタッチするか AV ソースを OFF にします。(→P14)
- ・専用フロントカメラまたは専用バックカメラの映像表示中は、一時的に再生を停止します。

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 DVD-VR の映像表示中に画面にタッチする

- ・リモコンの**決定**を押しても操作タッチキーを表示することができます。

操作タッチキー 1



タイムバー

CMスキップ	／ 一定の秒数だけ早送り／早戻しを行います。(→P58)
CMバック	
リスト	リスト表示に切り換えます。(→P60)
▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
 ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→P58, P59)
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。(→P59)
次ページ	▶ 操作タッチキー 2 に切り換えます。
◀/▶▶	▶ 早戻し／早送りをを行います。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

◀▶ / ▶▶	キーから指を離しても早戻し / 早送りを続けられます。もう一度タッチすると通常再生に戻ります。
タイムバー	タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生) (→ P60)

操作タッチキー 2



サーチ	タイトル、チャプターによるサーチを行います。(→ P60)
字幕切換	再生中に字幕言語を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P61)
音声切換	再生中に音声言語を切り換えます。(マルチ音声) (→ P61)
◀◀ 前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。

- ✎ **ビュー** にタッチすると、操作タッチキーを消すことができます。

本体のボタン操作：

◀ / ▶	チャプターのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	タイトルのアップ / ダウンを行います。

□ タリコマンドー & セレクター操作：

▲ / ▼	タイトルのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶	チャプターのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	早戻し / 早送りをを行います。
◀ / ▶ (押し続ける)	キーから指を離しても、早戻し / 早送りを続けられます。もう一度押しすと通常再生に戻ります。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMスキップ または CMバック にタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早送り / 早戻しが行われます。

CMスキップ (早送り) 「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」 → 「2分」 → 「3分」 → 「5分」 → 「10分」 → 「0秒」 → 30秒に戻る

CMバック (早戻し) 「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」 → 「1分」 → 「2分」 → 「3分」 → 「0秒」 → 5秒に戻る

- ✎ ディスクや再生位置によって、ⓧ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見るすることができます。

1 ▶▶▶ にタッチする

タッチするごとに、映像が 1 コマずつ送られます。



- ▶/⏮にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、ⓧ（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 ▶/⏮にタッチし続ける

送り方向にスロー再生されます。



スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16
スロー-UP	1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2

- ▶/⏮にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、ⓧ（禁止マーク）が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → **CHAPTER REPEAT**
→ **TITLE REPEAT** → **DISC REPEAT**
に戻る

DISC REPEAT	再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

- 選んだリピート範囲は、AV ソースプレートに表示されますが、通常再生である DISC REPEAT は AV ソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、ⓧ（禁止マーク）が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（CHAPTER REPEAT 中のチャプターの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付録

リストから選んで再生する

プレイリストまたはプログラムリストを表示して、見たいタイトルを直接選んで再生することができます。

1 リストにタッチする



2 見たいタイトルにタッチする



- **モード切換** にタッチすると、プレイリストとプログラムリストの表示を切り換えます。
- **終了** にタッチすると、最後に選んだタイトルの先頭に戻って再生を開始します。
- リスト画面は約 20 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト** にタッチします。

タイムバーサーチ再生

操作タッチキーに表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時刻）を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

タッチした位置（時刻）から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 サーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER** が選べます。
数字キー



3 数字キーにタッチし、見たい場面のサーチの種類番号を入力したら**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。

指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 字幕切換にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 音声切換にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声言語の内容を表示しています。実際に再生される音声言語は、設定により表示とは異なる場合があります。

音声多重の切り換え

ディスクに2カ国語放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り換えることができます。

1 メニューを押して**音声多重**にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

MAIN → MAIN + SUB → SUB → MAIN に戻る

MAIN	主音声（日本語）
SUB	副音声（外国語）
MAIN + SUB	主・副音声 （日本語＋外国語）

- 「MAIN + SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。
- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

初期設定をする

DVD-VRの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

1 **メニュー**を押して**初期設定**にタッチする



2 項目にタッチして設定を行う



設定項目の設定内容は、右側に表示されます。



初期設定メニューを操作中は、DVD-VRの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 **テレビアスペクト**にタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスキャン

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します。(左右にはみ出た映像は表示されません。)



- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、パンスキャンに設定してもレターボックスで再生されます。ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

DivX の再生

DivX の基本的な再生のしかたについて説明します。

注意

- ・ 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

- ・ すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AV ソースを切り換えてください。(→P14)
- ・ 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P160)を参照してください。
- ・ 再生を中止するには、**■** にタッチするか AV ソースを OFF にします。(→P14)
- ・ 専用フロントカメラまたは専用バックカメラの映像表示中は、一時的に再生を停止します。
- ・ 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC データ (ROM) と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクを再生した場合、再生される優先順位は以下のようになり、優先順位の高いもののみ再生されます。

① CD → ② ROM → ③ DivX

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 DivX の映像表示中に画面にタッチする

- ・ リモコンの **決定** を押しても操作タッチキーを表示することができます。

操作タッチキー 1



タイムバー

CM スキップ	一定の秒数だけ早送り／早戻しを行います。(→P64)
CM バック	
リスト	リスト表示に切り換えます。長くタッチすると、ルートフォルダーへ移行します。(→P66)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
 ▶	コマ送り再生／スロー再生を行います。(→P64, 65)
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生します。(→P65)
ランダム	ランダム再生します。(→P66)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。
◀▶	早戻し／早送りをを行います。
◀▶	キーから指を離しても早戻し／早送りを行い続けます。もう一度タッチすると通常再生に戻ります。
タイムバー	タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生) (→P67)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

シリアル設定

その他の機能

付録



字幕切換	再生中に字幕言語を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P67)
音声切換	再生中に音声言語を切り換えます。(マルチ音声) (→ P67)
◀◀前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。

本体のボタン操作：

◀ / ▶	ファイルのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	フォルダーのアップ／ダウンを行います。

□-タリーコマンダー&セレクター操作：

▲ / ▼	フォルダーのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶	ファイルのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	早戻し／早送りをを行います。
◀ / ▶ (押し続ける)	キーから指を離しても、早戻し／早送りを引き続き行います。もう一度押しすと通常再生に戻ります。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早送り / 早戻しされます。

CMスキップ (早送り)	「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→30秒に戻る
CMバック (早戻し)	「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→5秒に戻る

✎ ・ディスクや再生位置によって、⊘ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

コマ送り再生

再生中の映像を 1 コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 **▶▶** にタッチする

タッチするごとに、映像が 1 コマずつ送られます。



- ▶▶ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、⊘ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 ▶▶ にタッチし続ける

送り方向にスロー再生されます。



- ▶▶ にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、⊘ (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生します。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

DISC REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → DISC REPEAT に戻る

DISC REPEAT	再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

- 選んだリピート範囲は、AV ソースプレートに表示されますが、通常再生である DISC REPEAT は AV ソースプレートに表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (FILE REPEAT 中のファイルの切り換えなど) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

ビデオ
サーパー

その他の機器

オーディオ:
システム設定

その他の機能

付録

ランダム再生

選んだりリピートの範囲内で、トラック順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。

- ランダム再生中にリピート再生などを行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

リストから選んで再生する

リストを表示して、見たいファイルを直接選んで再生することができます。

1 リストにタッチする



- リスト**に長くタッチすると、ルートフォルダから表示します。

2 見たいタイトルにタッチする






- ↑** (リターン) にタッチすると、上位階層のフォルダの内容をリスト表示します。
- リストの **□** にタッチすると、そのフォルダの内容をリスト表示します。
- 終了** にタッチすると、最後に選んだファイルの先頭に戻って再生を開始します。
- リスト画面は約 20 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト** にタッチします。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。



はい または **いいえ** にタッチします。

	ディスクを停止します。
	前のファイルを表示します。
	次のファイルを表示します。

- DivXのレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、システム設定の「DivX VOD コード」(→P149)でレジストレーションコードを入手して行ってください。

タイムバーサーチ再生

操作タッチキーに表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時刻）を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

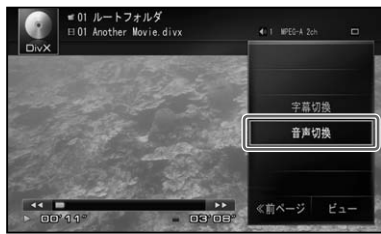
タッチした位置（時刻）から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

音声言語の切り換え

音声言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます（マルチ音声）。

1 音声切換にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声言語の内容を表示しています。実際に再生される音声言語は、設定により表示とは異なる場合があります。

字幕言語の切り換え

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます（マルチ字幕）。

1 字幕切換にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

初期設定をする

DivX の再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

1 **メニュー** を押して **初期設定** にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

2 各項目にタッチして設定を行う



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。



• 初期設定メニューを操作中は、DivXの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

映像出力設定

DivXの映像出力の画面サイズを設定します。工場出荷時は「フル」です。

1 映像出力設定にタッチする

2 フルまたはアスペクト比固定にタッチする



フル

アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。

アスペクト比固定

アスペクト比はそのまま、長辺を画面に合わせて表示します。**アスペクト比固定**を選んだ場合は、ワイドモードの設定(→P153)を「FULL」に設定してください。

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスキャン

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します。(左右にはみ出た映像は表示されません。)



• 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

ミュージックサーバー

音楽用 CD を録音する	70	リンクゲートプレイ	83	
CD から録音するには	70	リンクゲートプレイで再生する	83	
録音領域について	70	属性を選んで再生する	83	
録音についてのご注意	70	属性を解除する (オールランダム)	84	
CD 録音の制限について	70	曲を探す	84	
タイトル表示について	71	リンクゲートプレイを中止して通常再生に戻る	84	
録音設定	71	プレイリストやグループを作成する	85	
CD を自動的に録音する	72	ユーザーグループにプレイリストを作成する	85	
パソコンから楽曲データを転送する	73	カスタマイズグループを作成する	86	
楽曲データを転送するには	73	グループやプレイリスト、	トラックを編集する	88
録音領域について	73	グループを編集する	88	
楽曲転送の制限について	73	グループの詳細情報を表示する	89	
ミュージックサーバーの聴きかた	74	グループ内のプレイリストを消去する	89	
グループ、プレイリスト、トラックについて	74	グループ内のプレイリストの		
再生する	74	再生順を変更する	90	
リストから選んで再生する	75	カスタマイズグループを初期化する	90	
リスト表示を切り換える	76	プレイリストを編集する	91	
タイムバーサーチ再生	76	プレイリスト詳細情報画面を表示する	92	
詳細情報を表示する	77	プレイリストのタイトルやよみを変更する	92	
リピート再生	77	プレイリストのアーティスト名を変更する	92	
ランダム再生	78	プレイリストのジャンル分類を変更する	93	
ダイジェストスキャン再生	78	プレイリストに画像を設定する	93	
フィーリングプレイで再生する	79	ユーザープレイリストにトラックを追加する	94	
フィーリングプレイについて	79	プレイリストからトラックを消去する	94	
オートモードで再生する	79	ユーザープレイリストの		
好みの曲調で再生する	80	トラック再生順を変更する	94	
再生曲が選択した曲調と合わない		トラックを編集する	95	
と感じた場合	80	トラックのアルバム名を変更する	96	
フィーリング対象外設定	80	タイトル情報を取得する	97	
オートモード設定	81	タイトル情報について	97	
学習クリア	82	取得できる情報	97	
		No Title 表示について	97	
		タイトル情報を取得する	97	
		通信でタイトル情報を取得する	98	

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

システム設定

その他の機能

付録

音楽用 CD を録音する

音楽用 CD の楽曲をミュージックサーバーに録音することができます。

CD から録音するには

未録音の音楽用 CD を本機で再生すると、自動的にミュージックサーバーへの録音が始まります。



- 録音をするには、あらかじめオート録音モードを「ON」に設定してください。
- CD を 1 枚録音すると、オリジナルプレイリスト (→ P74) が 1 つ作成されます。
- CD からの録音音質は、「標準」と「高音質」を選ぶことができます。出荷時は標準に設定されています。設定の変更は録音前に行ってください。→「録音設定」(P71)
- CD 録音音質設定を「高音質」に設定すると CD 同等の音質で録音できます。
- CD 以外の AV ソース (ラジオや DVD など) は録音できません。
- WMA/MP3/AAC などの楽曲データを記録した媒体 (CD-R など) から、ミュージックサーバーに直接録音することはできません。楽曲データはパソコンから転送してください。→「パソコンから楽曲データを転送する」(P73)

録音領域について

本機では、ハードディスク内の録音領域を「CD 録音コンテンツ領域」と「PC 転送コンテンツ領域」に分けて使用しています。CD 録音領域はあとから増やすことはできませんが、その際 PC 転送コンテンツ領域内のデータは消去されます。あらかじめ使用用途に応じて使用領域を設定しておくことをおすすめします。→「CD 録音 / PC 転送使用領域設定」(P149)

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音音質 (→ P71) が標準の場合、高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

CD 録音の制限について

- 標準的な CD (44.1kHz、16 ビットステレオの PCM デジタル音声データ) 以外の CD からは録音できません。
- コピーコントロール CD の録音については保証していません。
- CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R など) から、ミュージックサーバーに録音 (コピー) することはできません。また、ミュージックサーバーからパソコンにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブ CD などの曲間が途切れない CD を録音しているときにエンジンを停止したりして電源が OFF になった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。

- CD 録音の制限（最大数）は以下のとおりです。制限を超えて録音することはできません。

オリジナルプレイリスト数	999
1 オリジナルプレイリストあたりのトラック数	99
総トラック数	20 000

- 上記制限の為、CD は最大 999 枚まで、CD1 枚あたりの曲数は最大 99 曲（トラック）までが録音対象となります。

タイトル表示について

内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDb) から情報が取得できた場合は、AV ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- ✎
 タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができる場合があります。→「**タイトル情報を取得する**」(P97)
- CD 再生中画面や CD → MSV 録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が 1 曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。→「**プレイリストを編集する**」(P91)

録音設定

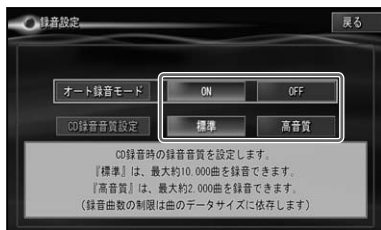
未録音の CD を再生したときに、録音を行うかどうか、および録音音質の設定を行います。

- ✎
 ・録音中は設定できません。

1 AVソース画面で**メニュー**を押して**システム設定** - **録音設定**にタッチする



2 項目にタッチして設定する



オート録音モード

ON	録音します。
OFF	録音しません。

CD 録音音質設定

標準	標準音質で録音します。 (最大約 18 倍速録音)
高音質	高音質で録音します。 (4 倍速録音)

- ✎
 ・「高音質」は CD 同等の音質で録音されますが、「標準」に比べて録音できる曲数は少なくなります。
- 録音できる曲数の目安は、CD 録音 / PC 転送使用領域設定画面 (→ P149) で確認できます。

CDを自動的に録音する

録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバー(MSV)への録音が始まります。あらかじめオート録音モードを「ON」に設定してください。

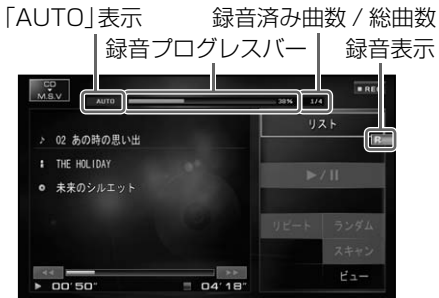
1 オート録音モードの設定(→P71)を「ON」にする

工場出荷時は「ON」になっています。

2 録音したいCDを挿入する

自動的に録音が始まります。

CD → MSV (録音中画面)



- 録音が完了した曲のトラックタイトルに色が付きます。現在再生中の曲には♪マークが付きます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)、タイムバーサーチ再生、早戻し/早送りはできません。操作が必要な場合は、**■REC** にタッチして録音を中止してください。録音を再開する場合は、**●REC** にタッチします。
- 録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。
- 全ての曲の録音が終わると、再生中だった曲の次の曲から通常再生が開始されます。
- 録音中に他のAVソース(ビデオサーバーを除く)を楽しむことができます。他のAVソースに切り換えても録音は継続しています。
- 録音中は、画面右上に **R** (赤) マークが表示されます。

パソコンから楽曲データを転送する

パソコンに保存してある楽曲データをナビゲーション（ミュージックサーバー）へ転送することができます。

楽曲データを転送するには

楽曲データを転送するには、付属のパソコンソフト「BeatJam 2010 for carrozzeria」（以降、BeatJam（Music））をパソコンにインストールし、リビングキットをパソコンに接続、ブレイユニットをセットして転送します。

- BeatJam（Music）のインストール方法やリビングキットの接続方法については、『リビングキット & NAVI*STUDIO カンタン接続・セットアップガイド』をご覧ください。
- BeatJam（Music）の使いかたや転送可能な楽曲データの種類（コーデック）などについては、BeatJam（Music）のヘルプをご覧ください。
- 転送時のグループごとにオリジナルプレイリストが1つ作成されます。
- BeatJam（Music）では、本機で再生できる形式への変換とグループ・アルバムに対応した画像の転送と曲調の解析・転送も行います。
- BeatJam（Music）以外のツールで転送すると、再生できない場合や一部機能が動作しない場合があります。

注意

- 転送中は、パソコンの電源を切ったり USB ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスク内のデータが壊れる可能性があります。

録音領域について

本機では、ハードディスク内の録音領域を「CD 録音コンテンツ領域」と「PC 転送コンテンツ領域」に分けて使用しています。PC 転送コンテンツ領域を増やすには、両方の領域に録音済みデータを全て消去する必要があります（変更時に消去されます）。あらかじめ使用用途に応じて使用領域を設定しておくことをおすすめします。→「CD 録音 / PC 転送使用領域設定」（P149）

楽曲転送の制限について

楽曲データ転送の制限（最大数）は、以下のとおりです。制限を超えて転送することはできません。

オリジナルプレイリスト数	4 096
1 オリジナルプレイリストあたりのトラック数	999
総トラック数	65 535

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

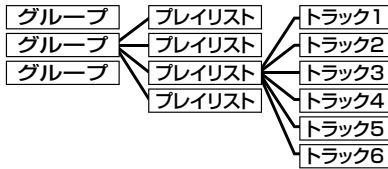
付録

ミュージックサーバーの聴きかた

本機に録音・転送した音楽は、ミュージックサーバー (MSV) という AV ソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

オリジナルグループ	録音した曲データそのものが格納されているグループです。CD を1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。また、パソコンから転送した場合も、転送結果に基づいてプレイリストが1つまたは複数作成されます。
アーティストグループ	トラックのタイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
アルバムグループ	トラックのタイトル情報のアルバム名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
ジャンルグループ	トラックのジャンル情報により自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
フィーリンググループ	トラックの曲調によってフィーリングプレイのキーワードごとに自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。

ユーザーグループ	ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。
カスタマイズグループ1~5	ユーザーが好みに応じて作成したお好みのプレイリストが格納されているグループです。

再生する

ミュージックサーバーに録音した曲を再生します。

1 AV ソースを MSV(ミュージックサーバー) にする (→ P14)

前回表示していた画面が表示され、続きから再生されます。



タイムバー

NormalPlay → LinkGatePlay	リンクゲートプレイを行います。(→ P83)
リスト	リスト表示に切り換えます。(→ P75)
リスト	グループリスト(トップリスト)へ移動します。(→ P75)
詳細情報/編集	再生中の曲を含むオリジナルプレイリストの詳細情報を確認することができます。(→ P77)
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。

リピート	リピート再生します。 (→ P77)
ランダム	ランダム再生します。 (→ P78)
ダイジェスト	ダイジェスト再生します。 (→ P78)
◀▶	早戻し/早送りを行います。
タイムバー	タッチした位置より再生 します。(タイムバーサー チ再生) (→ P76)

本体のボタン操作：

◀▶	トラックのアップ/ダウンを 行います。
◀▶ (長く押し)	プレイリストのアップ/ダウ ンを行います。

ロータリーコマンダー&セクター操作：

▲▼	プレイリストのアップ/ダウ ンを行います。
◀▶	トラックのアップ/ダウンを 行います。
◀▶ (長く押し)	早戻し/早送りを行います。

- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭に♪マークが付きます。
- プレイリストおよびトラック名には項目名の頭に以下のマークが付きます。
 - : CD から録音した曲
 - : パソコンから転送した楽曲データ
- パソコンから転送した再生期限付きデータは、再生することができますが、本機の日時が正しく設定されていない場合など、再生することができないことがあります。
- 画像データがある場合は、再生画面に表示されます。
- 再生を中止するには、AV ソースを OFF にします。(→ P14)
- MSV 収録曲のリストを、蓄積型プローブとしてアップロードすることができます。→「プローブ情報作成予約設定」(P148)

リストから選んで再生する

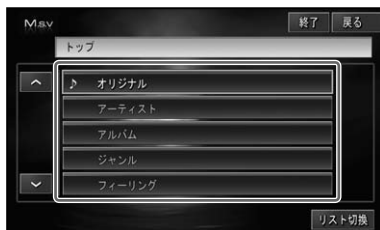
リストを表示して、プレイリストやトラックを直接選んで再生することができます。ここでは、表示されたグループのリスト(トップリスト)からトラックを選ぶまでを説明します。

1 リストにタッチする



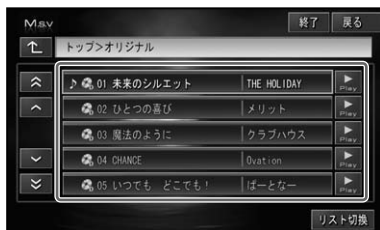
- 前回プレイリストやトラックリストを表示していた場合は、**リスト**に長くタッチすると、トップリストを表示することができます。

2 グループにタッチする



- リスト切換**にタッチすると、リスト表示を3段と5段で切り換えて表示します。(→ P76)

3 プレイリストにタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー




ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能


付録

- 
 (リターン) にタッチすると、トップリストを表示します。
- リスト切換** にタッチすると、リスト表示を3段と5段で切り換えて表示します。(→ P76)
-  にタッチすると、選択中のプレイリストを再生することができます。フィーリンググループのプレイリスト表示中は、 は表示されません。
- フィーリンググループのプレイリストから「オート」以外を選んだときは、選んだプレイリストのトラックリストが表示され、自動的に先頭曲から再生が開始されます。

4 トラックにタッチする



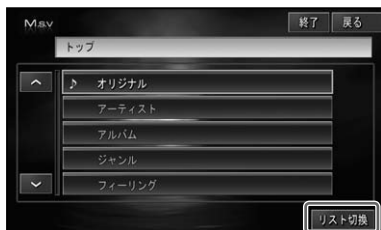
選んだトラックが再生されます。

- 
 (リターン) にタッチすると、プレイリストを表示します。
- 現在再生中の曲には♪マークが表示されます。
- リスト画面は約20秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト** にタッチします。

リスト表示を切り換える

トップリスト、プレイリストのリスト表示を切り換えます。

1 リスト切換にタッチする



タッチすることにより、表示が3段表示 ↔ 5段表示で切り換わります。

3段



5段



タイムバーサーチ再生


操作タッチキーに表示されるタイムバー(0秒～999分59秒)から、位置(時刻)を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

タッチした位置(時刻)から再生されます。

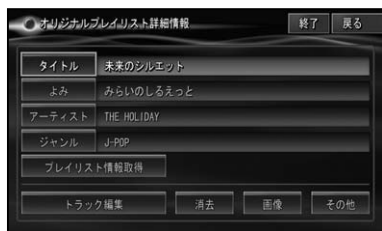
- 
 タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

詳細情報を表示する

現在再生中の曲を含むオリジナルプレイリストの詳細情報を見ることができます。

- ここでの操作では、選択中のグループに関係なく、再生中の曲を含むオリジナルプレイリストの詳細情報が表示されます。他のグループやプレイリストの詳細情報を確認したり編集する場合は、「グループやプレイリスト、トラックを編集する」(→P88)をご覧ください。

1 詳細情報 / 編集にタッチする



詳細情報(タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど)が表示されます。

戻るにタッチすると、元の画面に戻ることができます。

- タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなどを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。
- 詳細情報表示画面内に**その他**がある場合は、タッチすることで他の情報も表示することができます。
- パソコンから転送したプレイリストは、タイトル、アーティスト、ジャンルが表示されますが、編集することはできません。編集は BeatJam で行ってください。

リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートを TRACK REPEAT にすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

GROUP REPEAT → TRACK REPEAT → PLAYLIST REPEAT → GROUP REPEAT に戻る

GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- TRACK REPEAT 再生中に、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生を行うと、リピート範囲は PLAYLIST REPEAT に切り換わります。
- 選んだリピート範囲は画面に表示されますが、通常再生である GROUP REPEAT は、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだりリピートの範囲内で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

- リPEATの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リPEATの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作（リPEAT再生、ダイジェストスキャン再生など）やリPEATの範囲を超える操作（プレイリストの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。
- 通常の再生リスト（→P75）から、グループやプレイリストを選んで再生している場合のランダム再生は、選んだりグループまたはプレイリスト内で行われます。

ダイジェストスキャン再生

選んだりリピートの範囲内で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライト部分を、約15秒間ずつ聴くことができます。

- タイムバーに表示される紫色の範囲が、ハイライト部分であることを示します。ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生し、ハイライト部分は表示されません。

1 ダイジェストにタッチする



ハイライト部分

タッチすることにより、ダイジェストスキャン再生のON/OFFが切り換わります。

- 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度**ダイジェスト**にタッチします。
- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、ダイジェストスキャン再生は解除されます。
- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生やリPEATの範囲を超える操作を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。

フィーリングプレイで再生する

お使いになるときに気分や車の走行状態などに合わせた曲を集めて、自動的に再生する機能です。

フィーリングプレイについて

録音時に解析した曲の特徴（明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される）から、周りの環境（走行状態・天気・時間）に合った曲を本機が自動的に選曲したり、お客様が曲の特徴を選び、それに合った選曲で再生することができる機能です。また、最後まで聴いた曲を学習値として記憶し、よりお客様好みの選曲をするよう成長していきます。

なお、以下の場合にはフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- BeatJamで曲調解析せずに転送した曲



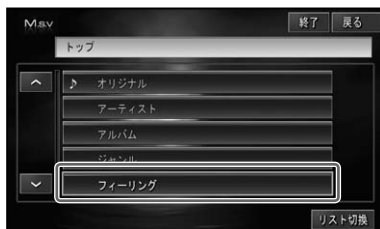
- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調整されています。
- プレイリストをフィーリングプレイの対象外（→P80）としたり、設定された曲調の変更（→P81）や学習値をクリア（→P82）するなど、フィーリングプレイの詳細設定を行うことができます。
- 表示されるトラックリストは、これまでの学習値（曲を最後まで聴く/フィーリング対象外に設定）を考慮した上で、曲調にマッチする曲を学習値の高いものから降順に並べたものです。
- オートモード時の「天気」は、ウェザーライブ（→「ナビゲーションブック」-「通信」-「ウェザーライブ」）による天候情報が取得されているときに考慮されます。

オートモードで再生する

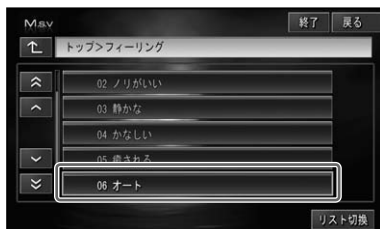
走行状態や天気、現在の時間を考慮して、現在のシチュエーションにあった曲を自動的に選曲し再生します。

1 リストに長くタッチする

2 フィーリングにタッチする



3 オートにタッチする



現在のシチュエーションにあった曲が自動的に再生されます。



- 現在のシチュエーションに該当する曲がない場合は、フィーリングプレイ対象の曲をランダムに再生します。
- 再生される曲は、フィーリングプレイの学習値を反映したものです。
- フィーリングプレイを中止する場合は、トップリスト（→P75）からフィーリング以外のグループを選択してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

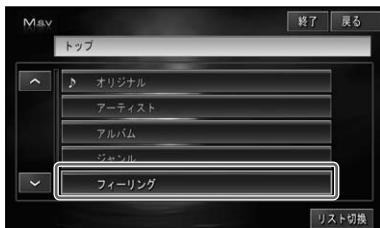
付録

好みの曲調で再生する

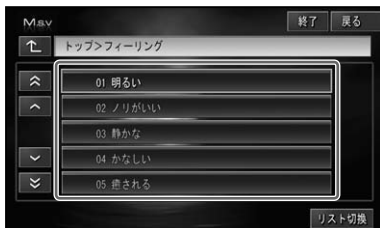
フィーリングのプレイリスト（明るい、ノリがいい、・・・）を選ぶと、それに合った曲を自動的に選曲し再生することができます。

1 リストに長くタッチする

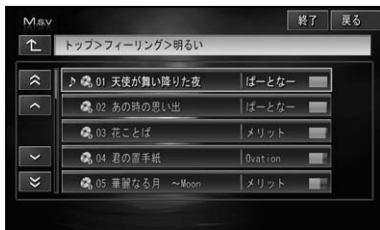
2 フィーリングにタッチする



3 聴きたい曲調にタッチする



選んだリストの先頭曲が自動的に再生されます。



- 選曲した曲の学習値（曲調との一致度合い）が右側のバーに表示されます。
- 現在再生中の曲には♪マークが表示されます。
- 選んだ曲調に該当する曲が無いときは、メッセージが表示されます。

再生曲が選択した曲調と合わないと感じた場合

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

1 UNFIT にタッチする



再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のトラックリスト作成に反映します。

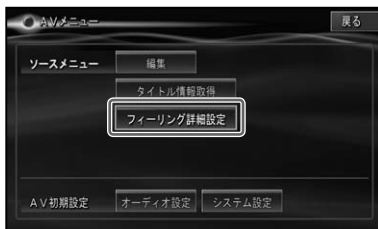
再生は次のトラックに切り換わります。

- フィーリングのプレイリストで**オート**を選んだ場合は、**UNFIT**を選ぶことができません。

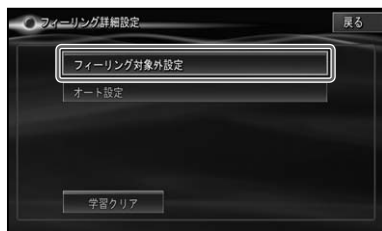
フィーリング対象外設定

プレイリストをフィーリング対象から外すことができます。

1 **メニュー**を押して**フィーリング詳細設定**にタッチする



2 フィーリング対象外設定にタッチする



3 対象から外すプレイリストにタッチする



選ばれたプレイリストには (禁止マーク) が付き、フィーリング再生対象から外れます。

- もう一度 (禁止マーク) の付いたプレイリストにタッチすると、設定した対象外設定は解除されます (禁止マークが消えます)。
- 対象外の設定は、次にフィーリング再生するとき、またはその曲調を一通り再生したあと有効になります。

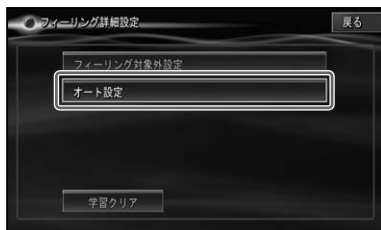
オートモード設定

オートモード再生時の、周りの環境に適した曲調の設定を変更することができます。

1 (メニュー) を押してフィーリング詳細設定にタッチする



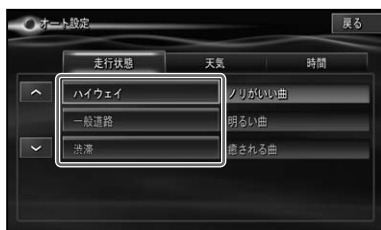
2 オート設定にタッチする



3 設定にタッチする



4 変更したい項目にタッチする



5 変更する曲調にタッチする



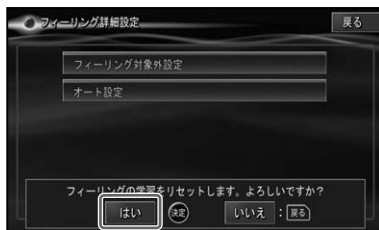
つづく→



- ・「走行状態」・「天気」・「時間」に適した曲調を設定できます。
- ・手順 3 で **初期化** にタッチすると、設定した曲調を工場出荷時の状態に戻すことができます。工場出荷時の状態は以下のとおりです。

走行状態	ハイウェイ	ノリがいい曲
	一般道路	明るい曲
	渋滞	癒される曲
天気	晴れ	ノリがいい曲
	曇り	明るい曲
	雨	静かな曲
	雪	かなしい曲
時間	早朝	癒される曲
	朝	明るい曲
	昼	ノリがいい曲
	夜	静かな曲
	深夜	かなしい曲

3 はいにタッチする

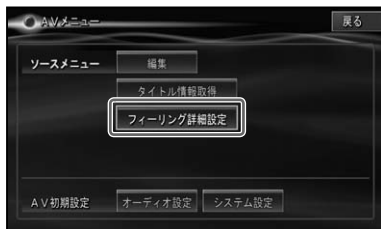


学習値をクリアします。

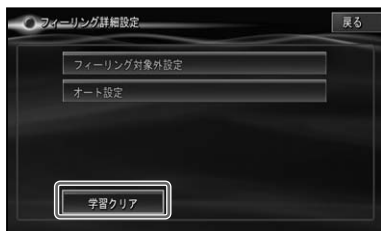
学習クリア

本機の学習値 (→ P80) をクリアします。

1 **メニュー** を押して **フィーリング詳細設定** にタッチする



2 **学習クリア** にタッチする



リンクゲートプレイ

リンクゲートプレイとは、現在再生中の曲と同じ種類の曲を簡単な操作で選出し、再生する機能です。

リンクゲートプレイで再生する

1 NormalPlay→LinkGatePlayにタッチする



リンクゲートプレイで再生が開始されます。



タイムバー 属性

NormalPlay←	通常再生に戻ります。
LinkGatePlay	(→ P83)
各属性	属性を選んで再生します。(→ P83)
All Songs	属性の指定を解除してオリジナルグループをランダムに再生します。(→ P84)
◀▶	早戻し/早送りをを行います。
タイムバー	タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生) (→ P76)

本体のボタン操作：

◀▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
-----------	--------------------

ロータリーコマンダー&セレクター操作：

◀▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
◀▶ (長く押し)	早戻し/早送りをを行います。

- 最初にリンクゲートプレイモードに切り換えたときは、全ての楽曲(オリジナルグループ)をランダムに再生するオールランダムモードで再生します。
- 再生中の曲にジャケット写真情報が含まれる場合、画面に表示されます。
- プログレッシブ JPEG には対応しておりません。

属性を選んで再生する

現在再生中の曲と同じ属性の曲を再生することができます。

1 リンクゲートプレイ再生中に他の属性にタッチする



Artist	現在再生中の曲と同じアーティストの曲をランダムに再生します。
Album	現在再生中の曲が収録されているアルバムプレイリスト内をプレイリスト順に再生します。
Genre	現在再生中の曲と同じジャンルの曲をランダムに再生します。

つづく→

Feeling	現在再生中の曲と同じフィーリングの曲をランダムに再生します。
Tempo	現在再生中の曲と同じテンポの曲をランダムに再生します。

選んだ属性が予約状態となり、現在再生中の曲が終わると、選んだ属性のプレイリストをランダムで再生します。

- 予約を行うと、画面右側に「NEXT」と表示されます。
- 予約した属性を解除するには、もう一度同じ属性にタッチします。
- 予約した属性ですぐに再生したいときは、ロータリーコマンドー&セレクターの▶を押します。
- 選んだ属性の曲の再生が開始すると、画面右側にその属性の曲数が表示されます。
- 再生中の属性にタッチすると、ポップアップが表示され、トラックリピート/解除、一時停止(ポーズ)/解除が行えます。
- 「Feeling」を選んだ場合でも、該当する曲が含まれない場合があります。

属性を解除する(オールランダム)

指定した属性を解除して、全ての楽曲(オリジナルグループ)をランダムに再生します。

1 リンクゲートプレイ再生中に All Songs にタッチする



全ての楽曲をランダムに再生します。

曲を探す

オリジナルグループ内すべての曲から聞きたい曲を探します。

1 オールランダムモード(→P84)で再生中に All Songs -ダイジェストにタッチする



オリジナルグループ内の全ての楽曲のハイライト部分が、約15秒ずつランダムに再生されます。

- タイムバーに表示される紫色の範囲が、ハイライト部分であることを示します。ハイライト部分は、本機の曲調・ハイライト検出処理機能で検出します。検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生し、ハイライト部分は表示されません。
- **All Songs -ダイジェスト解除**にタッチすると、オールランダムに戻ります。

リンクゲートプレイを中止して通常再生に戻る

リンクゲートプレイを止めて通常再生に戻します。

1 リンクゲートプレイ再生中に NormalPlay ← LinkGatePlay にタッチする



通常再生に戻ります。

プレイリストやグループを作成する

ミュージックサーバーの録音した曲からお好みの曲やプレイリストを選び、ユーザープレイリストやカスタマイズグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で再生することができます。

ユーザーグループにプレイリストを作成する

ミュージックサーバーに録音した曲から、曲を選んでプレイリストを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番で曲を再生することができます。作成したプレイリストはユーザーグループに保存されます。

- プレイリストは 99 個まで作成できます。
- 1 つのプレイリストには、99 曲（トラック）まで登録できます。
- パソコンから転送したデータは、ユーザープレイリストに登録できません。

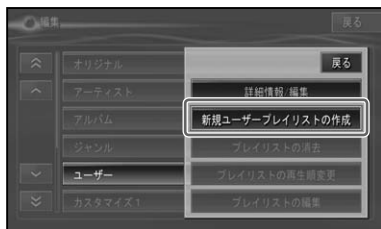
1 『メニュー』を押して『編集』にタッチする



2 『ユーザー』にタッチする



3 新規ユーザープレイリストの作成にタッチする

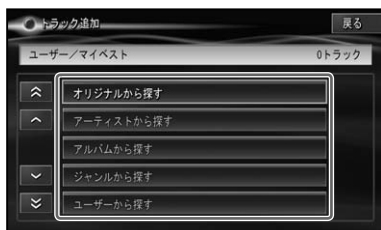


4 タイトルを入力（→『ナビゲーションブック』）し、『入力終了』にタッチする



- 以下の場合は、『入力終了』にタッチしても編集結果は反映されません。
 - 何も入力していない場合
 - 半角/全角のスペースのみ入力した場合

5 トラックを探す方法にタッチする



つづく→

- 最近録音／登録した曲から探す以外を選んだ場合は、プレイリストやジャンルを順に選びます。

6 登録したいトラックにタッチする



選んだトラックには「✓」チェックマークが付きます。引き続き選ぶことができます。

他のリストからもトラックを選びたい場合は、**戻る**にタッチして手順**5**に戻り、他のリストからトラックを選びます。

- リストに100曲以上ある場合は、選択できません。

7 終了—はい—toタッチする



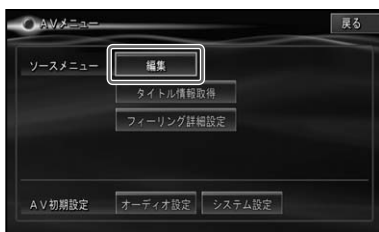
ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。

カスタマイズグループを作成する

カスタマイズグループは、ミュージックサーバー内のプレイリストを選んで、カスタマイズグループ1～5のいずれかに登録（追加）することで、作成できます。カスタマイズグループを作成しておく、いつでも呼び出して指定した順番でプレイリストを再生することができます。作成したグループには好きな名前が付けられます。

- グループは5個まで作成できます。
- 1つのグループには、99個までのプレイリストが登録できます。
- パソコンから転送したデータは、カスタマイズグループには登録できません。

1 **メニュー**を押して**編集**にタッチする

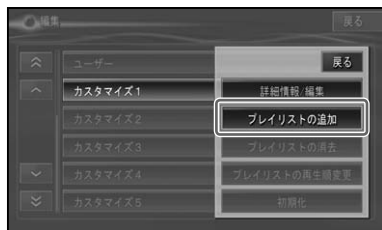


2 **カスタマイズ1～カスタマイズ5**のいずれかにタッチする

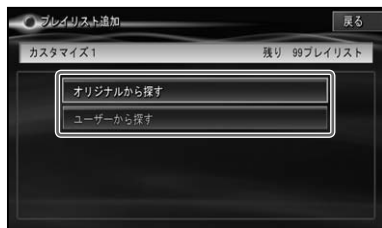


- カスタマイズグループ名（カスタマイズグループ1～5）は、他の名称に変更することができます。→「グループを編集する」(P88)

3 プレイリストの追加にタッチする



4 プレイリストを探すグループにタッチする



5 登録したいプレイリストにタッチする

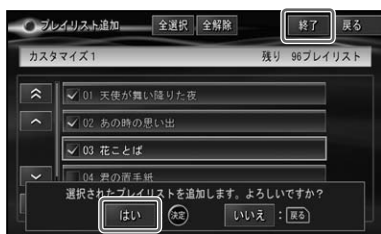


選んだプレイリストには「✓」チェックマークが付きます。引き続き選ぶことができます。

他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る** にタッチして手順 4 まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。

- ✎ リストにプレイリストが 100 以上ある場合は、選択できません。

6 終了 - はい にタッチする



選んだプレイリストが追加され、カスタマイズグループに登録されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

グループやプレイリスト、トラックを編集する

ミュージックサーバーに録音した曲やユーザーが作成したグループやプレイリストの編集や削除をすることができます。

グループを編集する

グループ内のプレイリストの消去や再生順の変更などを行います。

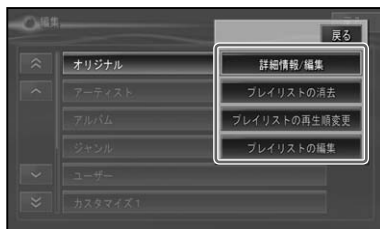
1 **メニュー**を押して**編集**にタッチする



2 編集するグループを選ぶ



3 編集したい内容にタッチする



詳細情報 / 編集	グループの詳細情報の表示と名称やよみの編集(カスタマイズグループのみ)ができます。(→ P89)
新規ユーザープレイリストの作成	ユーザーグループにユーザープレイリストを新規作成します。(→ P85)
プレイリストの追加	カスタマイズグループに、プレイリストを追加します。(→ P87)
プレイリストの消去	オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループからプレイリストを消去します。(→ P89)
プレイリストの再生順変更	オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループのプレイリストの再生順を変更します。(→ P90)
プレイリストの編集	オリジナル、アーティスト、アルバム、ジャンル、ユーザーの各グループのプレイリストを編集します。(→ P91)
初期化	カスタマイズグループのグループを初期化します。(→ P90)



• 選択したグループによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。

グループの詳細情報を表示する

グループの詳細情報を表示します。

1 P88 手順 3 で **詳細情報/編集** にタッチする

2 詳細情報を確認する



プレイリスト編集

グループ内のプレイリストの編集ができます。
(→ P91)



- カスタマイズグループを選んだときは、**名称** にタッチして名称を変更することができます。

グループ内のプレイリストを消去する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストをそれぞれ消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルグループのプレイリスト	ユーザーが録音した曲データがプレイリストごと消去されます。
ユーザーグループのプレイリスト	ユーザーが作成した曲順データがプレイリストごと消去されます。
カスタマイズグループ1～5のプレイリスト	ユーザーが作成したプレイリスト順データがプレイリストごと消去されます。

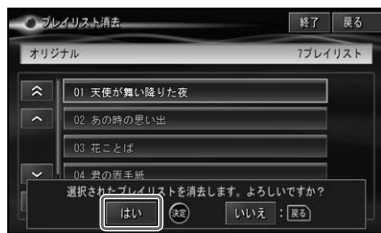


- アーティスト、アルバム、ジャンルの各グループはプレイリストを消去できません。
- パソコンから転送したプレイリストは、BeatJam で消去できます。

1 P88 手順 3 で **プレイリストの消去** にタッチする

2 消去するプレイリストにタッチする

3 **はい** にタッチする



- オリジナルグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックおよびプレイリストがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックおよびプレイリストも同時に消去されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

グループ内のプレイリストの再生順を変更する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。

- アーティスト、アルバム、ジャンルの各グループは再生順を変更できません。

1 P88 手順 3 でプレイリストの再生順変更

2 順番を変更したいプレイリストにタッチする



3 ▲ / ▼ にタッチして移動先を決め、もう一度プレイリストにタッチする



4 編集を終了する場合は終了にタッチする

- 戻る にタッチすると引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

カスタマイズグループを初期化する

お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して全てのプレイリストを消去できます。

- カスタマイズグループ以外は初期化できません。

1 P88 手順 2 で初期化するカスタマイズグループ(1~5)にタッチする

2 P88 手順 3 で初期化にタッチする

3 はい にタッチする

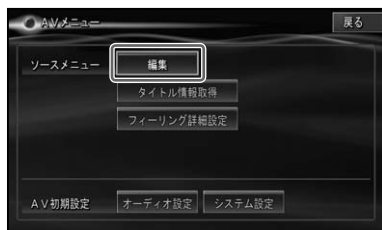


プレイリストを編集する

各グループに登録されているプレイリストの情報を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、トラックの追加・消去を行うことができます。

- ✎ カスタマイズグループ内のプレイリストは、直接編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されません。
- BeatJam から転送して登録したプレイリストは、詳細情報の表示はできませんが、編集はできません。

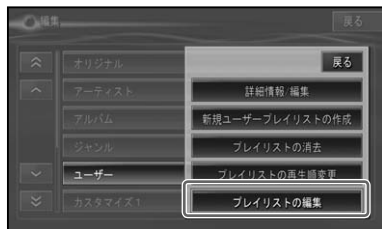
1 **メニュー**を押して**編集**にタッチする



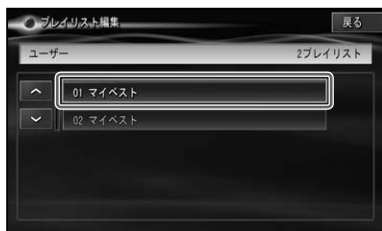
2 編集したいプレイリストが登録されているグループにタッチする



3 **プレイリストの編集**にタッチする

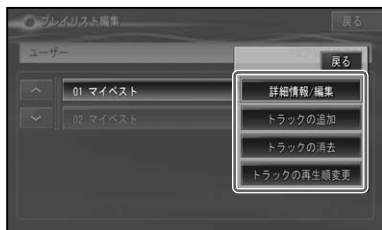


4 編集するプレイリストにタッチする



プレイリスト編集項目が表示されます。

5 編集したい内容にタッチする



詳細情報/編集	プレイリストの詳細情報の表示とタイトルやよみなどの編集ができます。(→ P89)
トラックの追加	ユーザーグループのプレイリストに、トラックを追加します。(→ P94)
トラックの消去	オリジナルグループとユーザーグループのトラックを消去します。(→ P94)
トラックの再生順変更	ユーザーグループのトラックの再生順を変更します。(→ P94)
トラックの編集	オリジナルグループのトラックを編集します。(→ P95)

- ✎ 選択したグループやプレイリストによって編集できる内容(表示される内容)は異なります。
- グループの詳細情報表示画面(→ P89)から**プレイリスト編集**にタッチして編集することもできます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

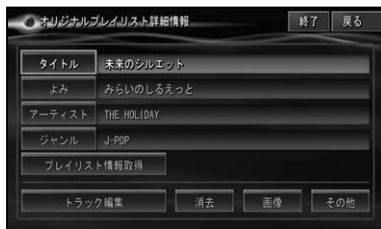
付録

プレイリスト詳細情報画面を表示する

プレイリストの詳細情報を表示します。
この画面からタイトルやよみなどの編集ができます。

1 プレイリスト編集項目(→ P91)で**詳細情報/編集**にタッチする

2 詳細情報を確認する



タイトル、よみ	プレイリストのタイトルとよみを変更できます。(→ P92)
アーティスト	プレイリストのアーティスト名を変更できます。(→ P92)
ジャンル	プレイリストのジャンル分類を変更できます。(→ P93)
プレイリスト情報取得	タイトル情報を取得できます。(→ P97)
トラック編集	オリジナルプレイリストのトラック情報が変更できません。(→ P95)
消去	プレイリストを消去できます。(→ P89)
画像	プレイリストにオリジナル画像を設定できます。
その他	プレイリストの「再生時間」や「曲数」などの詳細情報が表示されます。

- 各項目の編集後は、プレイリスト詳細画面に戻ります。終了するときは、**終了**にタッチします。
- よみ**以外の文字入力を必要とする編集項目において、以下の場合は、**入力終了**にタッチしても編集結果は反映されません。
 - 何も入力していない場合
 - 半角/全角のスペースのみ入力した場合

プレイリストのタイトルやよみを変更する

プレイリストのタイトルとよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

1 プレイリスト詳細情報画面で**タイトル**または**よみ**にタッチする

2 文字を入力(→『ナビゲーションブック』)し、**入力終了**にタッチする

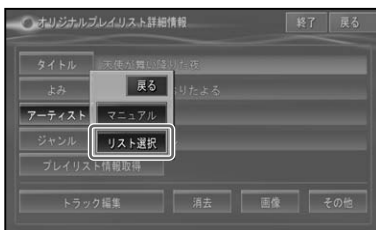
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストのアーティスト名を変更する

オリジナルグループまたはユーザーグループ内のプレイリストのアーティスト名を変更します。

1 プレイリスト詳細情報画面で**アーティスト**にタッチする

2 **リスト選択**にタッチする



- マニュアル**にタッチすると文字入力画面になり、文字が入力できます。

3 変更するアーティストにタッチする

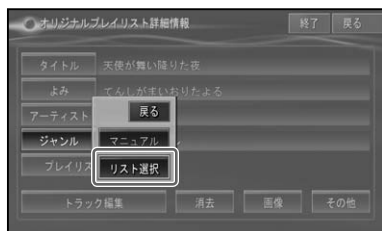


プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストのジャンル分類を変更する

1 プレイリスト詳細情報画面(→P92)でジャンルにタッチする

2 リスト選択にタッチする



- **マニュアル** にタッチすると文字入力画面になり、文字が入力できます。

3 変更するジャンルにタッチする



プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

プレイリストに画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、AVソース画面に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。あらかじめ収録されている18枚の画像から設定できます。

- パソコンから転送したプレイリストの画像は、BeatJamを使って付加することができます。
- パソコンリンクソフト「NAVI*STUDIO」を使用すると、プレイリスト用画像を最適サイズに加工して転送することができます。

1 プレイリスト詳細情報画面(→P92)で画像にタッチする

2 お好みの画像を選んで、画像名にタッチする



選んだ画像が設定されます。

ユーザープレイリストにトラックを追加する

ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。

1 プレイリスト編集項目（→P91）で**トラックの追加**にタッチする

以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」（P85）の手順**5**以降と同様です。

プレイリストからトラックを消去する

オリジナルグループ、ユーザーグループのプレイリスト内のトラックを消去します。消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルグループのトラック	ユーザーが録音した曲のデータが消去されます。
ユーザーグループのトラック	ユーザーが作成した曲順データが消去されます。

- オリジナルプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがユーザーグループおよびカスタマイズグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- パソコンから転送したデータや、ジャンルグループ、アルバムグループ、アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

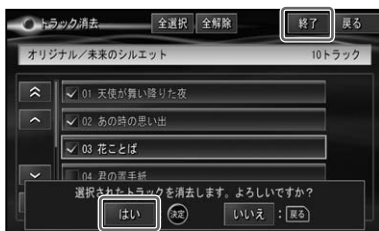
1 プレイリスト編集項目（→P91）で**トラックの消去**にタッチする

2 消去したいトラックにタッチする



選んだトラックには「✓」チェックマークが付きます。引き続き選ぶことができます。

3 **終了**—**はい**にタッチする

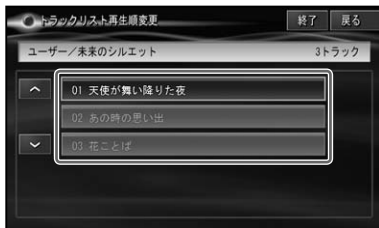


ユーザープレイリストのトラック再生順を変更する

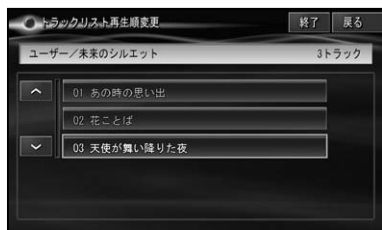
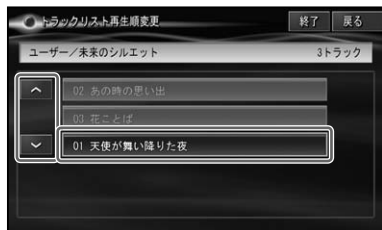
ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

1 プレイリスト編集項目（→P91）で**トラックの再生順変更**にタッチする

2 順番を変更したいトラックにタッチする



3 ▲/▼にタッチして移動先を決め、もう一度トラックにタッチする



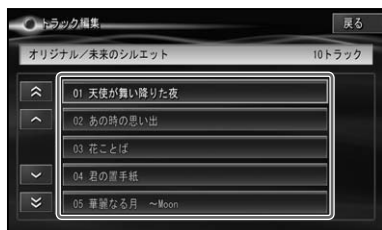
4 編集を終了する場合は**終了**にタッチする

トラックを編集する

オリジナルプレイリストのトラックの詳細情報を編集します。プレイリストのトラックの内容を編集すると、ユーザープレイリストのトラックの内容も変更されます。

1 プレイリスト編集項目(→P91)で**トラックの編集**にタッチする

2 編集するトラックにタッチする

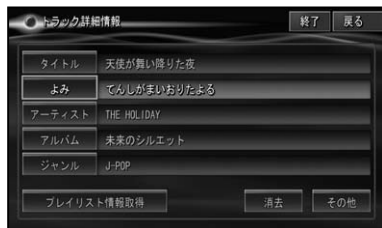


トラック詳細情報画面が表示されます。

- プレイリスト詳細情報画面(→P92)から**トラック編集**にタッチして、この画面を表示することもできます。

3 編集したい項目にタッチする

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(→P91)とほぼ同様ですので、参照してください。



タイトル、よみ	トラックのタイトルとよみが変更できます。(→P92)
アーティスト	トラックのアーティスト名が変更できます。(→P92)
アルバム	アルバム名が変更できます。(→P96)
ジャンル	トラックのジャンルが変更できます。(→P93)
プレイリスト情報取得	タイトル情報を取得できます。(→P97)
消去	編集中のトラックを消去できます。(→P94)
その他	トラックの「再生時間」、「録音/登録日時」、「録音ビットレート」などの詳細情報が表示されます。高音質モードで録音したトラックは、「CD Quality」と表示されます。

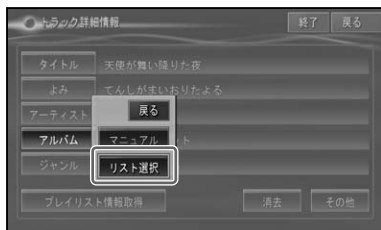
- **よみ**以外の文字入力が必要とする編集項目において、以下の場合は、**入力終了**にタッチしても編集結果は反映されません。
 - 何も入力していない場合
 - 半角/全角のスペースのみ入力した場合

トラックのアルバム名を変更する

オリジナルグループ内のトラックのアルバム名を変更します。

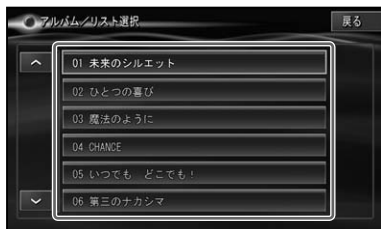
1 トラック詳細情報画面(→P95)で**アルバム**にタッチする

2 **リスト選択**にタッチする



- **マニュアル**にタッチすると文字入力画面になり、文字が入力できます。文字の入力方法は『ナビゲーションブック』をご覧ください。

3 **変更するアルバム**にタッチする



▼
トラック詳細情報画面に戻ります。

タイトル情報を取得する

本機内蔵の Gracenote 音楽認識サービス (CDDB) にタイトル情報が見つからなかったときは、通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CD やミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CD または曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストのよみ
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのアーティストのよみ
- トラックのジャンル

- タイトル情報は、まずハードディスクから探します。見つからなかった場合は、通信機能を使って専用サーバーから探すこともできます。(→ P98)
- 専用サーバーから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機が専用サーバーに接続できる環境になっている必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』—「通信接続設定」をご覧ください。

No Title 表示について

CD やミュージックサーバーの再生画面に「No Title」と表示されたときは、次のことが考えられます。

- タイトル情報が見つからなかった
- タイトル情報が複数候補あった

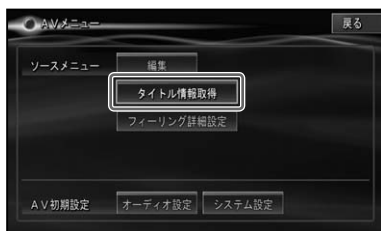
タイトル情報が複数候補あった場合は、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

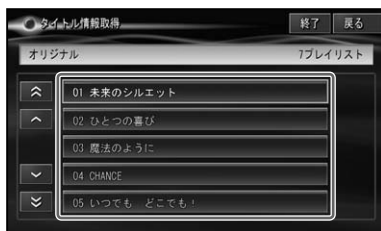
タイトル情報の取得は、まず本機の Gracenote 音楽認識サービス (CDDB) から検索され、該当する情報がなかった場合は、専用サーバーの Gracenote 音楽認識サービス (CDDB) から検索します。

- 対象となるのは、本機で CD から録音した楽曲データのみです。
- プレイリスト詳細情報画面 (→ P92) やトラック詳細情報画面 (→ P95) の **プレイリスト情報取得** にタッチして情報を取得することもできます。

1 メニューを押してタイトル情報取得にタッチする



2 情報を取得するプレイリストにタッチする



自動的に情報の探索が開始されます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

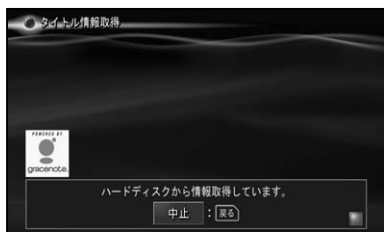
ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

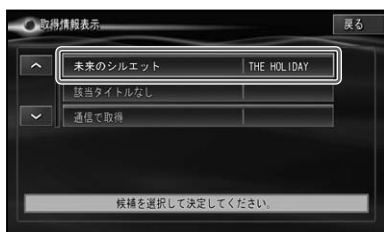
その他の機能

付録



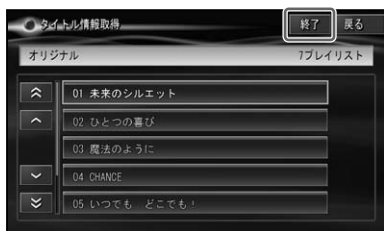
- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

3 タイトルにタッチする



- タイトル候補は、最大5タイトルを表示できます。

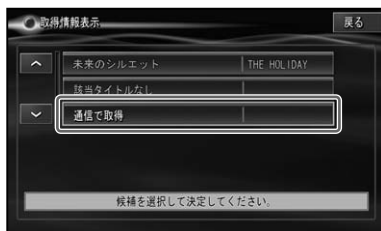
4 終了にタッチする



通信でタイトル情報を取得する

本機内蔵のハードディスクからタイトル情報を取得できなかった場合は、通信機能を使って、専用サーバーからタイトル情報を取得することができます。

1 P98 手順 3 で通信で取得にタッチする



専用サーバーへ接続し、検索が開始されます。

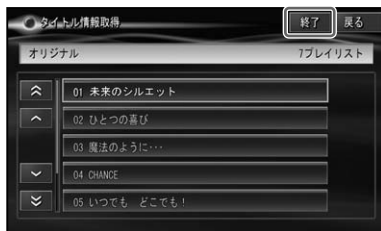


- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバーの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

2 タイトルにタッチする



3 終了にタッチする



ビデオサーバー

パソコンから動画データを転送する.....	100
動画データを転送するには.....	100
録音領域について.....	100
動画転送の制限について.....	100
ビデオサーバーの見かた.....	101
ジャンル、サブジャンル、タイトルについて.....	101
再生する.....	101
操作タッチキーの表示のしかた.....	101
CM スキップ/バック.....	102
コマ送り再生.....	103
スロー再生.....	103
リピート再生.....	103
ランダム再生.....	104
リストから選んで再生する.....	104
リスト表示を切り換える.....	105
タイムバーサーチ再生.....	105
字幕言語の切り換え.....	105
音声言語の切り換え.....	106
初期設定をする.....	106
映像出力設定.....	107
テレビアスペクト.....	107

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

パソコンから動画データを転送する

パソコンに保存してある動画データをナビゲーション（ビデオサーバー）へ転送することができます。

動画データを転送するには

動画データを転送するには、付属のパソコンソフト「BeatJam 2010 for carrozzeria with Video Converter」（以降、BeatJam (Video)）をパソコンにインストールし、リビングキットをパソコンに接続、ブレインユニットをセットして転送します。



- BeatJam (Video) のインストール方法やリビングキットの接続方法については、『リビングキット & NAVI*STUDIO カンタン接続・セットアップガイド』をご覧ください。
- BeatJam (Video) の使いかたや転送可能な動画データの種類（コーデック）などについては、BeatJam (Video) のヘルプをご覧ください。
- BeatJam (Video) で対応していない動画ファイルは、弊社推奨の変換ソフト「TMPGEnc MovieStyle for carrozzeria」（有料）などをお使いください。
- BeatJam (Video) 以外のソフトで転送すると、再生できません。

注意

- 転送中は、パソコンの電源を切ったり USB ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスク内のデータが壊れる可能性があります。

録音領域について


本機では、ハードディスク内の録音領域を「CD 録音コンテンツ領域」と「PC 転送コンテンツ領域」に分けて使用しています。PC 転送コンテンツ領域を増やすには、両方の領域に録音済みデータを全て消去する必要があります（変更時に消去されます）。あらかじめ使用用途に応じて使用領域を設定しておくことをおすすめします。→「CD 録音/PC 転送使用領域設定」（P149）

動画転送の制限について

動画データ転送の制限（最大数）は、以下のとおりです。制限を超えて転送することはできません。

ジャンル数	99
サブジャンル数	999
タイトル数	999
1 ジャンル当たりのサブジャンル数	99
1 サブジャンル当たりのタイトル数	99

ランダム	ランダム再生します。 (→ P104)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。
◀ / ▶	早戻し / 早送りをを行います。
◀ / ▶ (タッチし続ける)	キーから指を離しても早戻し / 早送りが行われたままになります。もう一度タッチすると通常再生に戻ります。
タイムバー	タッチした位置より再生します。(タイムバーサーチ再生) (→ P105)

 **・ビュー** にタッチすると、操作タッチキーは消えます。もう一度表示したいときは、画面にタッチします。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早送り / 早戻しします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMスキップまたはCMバックにタッチする

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P105)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声) (→ P106)
<< 前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。



▼
タッチするごとに、以下のような秒数で早送り / 早戻しが行われます。

CMスキップ (早送り)	「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」 → 「2分」 → 「3分」 → 「5分」 → 「10分」 → 「0秒」 → 30秒に戻る
CMバック (早戻し)	「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」 → 「1分」 → 「2分」 → 「3分」 → 「0秒」 → 5秒に戻る

本体のボタン操作：

◀ / ▶	タイトルのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	サブジャンルのアップ / ダウンを行います。

□ オートリーコマンダー & セレクター操作：

▲ / ▼	サブジャンルのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶	タイトルのアップ / ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	早戻し / 早送りをを行います。
◀ / ▶ (押し続ける)	キーから指を離しても、早戻し / 早送りが行われたままになります。もう一度押しすと通常再生に戻ります。


コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めてみるができます。

1 にタッチする



タッチすること、映像が1コマずつ送られます。

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- データによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。


スロー再生

再生スピードを遅くしてみることができます。

1 に長くタッチする



送り方向にスロー再生されます。

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- データによっては、スロー再生時に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

リピート再生

指定した範囲で繰り返して再生します。

1 にタッチする



タッチすること、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

GENRE REPEAT → TITLE REPEAT
→ SUB GENRE REPEAT → GENRE REPEAT に戻る

GENRE REPEAT	再生中のジャンルを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。
SUB GENRE REPEAT	再生中のサブジャンルを繰り返します。

- 選んだリピート範囲はAVソースプレーンに表示されますが、通常再生であるGENRE REPEATは、表示されません。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作（TITLE REPEAT中のタイトルの切り換えなど）を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオパー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

ランダム再生

選んだりPEATの範囲内で、トラック順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

- ランダム再生中にリピート再生などを行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

リストから選んで再生する

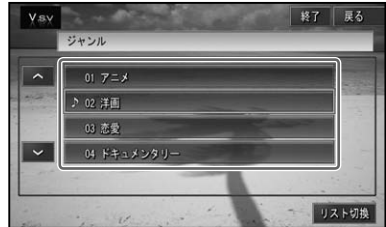
リストを表示して、ジャンルやトラックを直接選んで再生することができます。ここでは、ジャンルリストを表示してタイトルを選ぶまでを説明します。

- リスト画面は約20秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**リスト**にタッチします。
- リスト画面で**↑** (リターン) にタッチすると、リストの階層を上げていくことができます。
- リスト切替** にタッチすると、リスト表示を3段と5段で切り換えて表示します。(→P105)
- 終了** にタッチすると、最後に選んだファイルの先頭に戻って再生を開始します。

1 リストに長くタッチする



2 ジャンルにタッチする

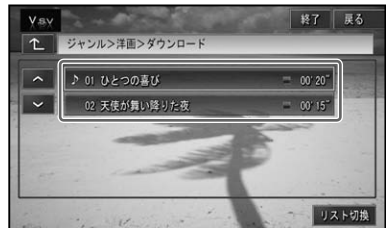


3 サブジャンルにタッチする



- ▶** (音声再生) にタッチすると、カーソルのあるサブジャンルタイトル (映像) を再生することができます。

4 タイトルにタッチする

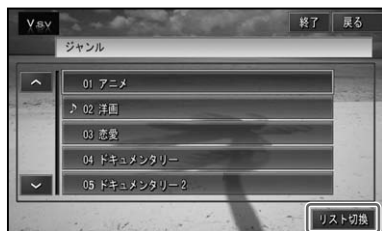


選んだタイトルが再生されます。

リスト表示を切り換える

リスト表示を切り換えます。

1 リスト切換にタッチする

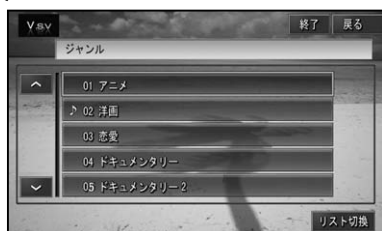


タッチするごとに、表示が3段表示 ←→ 5段表示で切り換わります。

3段



5段



タイムバーサーチ再生

操作タッチキーに表示されるタイムバー（0秒～999分59秒）から、位置（時刻）を指定して再生することができます。

1 タイムバーにタッチする



タイムバー

タッチした位置(時刻)から再生されます。

- タイムバーのカーソルを指でスライドして再生位置を指定することもできます。

字幕言語の切り換え

字幕言語が複数収録されているデータの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます。（マルチ字幕）

1 字幕切換にタッチする



タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

音声言語の切り換え

音声言語が複数収録されているデータの場合、再生中に音声言語を切り換えることができます。(マルチ音声)

1 音声切換にタッチする



▼
タッチすることにより、音声切り換わります。

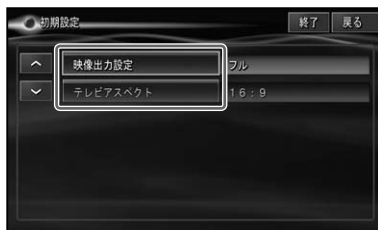
初期設定をする

VSVの再生条件をあらかじめ使用する環境に合わせて設定しておきます。

1 [メニュー] を押しして初期設定にタッチする



2 各項目にタッチして設定を行う



各項目の設定内容は、右側に表示されます。



• 初期設定メニューを操作中は、ビデオサーバーの再生が一時的に停止します。初期設定を終了すると、再生が再開されます。

映像出力設定

VSV の映像出力の画面サイズを設定します。
工場出荷時は「フル」です。

1 映像出力設定にタッチする

2 フル または アスペクト比固定にタッチする



フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比はそのまま、長辺を画面に合わせて表示します。 アスペクト比固定 を選んだ場合は、ワイドモードの設定 (→ P144) を「FULL」に設定してください。

テレビアスペクト

接続したテレビのアスペクト (画面の縦横比) を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9	ワイドモニター (16:9) 使用時に選びます。16:9 で収録された画像が 16:9 で表示されます。
レターボックス	ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9 で収録された画像の横幅を 4:3 モニターの横幅に合わせて 16:9 の比率で表示します。
パンスキャン	ノーマルモニター (4:3) 使用時に選びます。16:9 で収録された画像の縦幅を 4:3 モニターの縦幅に合わせて 16:9 の比率で表示します。(左右にはみ出た映像は表示されません。)

- 通常は 16:9 に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

その他の機器

iPod の操作のしかた.....	110
再生する.....	110
聴きたい曲を探す.....	111
見たい映像を探す.....	112
リピート再生.....	112
シャッフル再生.....	113
ワイドスクリーン設定.....	113
コントロールモード設定.....	113
BT AUDIO の操作のしかた	114
再生する.....	114
リピート再生.....	115
ランダム再生.....	115
BT AUDIO 機器を接続する.....	116
BT AUDIO 機器を切り換える.....	116
マルチ CD の操作のしかた.....	117
再生する.....	117
再生画面について.....	117
リピート再生.....	118
ランダム再生.....	118
スキャン再生.....	119
エクスターナルユニットの操作のしかた ...	120
基本操作.....	120
ファンクションキーの操作.....	120
ビデオなどを見る	121
ビデオなどの見かた.....	121
外部機器 (AUX) の音声を聞く.....	122

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付
録

iPod の操作のしかた

本機に接続した iPod を操作することができます。

- 本機に iPod を接続するには、別売の iPod 用接続ケーブル「CD-I021」または「CD-I020」が必要です。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応した iPod が必要となります。
- ビデオ機能を正しく利用するために、iPod 接続後は製品と iPod の間で認証を行います。認証に失敗すると、ビデオ対応 iPod でもビデオ機能を利用できなくなります。(このとき、認証失敗を示すメッセージが表示されます。) また、ビデオ機能に対応していない iPod を接続した場合でも認証を行います。
- iPod 利用中に iPod が STOP 状態となることがあります。(映像再生中に iPod を一度外して再度接続した場合など) STOP 状態になっても iPod の機能を再び利用することは可能ですが、動作の一部に制限があります。
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちの iPod ソフトを最新バージョンにしてください。
- コントロールモード (iPod) の VIDEO 再生に対応した機種で、コントロールモード (iPod) の Video 再生するためには、iPod 本体側の TV 出力を ON にしないと映像がナビ画面より出力されません。
- 対応 iPod については、カロツツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

再生する

1 AV ソースを iPod にする(→ P14)

前回再生していた曲または映像から再生されます。

例：曲の再生中



MENU	前回表示していたリストを表示します。(→P111)
MENU (映像表示中： 長くタッチする)	ビデオ対応 iPod 接続中は、トップリストを表示します。ビデオ非対応 iPod 接続中は、カテゴリリストを表示します。

▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。 (→P112)
シャッフル	シャッフル再生します。 (→P113)
◀▶	早戻し/早送りを行います。
◀▶ (映像表示中： タッチし続ける)	指を離しても早戻し/早送りのままになります。止める場合は反対方向にタッチするか、 ▶ にタッチします。

本体のボタン操作：

◀▶	チャプターまたはソング/ファイルのアップ/ダウンを行います。
◀▶ (長く押す)	早戻し/早送りを行います。

ロータリーコマンドー&セレクト操作：

◀▶	チャプターまたはソング/ファイルのアップ/ダウンを行います。
◀▶ (長く押す)	早戻し/早送りを行います。



- 映像を再生中は、画面にタッチして操作タッチキーを表示します。

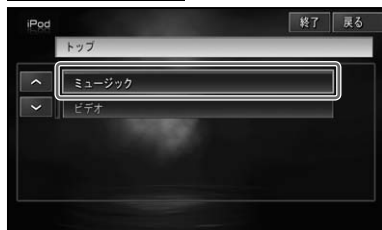
聴きたい曲を探す

1 MENU に長くタッチする



- ビデオ機能に非対応の iPod を接続中は、カテゴリーリストを表示します。手順 **3** に進んでください。
- 手順 **2** で以降で表示されるトップリストは約 20 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、**MENU** にタッチすると、リスト画面が消える直前のリストを再表示します。

2 ミュージック にタッチする



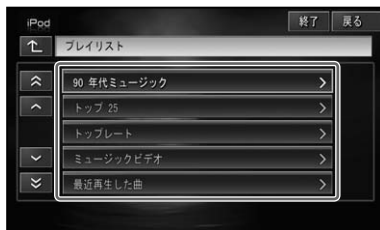
▼
カテゴリーリストが表示されます。

3 カテゴリーにタッチする



- ↑ (リターン) にタッチすると、トップリストを表示します。

4 曲を絞り込む



5 聴きたい曲にタッチする



- ↑ (リターン) にタッチすると、カテゴリーリストに戻ります。
- ポッドキャスト** や **オーディオブック** は、対応した iPod を接続したときに表示され、操作することができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
ユーザーインターフェース

ビデオ
サーバー

その他の機能
デバイス

オーディオ
システム設定

その他の機能

付録

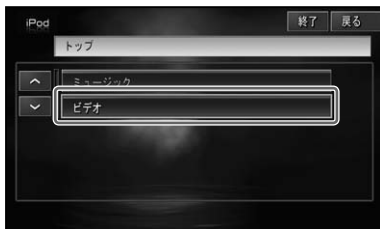
見たい映像を探す

1 MENU に長くタッチする



- すでに iPod ビデオを再生していた場合は、短くタッチするとビデオのトップリストが表示される場合があります。その場合は、手順 3 に進みます。
- 手順 2 以降で表示されるリスト画面は約 20 秒で消えます。もう一度リスト画面を表示したいときは、MENU にタッチすると、リスト画面が消える直前のリストを再表示します。

2 ビデオ にタッチする



▼
カテゴリーリストが表示されます。

3 カテゴリーにタッチする



4 映像を絞り込む



5 見たい映像にタッチする



- ↑ (リターン) にタッチすると、カテゴリーリストに戻ります。
- 終了 にタッチすると、最後に選んだ映像の先頭に戻って再生を開始します。ただし映像によっては先頭から再生されない場合があります。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピート にタッチする



▼
タッチするごとに、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ALL ↔ REPEAT ONE

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 シャッフルにタッチする



タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

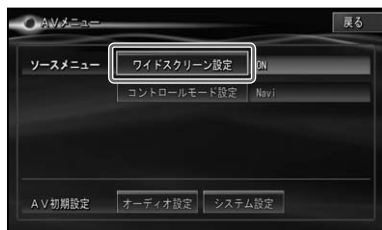
SHUFFLE SONGS → SHUFFLE
ALBUMS → SHUFFLE OFF →
SHUFFLE SONGS に戻る

- シャッフル設定を有効にしていると、ビデオ機能が正しく動作しないことがあります。

ワイドスクリーン設定

iPod のビデオデータ再生時に、ワイドスクリーンで表示するかどうかを設定します。

1 **メニュー** を押してワイドスクリーン設定にタッチする



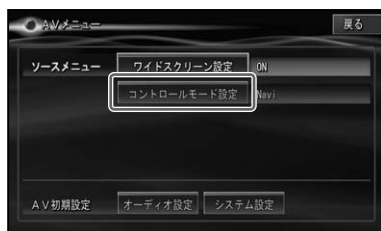
タッチすることにより、ワイドスクリーン設定の ON/OFF が切り換わります。

- 接続された iPod の機種によっては、ワイドスクリーン設定が行えない場合があります。

コントロールモード設定

iPod の操作を本機から行うか、iPod 本体で行うかを設定することができます。

1 **メニュー** を押してコントロールモード設定にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

Navi ↔ iPod

Navi	本機から iPod を操作することができます。
iPod	iPod 本体から操作することができます。

- コントロールモードの設定を「iPod」にすると、**MENU**、**リピート**、**シャッフル** は選べません。また、接続された iPod の機種によっては、その他の機能も動作しない場合があります。
- コントロールモードの設定を「iPod」にすると、ワイドスクリーン設定 (→ P113) は OFF になり、設定することができません。
- 接続された iPod の機種が第 5 世代の場合、iPod から Navi に切り換えると、リピート範囲は「REPEAT ALL」、シャッフル範囲は「SHUFFLE OFF」になります。
- コントロールモードの設定を「iPod」にして、ビデオを再生しても映像が出力されない場合は、iPod 本体の出力設定をご確認して頂くか、iPod を再接続してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

BT AUDIO の操作のしかた

別売の Bluetooth ユニット「ND-BT10」を接続すると、Bluetooth Audio 機器(以降、BT AUDIO 機器)を本機のAVソースとして使用することができます。

本機は、以下の AV プロファイルに対応しています。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

音楽をワイヤレスで伝送するためのプロファイル。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイル。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	情報表示
A2DP	○	×	×
A2DP+AVRCP	○	△※ ¹	△※ ¹

○：対応 △：一部対応 ×：非対応

※¹ BT AUDIO 機器によっては、一部機能の操作や情報表示ができない場合があります。

- 上記表で「○」になっていても、ご使用の BT AUDIO 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。
- BT AUDIO 使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的に BT AUDIO の機能が停止したり、音切れや AV プロファイルが切断される場合があります。AV プロファイルが切断された場合は、「BT AUDIO 機器を接続する」(→ P116) の操作を行ってください。
- お使いになる携帯電話によっては、BT AUDIO を使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったん BT AUDIO を OFF (→ P14) にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

再生する

1 AV ソースを BT AUDIO にする (→ P14)

2 BT AUDIO 機器を操作して本機に接続する (→ BT AUDIO 機器の取扱説明書)

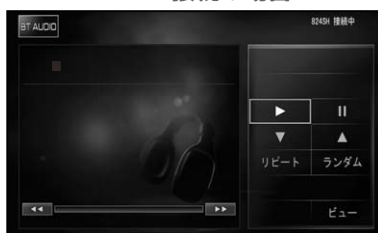
- BT AUDIO 機器によっては、2回目以降は自動接続される場合があります。

3 ▶ にタッチするか、BT AUDIO 機器を操作して再生を開始する

- BT AUDIO 機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器側で再生を開始させてください。

再生が開始され、音声が出力されます。

A2DP + AVRCP 接続の場合



▲ ▼	グループをアップ/ダウンします。
▶	再生します。
⏸	再生を一時停止します。
リピート	リピート再生を行います。(→ P115)
ランダム	ランダム再生を行います。(→ P115)
◀▶	早戻し/早送りを行います。

本体のボタン操作：

◀ / ▶	トラックのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	グループのアップ／ダウンを行います。

ロータリーコマンド&セレクター操作：

▲ / ▼	グループのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶	トラックのアップ／ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	早戻し／早送りをを行います。

- A2DP+AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や、異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP で接続した場合は、トラック番号、トラック名、アーティスト名、アルバム名、再生時間 / 全体時間 / 再生状態、バッテリー状態、リピート / ランダム状態が表示される場合があります。
- A2DP+AVRCP で接続した場合は、電池の残量アイコンまたは充電中アイコンが表示される場合があります。
- BT AUDIO 機器によっては、早送り / 早戻し中に音が出る場合と出ない場合があります。
- 再生時間、トラック番号は、接続した機器のものと異なる場合があります。
- グループのアップ / ダウン操作は、接続した機器のものと異なる場合があります。
- 接続した機器によっては、本機画面上で再生中であっても、音が出ない場合があります。接続した機器の製造元にお問い合わせください。

リピート再生

A2DP+AVRCP で接続した場合は、指定した範囲を繰り返し再生することができる場合があります。

1 リピートにタッチする

タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT OFF → TRACK REPEAT →
GROUP REPEAT → ALL REPEAT →
REPEAT OFF に戻る

REPEAT OFF	通常の再生状態です。
TRACK REPEAT	再生中のトラック (曲) を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート範囲が変更される場合があります。
- 通常再生である REPEAT OFF は、画面には表示されません。

ランダム再生

A2DP+AVRCP で接続した場合は、選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができる場合があります。

1 ランダムにタッチする

タッチすることにより、ランダムの範囲が以下のように切り換わります。

RANDOM OFF → GROUP RANDOM
→ ALL RANDOM → RANDOM OFF
に戻る

RANDOM OFF	ランダム再生しません。
GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 通常再生である RANDOM OFF は、画面には表示されません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オーディオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

BT AUDIO 機器を接続する

本機に登録済みの BT AUDIO 機器を AV プロファイルで接続します。

- BT AUDIO 機器を接続するには、あらかじめ本機に接続する BT AUDIO 機器を登録しておく必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』-「Bluetooth 設定」をご覧ください。
- BT AUDIO 機器が別のプロファイルで接続中は、ナビから接続できない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。
- はじめて本機と接続する BT AUDIO 機器の場合は、BT AUDIO 機器側より接続してください。2回目以降の接続は、以下の手順で行うことができます。

1 AVソースを BT AUDIO に切り換える (→ P14)

2 **メニュー** を押し、**ナビから接続** にタッチする



- お使いの BT AUDIO 機器によっては、機器側での操作が必要になります。詳しくは、お使いの機器の説明書をご覧ください。

BT AUDIO 機器との接続が完了します。



- 接続が完了すると、画面に接続できた機器のデバイス名 / アドレス (AV メニュー表示中) および接続状態が表示されます。
- 接続中に **接続解除** にタッチすると、接続を解除することができます。再度接続する場合は、**ナビから接続** にタッチします。
- BT AUDIO 機器によっては、**ナビから接続** にタッチしても接続できない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器から接続してください。
- BT AUDIO 機器との接続に失敗した場合は、「BT AUDIO 機器から接続を開始してください」と表示されます。BT AUDIO 機器を操作し、AUDIO 接続してください。詳しくは BT AUDIO 機器の説明書をご覧ください。

BT AUDIO 機器を切り換える

1 P116 「BT AUDIO 機器を接続する」の手順 **2** で **接続解除** にタッチする



- BT AUDIO 機器を未接続の場合は、接続を解除する必要はありません。

2 「**接続状態**」が、**接続待機**になったら切り換えたい BT AUDIO 機器を接続させる (→ P116)

マルチ CD の操作のしかた

接続したマルチ CD プレーヤーを本機で操作することができます。

再生する

1 AV ソースを M-CD (マルチ CD) にする (→ P14)



ディスク番号

ディスク番号	タッチしたディスク番号の CD を再生します。
▲ ▼	ディスクのアップ/ダウンを行います。
▶	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生します。(→ P118)
ランダム	ランダム再生します。(→ P118)
スキャン	スキャン再生します。(→ P119)

本体のボタン操作：

◀ ▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
◀ ▶ (長く押し)	早戻し/早送りをを行います。

ロータリーコマンダー&セレクター操作：

▲ / ▼	ディスクのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶	トラックのアップ/ダウンを行います。
◀ / ▶ (長く押し)	早戻し/早送りをを行います。

- タッチ操作では、トラックの選択はできません。
- 再生を中止するには、AV ソースを OFF にします (→ P14)。

再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチ CD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中に AV ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、AV ソースプレートに「No Title」、「No Name」と表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピート範囲が以下のように切り換わります。

MAGAZINE REPEAT → TRACK REPEAT
→ DISC REPEAT → MAGAZINE REPEAT
に戻る

MAGAZINE REPEAT	マガジン内の全てのディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
DISC REPEAT	再生中のディスクを繰り返します。



- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート範囲は画面に表示されますが、通常再生である MAGAZINE REPEAT は、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生の ON/OFF が切り換わります。



- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を超える操作 (DISC REPEAT 中のディスクの切り換えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。

1 リピート範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

リピートの範囲を DISC REPEAT に指定します。

再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

- リピートの範囲が TRACK REPEAT の場合、スキャン再生を ON にすると、リピートの範囲は DISC REPEAT に切り換わります。

聴きたいディスクを探すとき

リピートの範囲を MAGAZINE REPEAT に指定します。

マガジン内の全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

2 スキャンにタッチする



タッチするごとに、スキャン再生の ON/OFF が切り換わります。

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生が OFF になり、選んだ曲が再生されます。

- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を超える操作(DISC REPEAT 中のディスクの切り換えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機能

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

エクスターナルユニットの操作のしかた

本機が AV ソースとして対応していない IP-BUS 機器（エクスターナルユニット）を最大 2 台までコントロールできます。

- 本機では、マルチ CD プレーヤー以外の IP-BUS 機器がエクスターナルユニットとして扱われます。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット（マルチ DVD プレーヤー「XDV-P70」など）を接続したときは、「システム設定」の「AV 入力設定」で VTR を「EXT」に設定する必要があります。（→ P144）

基本操作

1 AV ソースを EXT1 または EXT2 に切り換える（→ P14）

2 操作タッチキーにタッチする



- 各操作タッチキーの機能については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本体のボタンおよびリモコンのロータリーコマンド&セレクターでも ▲ / ▼ / ◀ / ▶ の操作が可能です。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り換わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチするか、リモコンの **決定** を押ししてください。

ファンクションキーの操作

AV メニューを表示すると、ファンクション、BAND/ESC、AUTO/MANU キーの操作を行うことができます。

1 **メニュー** を押す

2 操作タッチキーにタッチする



- 各操作タッチキーの機能については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオなどを見る

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

- ✎ ビデオなどの映像を見るためには、「システム設定」の「AV入力設定」でVTRを「ON」に設定する必要があります。(→ P144)

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

ビデオなどの見かた

1 AVソースをVTRにする (→ P14)

▼
ビデオなどの画面が表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機能

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

外部機器 (AUX) の音声を聞く

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。



- AVIC-VH9990 の場合、本体前面の 3.5mm ミニジャック端子 (AUX1) または本体の IP-BUS 入力端子 (AUX2) に外部音声を入力できます。
- AVIC-ZH9990 の場合、本体の IP-BUS 入力端子 (AUX) に外部音声を入力できます。
- 本機の IP-BUS 入力端子に、RCA 出力の外部機器を接続するには、別売の RCA インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」が必要です。
- 本機の IP-BUS 入力端子に外部機器を接続したときは、「システム設定」の「AV 入力設定」で AUX2 (IP-BUS) または AUX を「ON」に設定する必要があります。(→ P144)

1 AV ソースを AUX にする (→ P14)



外部機器の音声が出力されます。

オーディオ・システム設定

オーディオ設定のしかた	124	車に合わせて音場を自動で補正する (AUTO TA&EQ)	140
チャンネルモードを切り換える	124	AUTO TA&EQ を行う前に	140
設定項目について	124	スピーカー破損防止について	140
CUSTOM メモリーについて	125	AUTO TA&EQ 機能について	140
フェーダー / バランス	125	AUTO TA&EQ を行う前にお読みください	140
リスニングポジション	126	AUTO TA&EQ の調整内容について	141
グラフィックイコライザー	126	AUTO TA&EQ の設定方法	141
イコライザーを補正する	127	システム設定のしかた	143
SFC (サウンドフィールドコントロール)	128	AUTO TA&EQ	143
Dolby Pro Logic II	129	デジタルアッテネーター	143
Dolby Pro Logic II の MUSIC の詳細設定	129	録音設定	144
Neo: 6	130	消音設定	144
Neo: 6 の MUSIC の詳細設定	131	ワイドモード	144
サウンドレトリバー		AV 入力設定	144
(アドバンスド・サウンドレトリバー)	131	リアモニター出力設定	145
ソースレベルアジャスター	132	サブディスプレイ設定 (AVIC-VH9990)	146
ASL (オート・サウンド・レベライザー)	132	オートフラップ設定 (AVIC-VH9990)	147
デジタルダイレクト	133	ガイド / ハンズフリー SP 設定	147
ダイナミックレンジコントロール	133	オーディオ設定リセット	148
ダウン MIX	134	MSV プロープ情報を作成する	148
SW PLUS	134	DivX VOD コード	149
オートサウンドセッティング	135	CD 録音 / PC 転送使用領域設定	149
サウンドセッティング (詳細設定)	135		
セッティングパターンを切り換える	135		
詳細設定の項目について	135		
メモリーの種類について	136		
リスニングポジション	136		
グラフィックイコライザー	136		
タイムアライメント	136		
オートイコライザー	137		
スピーカー設定	137		
カットオフ	138		
スピーカー出力レベル	138		

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の
機器

オーディオ
システム設定

その他の
機能

付
録

オーディオ設定のしかた

本機では、スピーカーの数やお好みに合わせて、2チャンネルモードとマルチチャンネルモードの設定を行うことができます。

チャンネルモードを切り換える

本機は、お好みに応じて2チャンネルモードとマルチチャンネルモードを選ぶことができます。

2チャンネルモード：

フロントとリアそれぞれ同じ音（L/R 2ch）で鳴らすモードです。

マルチチャンネルモード：

フロント、リアそれぞれのスピーカーごとの音で鳴らすことができるモードです。DVDなどのマルチチャンネルの音源を臨場感豊かに再生することができます。

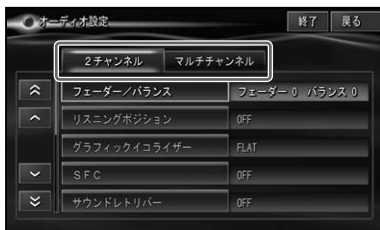
1 AVソース画面（→P14）で

メニューを押す

2 オーディオ設定にタッチする



3 2チャンネルまたはマルチチャンネルにタッチする



選んだモードに切り換わり、モードごとの設定画面が表示されます。



- オーディオ設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあつた場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定（→P144）がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- デジタルダイレクト（→P133）をONにすると、2チャンネルモードは選択できません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

設定項目について

2チャンネルモード、マルチチャンネルモード共通

- フェーダー/バランス（→P125）
- リスニングポジション（→P126）
- グラフィックイコライザー（→P126）
- SFC（→P128）
- ソースレベルアジャスター（→P132）
- ASL（→P132）
- デジタルダイレクト（→P133）
- ダイナミックレンジコントロール（→P133）
- ダウンMIX（→P134）
- オートサウンドセッティング（→P135）
- 詳細設定（→P135）

マルチチャンネルモード専用

- Dolby Pro Logic II（→P129）
- Neo:6（→P130）
- SW PLUS（→P134）

2チャンネルモード専用

- サウンドレトリバー（→P131）



- 2つのモード共通の設定項目でも、選んだモードによって設定内容が異なる場合があります。



CUSTOM メモリーについて

グラフィックイコライザー (→P126) や詳細設定 (→P135) の各設定画面で**メモリー**にタッチしたとき、またはグラフィックイコライザーの詳細設定 (→P127) で設定値を変更したあとに画面を終了したときに表示される「メモリー選択画面」で、設定値を「CUSTOM1」～「CUSTOM3」に登録しておくことが可能です。

1 登録するメモリー番号を選んでタッチする



選んだ CUSTOM 番号に登録されます。

- CUSTOM メモリーに登録しないで設定を終了した場合は、設定値を「LAST MEMORY」として保存します。

フェーダー / バランス

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

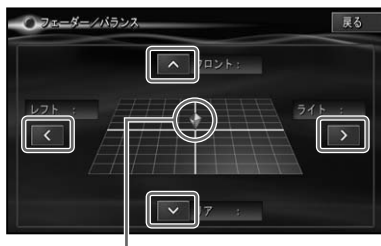
前後左右の音量バランスを調整することができます。

- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、フェーダー / バランスは選択できません。

1 フェーダー / バランス にタッチする



2 ▲、▼、◀、▶ にタッチして前後左右のバランスを調整する



カーソルの位置で前後左右のバランスを確認できます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

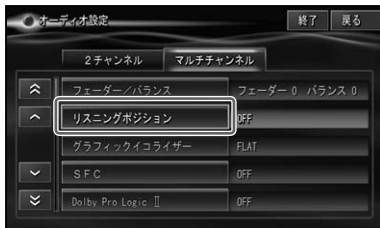
リスニングポジション

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

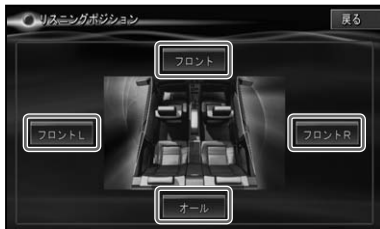
乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。
工場出荷時は「OFF」です。

- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、リスニングポジションは選択できません。
- 詳細設定 (→P135) のリスニングポジションと同じ設定になります。

1 リスニングポジションにタッチする



2 お好みのポジションにタッチする



フロントR	右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
フロントL	左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心とした設定です。
フロント	同乗者が助手席にいるときの設定です。
オール	同乗者が後部座席にいるときの設定です。

- 選択したキーにもう一度タッチすると「OFF」になります。

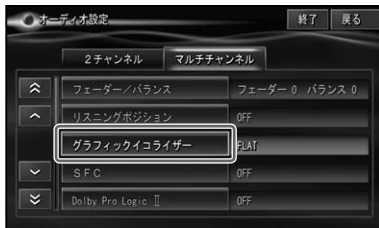
グラフィックイコライザー

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調整した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
工場出荷時は「FLAT」です。

- 設定した調整値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。
- 詳細設定 (→P135) のグラフィックイコライザーと同じ設定になります。
- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、グラフィックイコライザーは選択できません。

1 グラフィックイコライザーにタッチする



2 お好みの設定にタッチする



▼
タッチするごとに、イコライザーカーブが切り換わります。

ファクトリーカーブ	POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
	VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときに、ご使用ください。
	SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
CUSTOM1、CUSTOM2、CUSTOM3	CUSTOM メモリー (→ P125) に登録した調整値を呼び出します。	
メモリー	CUSTOM メモリー選択画面 (→ P125) に切り換わります。	
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。マルチチャンネルモード選択時は、出力するスピーカーごとに補正することができます。	
LAST MEMORY	CUSTOM メモリーに登録せずに終了した時点の調整値を呼び出します。	

- **詳細設定** にタッチすると CUSTOM 用のグラフィックイコライザーカーブ詳細設定 (→ P127) に切り換わります。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かく補正することができます。マルチチャンネルモード選択時は、出力するスピーカーごとに補正することができます。補正した値は、CUSTOM1～3に登録することができます。CUSTOMメモリーに登録せずに終了した時点の調整値は、自動的にLAST MEMORYとして登録されます。

イコライザーの補正について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調整したあと、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調整すると、スムーズに行うことができます。

1 P126 手順 2 で補正したいファクトリーカーブを選び、**詳細設定** にタッチする

2 **スピーカー選択** にタッチして設定するスピーカーを選ぶ



タッチすることによりスピーカーが以下のように切り換わります。
オール → **フロント** → **リア** → **オール** に戻る

- 「スピーカー設定」(→ P137) でセンターを「OFF」以外に設定している場合は、**スピーカー選択** でセンターを選ぶことができます。
- 「オール」を選ぶと、すべてのスピーカーを同時に調整することができます。表示される設定値は、「フロント」と同じになりますが、各スピーカーの設定は現在の値を基準に相対的に調整されます。
- 2チャンネルモード選択時は、**スピーカー選択** は表示されません。手順 4 に進んでください。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

3 補正する周波数を選び、▲または▼にタッチしてレベルを補正する



50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHz から周波数を選べます。

- ± 0 を基準に ± 6 段階の範囲で調整できます。
- マルチチャンネルモード時で、「オール」を選んでいるときは、フロント以外のスピーカーが最大値 (± 6) に達している場合、それ以上調整することはできません。
- 交通情報を受信しているときは、調整できません。

4 戻るにタッチする

CUSTOM メモリーへの登録確認メッセージが表示されます。

5 はいにタッチする

CUSTOM メモリー選択画面が表示されます。以降の操作は「CUSTOM メモリーについて」(→P125) をご覧ください。

- **いいえ** を選んだ場合は、調整した値が LAST MEMORY として登録されます。P127 手順 2 で **LAST MEMORY-詳細設定** を選ぶことで、最後に調整した値を元に再調整が行えます。

SFC (サウンドフィールドコントロール)

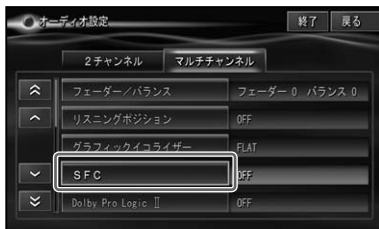
2チャンネルモード マルチチャンネルモード

車室内にリアルな音場を再現することができます。選択したチャンネルモードごとに、それぞれ3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

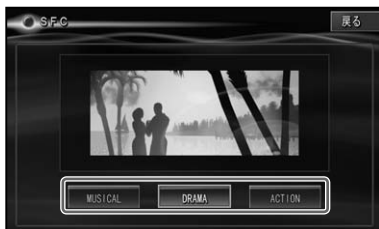
工場出荷時は「OFF」です。

- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、SFC は選択できません。

1 SFC にタッチする



2 設定したい音場を選んでタッチする



2チャンネルモード選択時：

JAZZ	ジャズクラブの音場を再現します。ライブ録音の音声に最適です。
HALL	コンサートホールの音場を再現します。残響音の響きが豊かなので、クラシック音楽などに最適です。
CLUB	クラブの音場を再現します。残響音の響きが少ないので、ビートの効いた音楽などに最適です。

マルチチャンネルモード選択時：

MUSICAL	音楽ソフトやミュージカル系の映画の再生に適しています。
----------------	-----------------------------

DRAMA リアスピーカーの音と一体になって、1つの大きなスピーカーのように響くイメージで幅広いサラウンド感を再現します。また、直接音もしっかりと響き、ストーリー重視の映画の再生に適しています。

ACTION 躍動感、スピード感に加え、爆発シーンの迫力を包み込むように再現します。アクションシーンの多い映画の再生に適しています。

- 選択したキーにもう一度タッチすると、「OFF」になります。
- 交通情報受信中は、一時的に「OFF」になります。

Dolby Pro Logic II

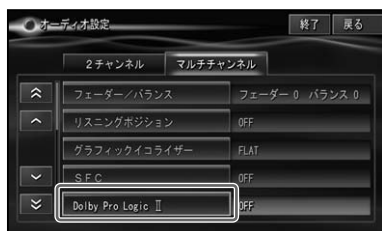
2チャンネルモード マルチチャンネルモード

Dolby Pro Logic IIとは、ドルビーラボラトリーズ社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声やドルビーサラウンドエンコードされたステレオ音声をマルチチャンネル化してサラウンド再生する技術です。

工場出荷時は「OFF」です。

- 交通情報受信中は、いったん強制的に「OFF」になります。
- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合(→P137)は操作できません。
- Neo:6との、同時設定はできません。
- 地上デジタルテレビのモノラル、2カ国語放送、ワンセグ放送、DVD-VR時には効果が得られません。

1 Dolby Pro Logic IIにタッチする



2 お好みの設定にタッチする



MOVIE 映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC 広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またパラメータを調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。

MATRIX 方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FMやテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。

MUSIC ADJUST Dolby Pro Logic II 詳細設定画面に切り換わりします。([MUSIC] 選択時のみ)

- 選択したキーにもう一度タッチすると、「OFF」になります。

Dolby Pro Logic IIのMUSICの詳細設定

Dolby Pro Logic IIのMUSICの詳細設定では、音楽の再生に適したサラウンド効果を得ることができます。

1 P129手順2でMUSICを選び、MUSIC ADJUSTにタッチする

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

2 お好みのモードを選び、それぞれを調整する



PANORAMA
ON / OFF

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。

DIMENSION
< / >

音場の位置をフロント側、リア側に、-3 ~ +3の間で調整します。**>**はフロント側(+)、**<**はリア(サラウンド)側(-)に音を移動します。

CENTER WIDTH
< / >

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーに、どのように振り分けるかを0 ~ 7の間で設定します。

>は7側に、**<**は0側に調整します。

推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0はセンタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。

Neo: 6

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

Neo: 6とはDTS社独自のマトリックスデコーダーで、CDなどのステレオ音声をマルチチャンネル化してサラウンド再生する技術です。

工場出荷時は「OFF」です。



- 交通情報受信中は、いったん強制的に「OFF」になります。
- センタースピーカーとリアスピーカーが「OFF」の場合(→P137)は操作できません。
- Dolby Pro Logic IIとの、同時設定はできません。
- 地上デジタルテレビのモノラル、2カ国語放送、ワンセグ放送、DVD-VR時には効果が得られません。

1 Neo: 6 にタッチする



2 お好みの設定にタッチする



CINEMA 映画やテレビドラマなどのステレオ音声をマルチチャンネル録音に迫る立体的な音で楽しめます。

MUSIC 広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。またCENTER IMAGE(センターイメージ)を調整することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。(→P131)

MUSIC Neo:6の詳細設定画面(→P131)
ADJUST に切り換わります。(**MUSIC** 選択時のみ)

- 選択したキーにもう一度タッチすると、「OFF」になります。

Neo: 6のMUSICの詳細設定

Neo:6のMUSICの詳細設定では、センター幅を調整することができます。センタースピーカーの音声をフロントの左右スピーカーに割り振ることで、左右での定位感を制御します。こうして、音色の不一致を緩和し、音楽再生により適した音場を作り出すことができます。

1 P130手順2で**MUSIC**を選び、**MUSIC ADJUST**にタッチする

2 ◀または▶にタッチして**CENTER IMAGE (センターイメージ)**を調整する



- 調整値は0～10です。0が最も左右スピーカー寄りになり、10が最もセンタースピーカー寄りになります。設定する値によって、音の割り振りが次のように変化します。

0: センターの音をフロントの左右スピーカーに振り分けて再生します。センタースピーカーからは音は出力されません。

5: センタースピーカーとフロントスピーカーで音をバランスよく配分します。

10: センタースピーカーだけで、センタースピーカーの音を再生します。フロントの左右スピーカーからは、センターの音の成分は出力されません。

サウンドレトリバー (アドバンスド・サウンドレトリバー)

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

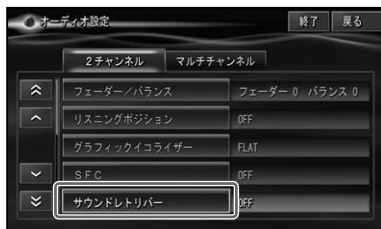
圧縮音楽の音質補正機能です。MSV、iPod、ROM (WMA/MP3/AAC)などに記録された圧縮音楽を再生するときには効果的です。

圧縮音楽は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまいます。

「アドバンスド・サウンドレトリバー」はデジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補間して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生することができます。工場出荷時は「OFF」です。

- デジタルダイレクト(→P133)をONにすると、サウンドレトリバーは選択できません。

1 サウンドレトリバーにタッチする



2 **MODE 1** または **MODE 2** にタッチする



MODE 1 圧縮率の低い圧縮音楽に適しています。

MODE 2 圧縮率の高い圧縮音楽に適しています。

- 選択したキーにもう一度タッチすると、「OFF」になります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

ソースレベルアジャスター

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

AV ソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FM の音量を基準にして各 AV ソースの音量の差をそろえることができます。

工場出荷時は「0dB」です。

- FM の音量を基準に他の AV ソースとの音量を調整するため、FM を聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AV ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX、マルチ CD
 - AM、交通情報
 - EXT1、EXT2
- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、ソースレベルアジャスターは選択できません。

1 ソースレベルアジャスターにタッチする



2 + または - にタッチする



- 14dB ~ +14dB の範囲で 2dB ごとに調整できます。

ASL (オート・サウンド・レベライザー)

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

ASL は、走行速度や道路状況によって変化する車室内の騒音をリアルタイムに解析します。音量と音質を自動補正し、快適な聴き心地を保ちます。

工場出荷時は「OFF」です。

- 音量が十分あるときは、騒音が大きくなって、音量の上がり幅は小さくなります。この機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整してください。
- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、ASL は選択できません。
- ASL に連動して案内音量・操作音量・受話音量・着信音量の音量も変化します。

1 ASL にタッチする



2 お好みの感度にタッチする



感度にタッチすると色が変わり、選択 (ON) されたことを示します。再度タッチすると選択が解除 (OFF) されます。設定できるレベルは、**LOW**、**MID LOW**、**MID**、**MID HIGH**、**HIGH** です。

デジタルダイレクト

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

調整した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聴くことができます。調整したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。

工場出荷時は「OFF」です。

1 デジタルダイレクトにタッチする



2 ON または OFF にタッチする



ON	デジタルダイレクト機能が働きます。
OFF	デジタルダイレクト機能が解除されます。

- 2チャンネルモード時に ON に設定すると、マルチチャンネルモードに移行します。移行後 OFF に設定すると、2チャンネルモードに戻ります。
- デジタルダイレクト ON 設定のままですと、地上デジタル放送のモノラル音声などにおいて、スピーカー出力が出なくなったり音量が小さくなったりします。通常使用時は、OFF にしてご使用ください。
- ON に設定すると、音量調整、Dolby ProLogic II、Neo:6 以外の設定はできません。

ダイナミックレンジコントロール

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞き取りやすくすることができます。工場出荷時は「OFF」です。

- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。
- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、ダイナミックレンジコントロールは選択できません。

1 ダイナミックレンジコントロールにタッチする



2 ON または OFF にタッチする



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

ダウン MIX

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

5.1ch 音源に収録されたサラウンド成分を左右のチャンネルに振り分ける方式を選びます。この設定は、フロントスピーカー2chのみまたはフロントスピーカー2ch + サブウーファー ON 時のみの環境に設定されているときのみ有効になります。工場出荷時は「Lo/Ro」です。

- 2チャンネルモードで5.1ch音源を再生すると、ダウンMIXは常に有効になります。
- デジタルダイレクト(→P133)をONにすると、ダウンMIXは選択できません。

1 ダウン MIX にタッチする



2 Lo/Ro または Lt/Rt にタッチする



Lo/Ro 左サラウンドと右サラウンドの成分をステレオのまま、それぞれ左と右のチャンネルに振り分け、一般的なステレオ相当で出力します。

Lt/Rt 左サラウンドと右サラウンドの成分をミキシングし、左と右のそれぞれのチャンネルに逆相にして振り分け、サラウンド互換で出力します。

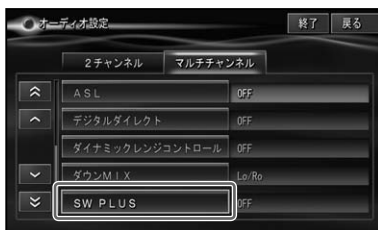
SW PLUS

2チャンネルモード マルチチャンネルモード

スピーカーにサブウーファーを設定した場合、フロントスピーカーの低音域を強制的にサブウーファーからも同時に出力するように設定できます。工場出荷時は「OFF」です。

- サブウーファーを「OFF」に設定している場合や、フロントおよびセンターのスピーカーを「SMALL」に設定している場合(→P137)は、操作できません。
- デジタルダイレクト(→P133)をONにすると、SW PLUSは選択できません。

1 SW PLUS にタッチする



2 ON または OFF にタッチする



オートサウンドセッティング

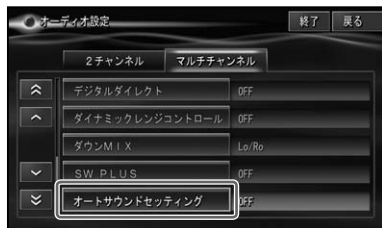
2チャンネルモード マルチチャンネルモード

AUTO TA & EQ(→P140)の測定結果を、有効にします。

工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA & EQ (→P140) を行っていない場合は、操作できません。
- デジタルダイレクト (→P133) を ON にすると、オートサウンドセッティングは選択できません。

1 オートサウンドセッティングにタッチする



2 ON または OFF にタッチする



サウンドセッティング (詳細設定)

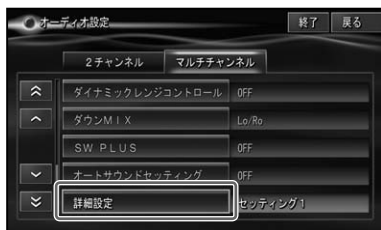
2チャンネルモード マルチチャンネルモード

3パターンを設定を登録することができます。

- デジタルダイレクト (→P133) またはオートサウンドセッティング (→P135) を ON にすると、詳細設定は選択できません。

セッティングパターンを切り換える

1 詳細設定にタッチする



2 セッティング1～セッティング3にタッチする



選んだセッティングパターンの設定項目画面が表示されます。

- 選んだセッティングパターン (1～3) は、AV ソースごとに登録できます。

詳細設定の項目について

詳細設定の項目は、以下のとおりです。

- リスニングポジション (→P136)
- グラフィックイコライザー (→P136)
- タイムアライメント (→P136)
- オートイコライザー (→P137)
- スピーカー設定 (→P137)
- カットオフ (→P138)
- スピーカー出力レベル (→P138)

メモリーの種類について

詳細設定の「スピーカー設定」、「カットオフ」、「スピーカー出力レベル」では、メモリーボタン（例：**CUSTOM1**）にタッチすると、メモリーの種類を切り換えることができます。

CUSTOM1 → **CUSTOM2** → **CUSTOM3** → **AUTO** → **LAST MEMORY** → **CUSTOM1** に戻る

CUSTOM 1 ~ CUSTOM 3	CUSTOM メモリー (→ P125) に登録した調整値に切り換えます。
AUTO	AUTO TA&EQ で測定した結果の補正値に切り換えます。
LAST MEMORY	CUSTOM メモリーに登録せずに終了した時点の調整値に切り換えます。

- **AUTO** は、AUTO TA&EQ を行ってないと切り換わりません。
- **LAST MEMORY** は、設定中の値を CUSTOM1 ~ 3 のいずれかに登録していないときのみ切り換わります。
- 画面によっては、それぞれのメモリーボタンが用意されています。

リスニングポジション

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。工場出荷時は「OFF」です。

1 詳細設定 - リスニングポジションにタッチする

2 お好みのポジションにタッチする



フロントR 右ハンドル車の運転席、または左ハンドル車の助手席を中心とした音場の設定になります。

フロントL	左ハンドル車の運転席、または右ハンドル車の助手席を中心とした音場の設定になります。
フロント	同乗者が助手席にいるときに切り換えます。
オール	同乗者が後部座席にいるときに切り換えます。

- 選択したキーにもう一度タッチすると「OFF」になります。

グラフィックイコライザー

操作方法や設定内容などは、「グラフィックイコライザー」(→ P126) と同様です。

タイムアライメント

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整する機能です。工場出荷時は「INITIAL」です。

1 詳細設定 - タイムアライメントにタッチする

2 お好みの設定にタッチする



INITIAL	初期設定値で補正します。 OFF ↔ INITIAL
CUSTOM 1 、 CUSTOM 2 、 CUSTOM 3	CUSTOM メモリー (→ P125) に登録した調整値を呼び出します。
AUTO TA	AUTO TA&EQ (→ P140) で測定した結果の補正値を呼び出します。
LAST MEMORY	CUSTOM メモリーに登録せずに終了した時点の調整値を呼び出します。
メモリー	CUSTOM メモリー選択画面 (→ P125) に切り換わります。
詳細設定	タイムアライメントの詳細設定画面に切り換わります。

タイムアライメント詳細設定

各スピーカーまでの距離を設定します。

- リスニングポジションがフロントLまたはフロントRのときに操作できます。

1 P136手順2で詳細設定にタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーからの距離が0～500.0cmの間で2.5cm単位で切り換わります。

オートイコライザー

AUTO TA&EQで自動調整したイコライザーを使用する設定を行うことができます。工場出荷時は「OFF」です。

- AUTO TA&EQ (→P140) を行っていない場合は、操作できません。

1 詳細設定 - オートイコライザーにタッチする

2 ON または OFF にタッチする



スピーカー設定

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ（低音域再生能力）を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

フロント：「LARGE」

センター：「OFF」（マルチチャンネル選択時のみ）

リア：「LARGE」

サブウーファー：「OFF」

1 詳細設定 - スピーカー設定にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を切り換えます。(→P136)
フロント	SMALL ↔ LARGE
センター (マルチチャンネルモード選択時)	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
リア	OFF ↔ SMALL ↔ LARGE
サブウーファー	OFF ↔ ON
メモリー	CUSTOMメモリー選択画面(→P125)に切り換わります。

スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

つづく→

- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。

各スピーカーごとの工場出荷時は以下のとおりです。

周波数 : 100Hz
 スロープ* : -12db/oct
 ミュート : OFF
 * : サブウーファー
 スロープ: -18db/oct Phase: Normal

カットオフ

複数のスピーカーを接続している場合、それぞれのスピーカーから出力される周波数帯域を設定することができます。

1 詳細設定 - カットオフ にタッチする

2 各項目の、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、以下のように切り換わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を切り換えます。(→P136)
スピーカー	フロント↔センター(マルチチャンネルモード選択時) ↔ リア↔サブウーファー
周波数	50Hz ↔ 63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz ↔ 160Hz ↔ 200Hz
スロープ	-18dB ↔ -12dB ↔ -6dB ↔ 0dB(サブウーファー選択時)
ミュート	OFF ↔ ON
PHASE	REVERSE ↔ NORMAL
(サブウーファー選択時)	
メモリー	CUSTOM メモリー選択画面(→P125)に切り換わります。

- スピーカー設定で「OFF」にしているスピーカーは設定できません。また、スピーカー設定で「LARGE」に設定しているスピーカーは、周波数とスロープの設定ができません。
- サブウーファーの位相は、車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。

スピーカー出力レベル

各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。

- スピーカー設定で OFF のスピーカーは操作できません。

1 詳細設定 - スピーカー出力レベル にタッチする

2 各スピーカーの、◀または▶にタッチして設定する



タッチするごとに、スピーカーの出力が -24dB ~ +10dB の間で切り換わります。

CUSTOM1	メモリーの種類を切り換えます。(→P136)
テストトーン	テストトーン画面に切り換わります。
メモリー	CUSTOM メモリー選択画面(→P125)に切り換わります。

テストトーン

テストトーンを聴きながら、各スピーカーからの出力レベルを調整し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。

1 P138 手順 2 でテストトーンにタッチする

2 開始にタッチする



約 2 秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL → センター (マルチチャンネルモード選択時) → フロントR → リアR → リアL → サブウーファー → フロントLに戻る

テストトーン出力中のスピーカーには、**◀**、**▶**が表示され、調整が可能になります。

- スピーカー設定 (→ P137) で「OFF」にしたスピーカーは飛び越されます。

3 ◀または▶にタッチする



タッチするごとに、スピーカーの出力が $-24\text{dB} \sim +10\text{dB}$ の間で切り換わります。このモードで調整した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調整したレベルと同じ値になります。

- **停止** にタッチすると、テストトーンの出力を停止することができます。

車に合わせて音場を自動で補正する(AUTO TA&EQ)

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適に自動補正することができます。

AUTO TA&EQを行う前に

AUTO TA&EQ（オートタイムアライメント&イコライザー）を行う前に必ずお読みください。



警告

- 走行中に AUTO TA&EQ を行わない。



禁止

- 自動車が行走中に AUTO TA&EQ を行わないでください。AUTO TA&EQ 機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

- 本機の AUTO TA&EQ 機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。（イコライザーカーブを呼び出したときは、AUTO TA&EQ により乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。）また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整します。

AUTO TA&EQを行う前にお読みください

スピーカー破損防止について

次の状態で AUTO TA&EQ を行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。AUTO TA&EQ を行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合（例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合）
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

AUTO TA&EQ 機能について

- 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

- AUTO TA&EQ は、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってから AUTO TA&EQ を行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- AUTO TA&EQ は、必ず付属の音響特性測定用マイクを使用して行ってください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、AUTO TA&EQ が実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、AUTO TA&EQ が実行できません。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げておくと、AUTO TA&EQ が実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

AUTO TA&EQ の設定方法

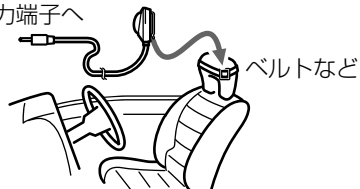
1 車の環境を整える

- 静かな所に停車し、ドア、窓ガラス、サンルーフなどを閉める。
- エアコンやエンジンを止める。

2 マイクを設置する

テープ・ベルト・輪ゴムなどで付属の音響特性測定用マイクを座席のヘッドレストの中央に仮止めします。

音響特性測定用
マイク入力端子へ



3 車のエンジンスイッチを ACC または ON にする

4 **NAVI/AV** を押し、AV 画面に切り換える

- AVソースが OFF になっていないときは、AV ソースを OFF にします。(→ P14)

5 **メニュー** を押し、**システム設定** にタッチする



つづく→

- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターは OFF にして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- AUTO TA&EQ 測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
 - 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
 - パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- AUTO TA&EQ を行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
 - 前後左右の音量バランス調整 (フェーダー/バランス) の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
 - イコライザーカーブは、フラット (FLAT) になります。
 - オートサウンドセッティングは、全 AV ソース ON に設定されます。
 - フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調整されます。
 - リスニングポジション / スピーカー設定 / カットオフ / スピーカー出力レベルの設定が調整されます。
 - SW PLUS の設定が OFF になります。
 - 接続されているスピーカーは、スピーカー設定 (→ P137) で OFF に設定していても、測定後は強制的に ON になります。

AUTO TA&EQ の調整内容について

一度 AUTO TA&EQ を行ったあとに、再度 AUTO TA&EQ を行うと、前の AUTO TA&EQ の調整内容は消去されます。

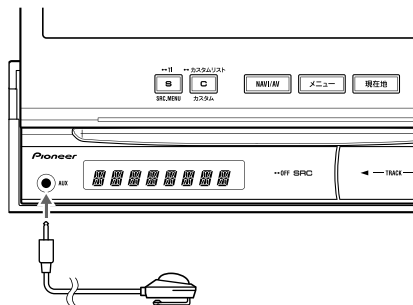
6 AUTO TA&EQ にタッチする



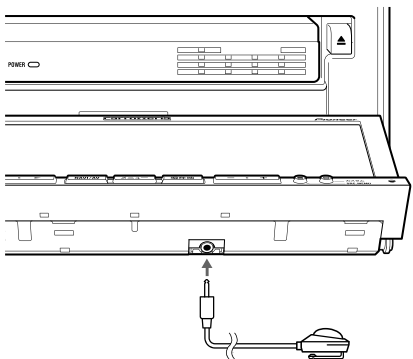
すでに設定されている場合、「測定済」と表示されます。

7 マイクを本機に接続する

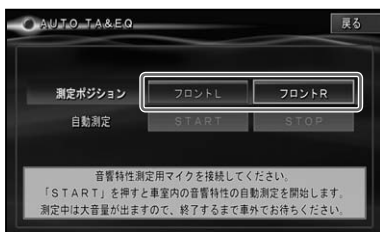
AVIC-VH9990



AVIC-ZH9990



8 測定ポジションを選ぶ



- 測定ポジションは、マイクを設置した側（通常はフロントR/運転席）を選びます。

9 START にタッチする

中止するときは、**STOP** を選びます。



- マイクを接続せずに **START** にタッチすると、「マイクを確認してください。」とメッセージが表示されます。この時点で本機にマイクを接続しても操作を続けることはできません。**戻る** にタッチして、もう一度手順 **6** から操作してください。AVIC-ZH9990 をお使いの場合は、**戻る** にタッチしたあと、**▲** を押していったんモニターを閉じ、もう一度手順 **6** から操作してください。

10 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音（ノイズ）が各スピーカーから出力され、測定が始まります。10 分程度で自動的に終了します。



AUTO TA&EQ 操作が終わったら、セットしたマイクを取り外してください。

- 外したマイクはグローボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。
- AVIC-ZH9990 をお使いの場合は、**戻る** にタッチしたあと、**▲** を押してモニターを閉じてください。

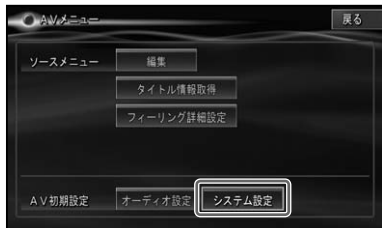
システム設定のしかた

本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

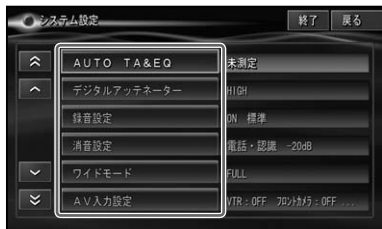
1 AV ソース画面 (→ P14) で

メニューを押す

2 システム設定にタッチする



3 各項目にタッチし、設定を行う



AUTO TA&EQ

車の特性に合わせて音場を自動で補正します。

→説明は本書の「車に合わせて音場を自動で補正する」(→ P140)に記載しています。

デジタルアッテネーター

デジタルアッテネーターはイコライザーカーブの調整による音の歪みをなくすることができます。

工場出荷時は「HIGH」です。

- イコライザーカーブの調整(→ P126)で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を LOW に切り換えてください。
- AV ソースが OFF のときに設定することができます。

1 デジタルアッテネーターにタッチする



2 HIGH または LOW にタッチする



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オーディオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

録音設定

ミュージックサーバーへの録音モードを設定します。

→説明は本書の「音楽用 CD を録音する」(→P71)に記載しています。

消音設定

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり消したりして、音声を聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

- 消音タイミング「電話・認識」
- 消音レベル「-20dB」

1 消音設定にタッチする



2 消音タイミングと消音レベルを設定する



消音タイミング

消音するタイミングを設定します。

ガイド・電話・認識	音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
電話・認識	ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。
OFF	オーディオの音量を下げません。

消音レベル

消音のレベルを設定します。

-10dB	音量が 1/3 になります。
-20dB	音量が 1/10 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

- 消音タイミングが OFF のときは消音レベルは設定できません。

ワイドモード

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。

→説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り換える」(→P153)に記載しています。

AV 入力設定

VTR(ビデオなど)や別売のフロント/バックカメラなどの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り換えます。

工場出荷時は以下のとおりです。

AVIC-VH9990

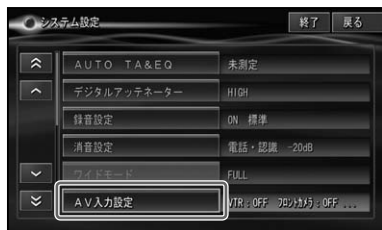
- VTR「OFF」
- フロントカメラ「OFF」
- バックカメラ「OFF」
- バックカメラ切換極性「HIGH」
- AUX1 (ライン)「ON」
- AUX2 (IP-BUS)「OFF」

AVIC-ZH9990

- VTR「OFF」
- フロントカメラ「OFF」
- バックカメラ「OFF」
- バックカメラ切換極性「HIGH」
- AUX (IP-BUSのみ)「OFF」

- 専用フロントカメラおよび専用バックカメラを接続した場合は、「フロントカメラ」、「バックカメラ」の設定が自動的に「ON」になります。
- バックカメラ切換極性は、バックカメラ接続時に設定できます。

1 AV入力設定にタッチする



2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する



VTR

ON	接続したビデオなどの映像を表示するとき (→ P121)
EXT	接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき (→ P120)
OFF	何も接続されていないとき

フロントカメラ

ON	接続したフロントカメラの映像を表示するとき (→『ナビゲーションブック』)
OFF	フロントカメラが接続されていないとき

バックカメラ

ON	接続したバックカメラの映像を表示するとき (→『ナビゲーションブック』)
OFF	バックカメラが接続されていないとき

バックカメラ切換極性

LOW	グラウンド (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が LOW となる車両の場合に選択します。)
HIGH	バッテリー (バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧が HIGH となる車両の場合に選択します。)

AUX 1 (ライン) (AVIC-VH9990)

ON	本体前面の AUX (外部音声) 入力端子に接続した機器の音声を聞くととき (→ P122)
OFF	何も接続されていないとき

AUX 2 (IP-BUS) (AVIC-VH9990)

ON	本体の IP-BUS 入力端子に接続した機器の音声を聞くととき (→ P122)
OFF	何も接続されていないとき

AUX (AVIC-ZH9990)

ON	本体の IP-BUS 入力端子に接続した機器の音声を聞くととき (→ P122)
OFF	何も接続されていないとき

- AUX2 (IP-BUS) および AUX は AV ソースが OFF のときのみ設定できます。
- バックカメラを接続するときは、必ずバック信号入力線 (紫 / 白) を接続してください。バック信号の極性については、情報・通信メニューの「ハードウェア情報」-「取付け状態」で確認できます。→『ナビゲーションブック』

リアモニター出力設定

本機にリアモニターを接続した場合に、その接続方式、モニター形式、出力する映像の形式を設定します。

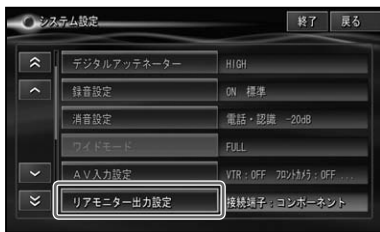
工場出荷時は以下のとおりです。

- 接続端子「コンポーネント」
- モニター「VGA」
- 画質モード「標準」

- AV ソースが OFF のときに設定することができます。

つづく→

1 リアモニター出力設定にタッチする



2 接続端子とモニター形式、出力映像形式を設定する



接続端子

RCA	RCA に接続したとき
コンポ ネット	コンポーネントに接続したとき

モニター

VGA	VGA 形式のモニターを接続したとき
XGA	XGA 形式のモニターを接続したとき

画質モード

標準	フロントモニター・リアモニターともに同じ画質 (VGA) で出力します。
リア優先	リアモニターへの出力画質を優先します。

- 「接続端子」を「RCA」に設定した場合、「モニター」と「画質モード」は設定できません。また、「モニター」を「VGA」に設定した場合は、「画質モード」が設定できません。
- 「画質モード」を「リア優先」に設定した場合、本機のモニターに表示される映像は、リアモニターに表示される映像と比べて劣化する場合があります。

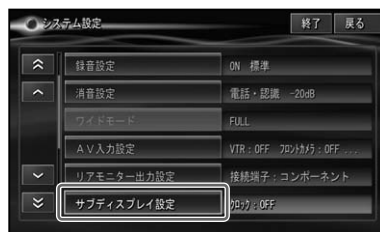
・「接続端子」で正しく接続されている端子を選択しないと、リアモニターに DVD などの映像が表示されません。必ず正しい接続端子を選択してください。

サブディスプレイ設定 (AVIC-VH9990)

サブディスプレイへの時計表示の設定を行います。

工場出荷時は「OFF」です。

1 サブディスプレイ設定にタッチする



2 ON または OFF にタッチする



ON	時計が表示されます。
OFF	時計は表示されません。

- 「ON」に設定した場合でも、AV ソースの操作を行った場合は、一時的に AV ソースの情報表示に切り換わります。
- 「OFF」に設定すると、現在選択中の AV ソースの情報が表示されます。AV ソース OFF 時には、何も表示されません。
- 現在の時刻は、GPS 衛星の情報に基づいて表示されます。時刻の変更はできません。

オートフラップ設定 (AVIC-VH9990)

エンジンスイッチ (ACC) の ON/OFF に連動して、本機のモニターを自動開閉 (OPEN/CLOSE) するかどうかを設定します。また、モニターが立ち上がったときの前後の位置 (SET BACK) も設定できます。工場出荷時は以下のとおりです。

- OPEN/CLOSE 「オート」
- SET BACK 「OFF」

1 オートフラップ設定にタッチする



2 自動開閉とセットバックを設定する



OPEN/CLOSE (自動開閉)

オート	ACC の ON/OFF でモニターを自動開閉します。
マニュアル	モニターの開閉を手動で行います。

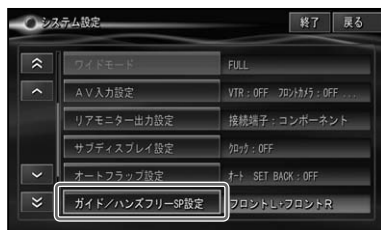
SET BACK (前後の位置)

ON	モニターを後ろに下げます。
OFF	モニターを後ろに下げません。

ガイド/ハンズフリー SP 設定

ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL + フロントR」です。

1 ガイド/ハンズフリー SP 設定にタッチする



2 スピーカーを選んでタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントL + フロントR	フロント左右から出力します。
フロントR	
フロントR	フロント右側から出力します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

オーディオ

その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

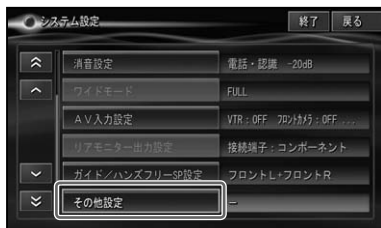
付録

オーディオ設定リセット

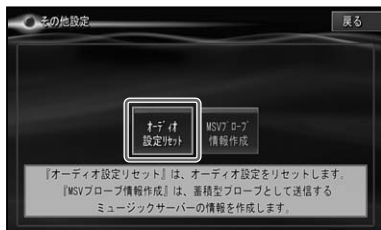
本機オーディオの各設定・調整をリセットして、工場出荷時の状態に戻します。

- AV ソースが OFF のときにリセットできます。

1 その他設定にタッチする



2 オーディオ設定リセットにタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチする

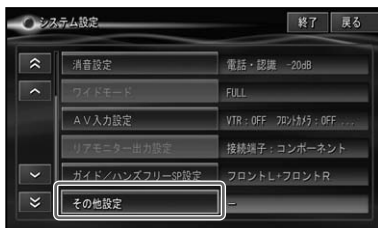
各設定・調整がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

MSVプローブ情報を作成する

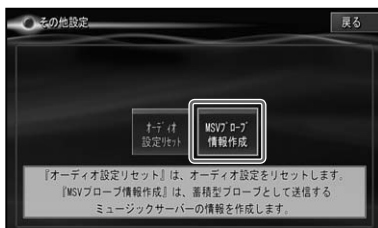
蓄積型プローブとしてアップロードする、ミュージックサーバーのプローブ情報（収録曲リスト）を手動で作成する機能です。

- MSV プローブ情報は自動で作成されません。スマートループ ミュージックレポートで指示があった場合のみこの操作を行ってください。

1 その他設定にタッチする



2 MSVプローブ情報作成にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 はいにタッチする

自動的に再起動を行い、MSV プローブ情報が作成されます。（作成には、数分かかる場合があります。）

作成した MSV プローブ情報は、次回サーバー接続時に自動的にアップされます。

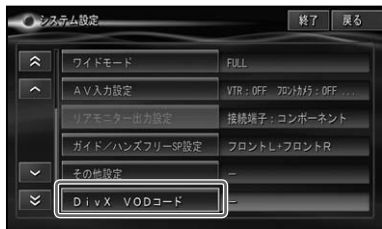
DivX VOD コード

DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオオンデマンド)」の略です。

DivX VOD ファイルを再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

- DivX VOD ファイルは、DRM コピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。
- AV ソースが DVD/CD-ROM (WMA/MP3/AAC) /DivX のいずれかの場合に、設定することができます。

1 DivX VODコードにタッチする



レジストレーションコードが表示されます。



レジストレーションコード

CD録音/PC転送使用領域設定

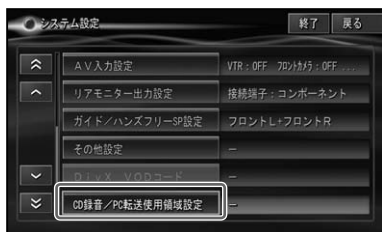
CD 録音で使用する「CD 録音コンテンツ領域」と、PC 転送で使用する「PC 転送コンテンツ領域」の配分を設定します。

- PC 転送コンテンツ領域は、パソコンから転送した楽曲データ (MSV) と動画データ (VSV) の両方で共用されます。
- AV ソースが OFF のときに設定することができます。
- 録音中は設定できません。

注意

- 使用領域の変更を行うと、PC 転送コンテンツとして登録されている全てのデータが消去されます。
- オープニング画面のクリア項目選択画面 (→『ナビゲーションブック』-『設定内容の初期化とユーザーデータの消去』) から、この設定を行うと、登録されている全てのデータが消去されます。MSV に何も録音されていない状態で設定するか、MSV に録音したデータを消去して良い場合に限り操作してください。
- システム設定からこの操作を行う場合は、PC 転送コンテンツの領域を減らすことはできませんが、増やすことはできません。オープニング画面のクリア項目選択画面 (→『ナビゲーションブック』-『設定内容の初期化とユーザーデータの消去』) からこの設定を行う場合は、PC 転送コンテンツの領域の増減が行えます。

1 CD録音/PC転送使用領域設定にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

ビデオ

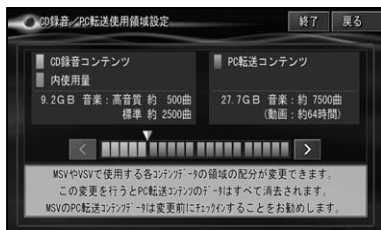
その他の機能

オーディオ設定

その他の機能

付録

2 使用領域を変更する



- ◀ 増やした録音コンテンツの領域を減らします。
- ▶ 録音コンテンツの領域を増やします。

3 戻る にタッチする

▼
確認画面が表示されます。

4 はい にタッチする

▼
ナビゲーションが再起動し、変更が有効になります。

その他の機能

画面を設定する	152
画質を調整する	152
ワイド画面の拡大方法を切り換える	153
ワイドモードの種類	154
画面の表示モードを切り換える	154
ピクチャーサイドピクチャーに変更する	154
PsideP ワイドモードの種類	155
ピクチャーインピクチャーに変更する	155
タッチパネルのタッチ位置を調整する (タッチパネルキャリブレーション)	156
リアモニターを組み合わせる	158
リアモニターに表示される映像について	158
リアモニターの設置場所について	158

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

画面を設定する

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「アクティブコントラスト」、「色温度」、「色の濃さ」、「色あい」を調整することができます。

- ✎ AVIC-ZH9990をお使いの場合は、車のライトに連動して昼(☀)と夜(🌙)の設定を自動で切り換えます。
- AVIC-VH9990をお使いの場合は、外光センサーが周囲の明るさを感じて、昼(☀)と夜(🌙)の設定を自動で切り換えます。また、「明るさ」の設定は昼と夜の中間の明るさ(☀🌙)も感じて設定することができます。設定後は段階的に自動調整します。(3点式インテリジェントデイマー)
- 「アクティブコントラスト」は、明暗が混在するようなシーンでも部分部分でのコントラスト調整を自動で行い、色とびの少ない鮮明な映像で表示します。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「アクティブコントラスト」の設定は、昼(☀)と夜(🌙)で別々に設定登録できます。
- 「明るさ」と「色温度」以外の設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定登録できます。
- フロントカメラ**および**バックカメラ**は、カメラ機能が動作していない場合に表示されます。
- 以下の場合は、画質調整ができません。
 - 走行中の場合
 - PsideP/PlinP表示中の場合(→P154)
 - カメラ設定中の場合(→「ナビゲーションブック」)

1 調整したい画像の表示画面で

(AVIC-VH9990)

V.ADJUSTを押す

(AVIC-ZH9990)

メニューを長く押す



調整画面が表示されます。



フロントカメラ	フロントカメラ接続時にフロントカメラ映像の画質調整を行います。
バックカメラ	バックカメラ接続時にバックカメラ映像の画質調整を行います。
ソース	フロントカメラ または バックカメラ 選択時に表示され、タッチするとカメラの画質調整を解除して、元の画面に戻ります。
次ページ	次のページを表示します。


黒の濃さ

<input type="checkbox"/> (白)	薄くなります。
<input checked="" type="checkbox"/> (黒)	濃くなります。

コントラスト (明暗)

低	白黒の差が小さくなります。
高	白黒の差が大きくなります。

明るさ

暗	暗くなります。
明	明るくなります。
 (AVIC-VH9990)	三角のマークが現在の外光レベルを表します。下のバーが外光に合わせて自動調整している現在の画面の明るさを表します。右に伸びるほど明るくなります。

アクティブコントラスト

工場出荷時は「ON」です。

ON	ONになります。
OFF	OFFになります。



前ページ	前のページを表示します。
-------------	--------------

色温度

<input type="checkbox"/> (赤)	暖色系が強くなります。
<input type="checkbox"/> (青)	寒色系が強くなります。

色の濃さ

淡	薄くなります。
濃	濃くなります。

色あい

<input type="checkbox"/> (赤)	赤が強くなります。
<input type="checkbox"/> (緑)	緑が強くなります。

- 画面の種類によって、調整できる項目は異なります。

2 戻る にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り換える

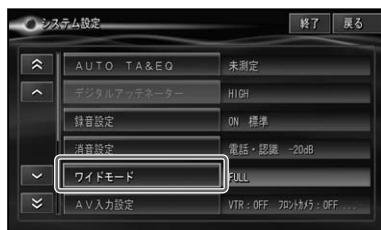
DVD、DivX、DTV、VSV、iPodビデオ、EXT（映像）およびVTR（ビデオなど）の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。工場出荷時は以下のとおりです。

- DVDソース時「AUTO」
- それ以外のAVソース時「FULL」

- 通常映像は縦横比4:3、ワイド映像は縦横比16:9です。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3/ACC、ミュージックサーバーなど）は、ワイドモードの切り換えはできません。

1 AVソースを切り換える（→P14）

2 **メニュー** を押し、**システム設定** - **ワイドモード** にタッチする



3 お好みの表示方法にタッチする



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」を参照してください。

- 通常のテレビ放送の番組でZOOM、NORMAL以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- CINEMA、ZOOMで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（FULL、ZOOMなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

4 戻る にタッチする

ワイドモードの種類

FULL (フル)

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



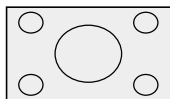
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



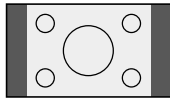
ZOOM (ズーム)

4:3の映像の上下だけを拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかがって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4:3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



AUTO (オート)

DVDソース表示中に選択できます。画面サイズを最適な大きさに自動設定します。

画面の表示モードを切り換える

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	地図の1画面表示です。
ピクチャー サイド ピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とAVソース画面を同時に表示します。
ピクチャー イン ピクチャー	ナビゲーション画面の中にAVソース画面を小さく(子画面)表示します。



- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(NAVI/AV)** を押すとAVソースの1画面に切り換わります。再度押すと2画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **(Xメニュー)** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AVメニューを表示させるには **(NAVI/AV)** を押してAVソースを1画面にしてから **(Xメニュー)** を押してください。2画面に戻するには、**(現在地)** を押してください。

ピクチャーサイドピクチャーに変更する

1 (AVIC-VH9990)

(DISP. SEL) を押す

(AVIC-ZH9990)

(NAVI/AV) を長く押す



画面表示モード選択画面が表示されます。


2 「PsideP」の または にタッチする



PsideP ワイドモード

タッチすることにより、PsidePワイドモードの設定を以下のように変更することができます。

NATURAL → 16:9 →
ZOOM → FULL →
NATURAL に戻る

1画面に戻すには「1画面」の  にタッチします。

- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- AVソース画面どうし(DTVとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- DTV、VTR(ビデオなど)、DVD/DivX、VSV、iPodビデオ、EXT(映像)を選んでいる場合のみ、PsidePのワイドモードを変更することができます。
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- 走行中は、「PsidePワイドモード」の設定はできません。

PsideP ワイドモードの種類

NATURAL (ナチュラル)

16:9とフルの中間の比率で、上下を拡大します。映像が欠けることなく表示されます。



16:9

16:9の映像をそのまま表示します。



ZOOM (ズーム)

16:9の映像中、画面中央の4:3部分を切り出し、上下左右に拡大して4:3の比率で表示します。左右の映像は欠けて表示されます。



FULL (フル)

16:9の映像の上下だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



ピクチャーインピクチャーに変更する

1 (AVIC-VH9990)

DISP.SEL を押す

(AVIC-ZH9990)

NAVI/AV を長く押す



画面表示モード選択画面が表示されます。


2 「PinP」の 、、、 のいずれかにタッチする



PinP 画面サイズ

タッチすることにより、PinP画面サイズの設定を以下のように変更することができます。

1/9 → 1/4 → 1/16 → 1/9 に戻る

1画面に戻すには「1画面」の  にタッチします。

- DTV、VTR(ビデオなど)、DVD/DivX、VSV、iPodビデオ、EXT(映像)を選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- ワイドモード(→P144)の設定内容は、そのまま子画面にも反映されます。
- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ換えはできません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

システム設定

その他の機能

付録

タッチパネルのタッチ位置を調整する

(タッチパネルキャリブレーション)

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなど、以下の方法で調整することができます。

注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていない物を使用して画面に軽く触れてください。



- 調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。
- タッチパネル調整を途中で終了する場合や、1つ前の画面に戻る場合は、画面に表示される指示に従って、該当するボタンを操作してください。

1 (AVIC-VH9990)

V.ADJUST を押す

(AVIC-ZH9990)

メニュー を長く押す



画質調整画面が表示されます。

2 (AVIC-VH9990)

V.ADJUST を長く押す

(AVIC-ZH9990)

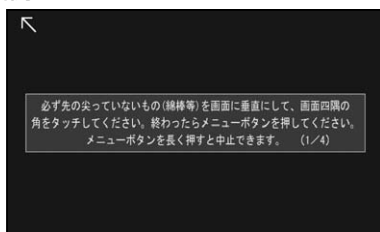
メニュー を長く押す



タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする

画面例：AVIC-VH9990



4 (AVIC-VH9990)

V.ADJUST を押す

(AVIC-ZH9990)

メニュー を押す



調整結果が保存されます。



- 保存中はエンジンを切らないでください。

5 16点調整を行う場合は、

(AVIC-VH9990)

V.ADJUST を押す

(AVIC-ZH9990)

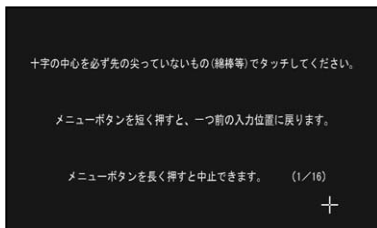
メニュー を押す



16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする

全てタッチすると調整結果が保存されます。



- 保存中はエンジンを切らないでください。

7 (AVIC-VH9990) **V.ADJUST** を長く押す

(AVIC-ZH9990)

メニュー を長く押す



調整を終了し、ナビゲーション画面に戻ります。



- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。



本機にリアモニターを接続した場合は、その接続方式、モニター形式、出力する映像の形式を設定してください。この設定が正しくされないとリアモニターからDVDの映像が出力されないなどのことがあります。詳しくは、「リアモニター出力設定」(→P145)をご覧ください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、DTV、DVD、DivX、VSV、iPodビデオ、VTR、EXT1、EXT2の映像が表示されます。ナビゲーション、フロントカメラ、バックカメラ、AVソース画面は表示されません。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

付 録

再生できるディスクの種類	160
DVD に表示されているマークの意味	161
ディスクの操作について	161
ディスクの構成について	162
DVD ビデオ	162
映画など	162
カラオケディスク	162
CD	162
WMA/MP3/AAC ディスクについて	163
フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて	163
WMA とは?	164
再生できる WMA ディスクについて	164
MP3 とは?	164
再生できる MP3 ディスクについて	164
AAC とは?	165
再生できる AAC ディスクについて	165
DivX とは?	165
Gracenote® について	166
故障かな?と思ったら	167
共通項目	167
FM/AM	167
DVD	168
CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	169
ミュージックサーバー	170
ビデオサーバー	170
地上デジタルテレビ	171
リアモニター	172
メッセージと対処方法	173
音楽ディスク	173
映像ディスク	174
ミュージックサーバー	174
ビデオサーバー	175
iPod	175
地上デジタルテレビ	175
AUTO TA&EQ	176
索引	177
メニュー索引	177
用語索引	180
五十音順	180
数字・アルファベット順	182

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付 録

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVD ビデオ



- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW DL（2層式）（ビデオモード/VRモード）で記録されたディスクにも対応しています。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、および WMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録した DVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生することができます。
- コピーガード機能付き CD（Copy Control CD など）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したものの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。

CD



- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）と WMA/MP3/AAC データ（ROM）と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生される優先順位は以下の順となり、優先順位の高いもののみ再生されます。再生メディアの切り換えはできません。
① CD → ② ROM → ③ DivX
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD / AVCREC 規格) で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD / AVCREC に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD / AVCREC 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVD によっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル / チャプターの構成上リPEATなど一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ: システム設定

その他の機能

付録

ディスクの構成について

DVD ビデオ

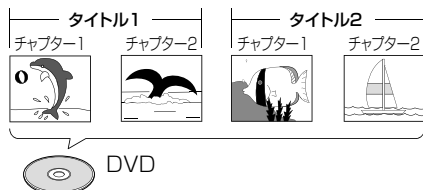
DVD ビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。



CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

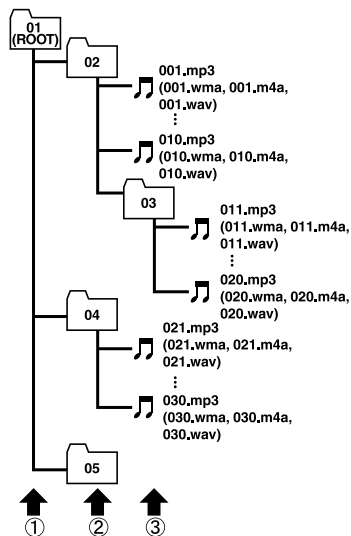


- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

WMA/MP3/AACディスクについて

フォルダーとWMA/MP3およびAACファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したディスクのイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機は WMA/MP3/AAC ファイルが記録された DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM(CD-ROM モードはモード 1、モード 2(FORM1/FORM2)に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル 1、およびレベル 2、および拡張フォーマット(Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。

- MP3i(MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子(.wma, .mp3, .m4a)を含め、全角で 16 文字、半角で 32 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で 16 文字、半角で 32 文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から 16 文字、半角では先頭から 32 文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が 255 個まで再生可能です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービーク

ビデオ
サーパー

その他の機器

オーディオ・
システム設定

その他の機能

付録

WMA とは？

WMA とは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ディスクについて

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7/7.1/8/9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ディスクについて

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ~ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる AAC ディスクについて

- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
 - 本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
 - 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けしないでください。
 - 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
 - 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
 - 対応ステレオビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。
 - この製品は、下記のオーディオフォーマットには対応していません。
 - * Apple Lossless

DivX とは？

- DivX® は、DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は DivX ビデオを再生する DivX® Certified 製品です。お持ちのファイルを DivX® ビデオフォーマットに変換するソフトウェアやその他の情報については、www.divx.com をご覧ください。
- DivX Certified® 製品で DivX® Video-on-Demand (VOD) のコンテンツを再生するには登録が必要です。登録コードの生成は、デバイスのセットアップメニューの DivX® VOD セクションで行います。登録が完了すると vod.divx.com にアクセスして DivX® VOD の詳しい内容を確認できます。
- 本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW に記録された DivX® ファイルを再生できます。再生できる DivX コーディックバージョンについては、『スタートブック』の『仕様』のページをご覧ください。
- DivX Ultra には対応していません。
- この取扱説明書では、それぞれの DivX® ファイルを DVD にあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

システム設定

その他の機能

付録

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracernote[®] 社によって提供されています。Gracernote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracernote[®] 社のホームページ www.gracernote.com をご覧ください。

特許及び商標

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracernote[®] により提供されます。Gracernote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracernote.com Gracernote からの CD および音楽関連データ：Copyright(c)2000-2008 Gracernote. Gracernote Software:Copyright 2000-2008 Gracernote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数の実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc. から提供されました。「Gracernote」および「CDDDB」は、Gracernote の登録商標です。Gracernote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracernote」ロゴは、Gracernote の商標です。Gracernote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracernote.com/corporate。

Gracernote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリビル市の Gracernote, Inc. (以下「Gracernote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracernote 社のソフトウェア（以下「Gracernote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracernote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、または製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracernote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracernote データを使用することができます。

お客様は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。

お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracernote ソフトウェアや Gracernote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、または Gracernote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様

は Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracernote は、Gracernote データ、Gracernote ソフトウェア、および Gracernote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracernote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracernote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracernote として行使できることに同意するものとします。

Gracernote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracernote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracernote のサービスに関する Gracernote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracernote ソフトウェアと Gracernote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracernote は、Gracernote サーバーにおける全ての Gracernote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracernote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracernote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracernote ソフトウェアまたは Gracernote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracernote は、Gracernote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracernote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracernote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracernote は、お客様による Gracernote ソフトウェアまたは任意の Gracernote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracernote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

©Gracernote 2006

Gracernote データについて

- 本機内蔵の Gracernote データ、専用サーバーの Gracernote データともに、データの内容を 100%保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracernote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracernote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他のサービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	スタンバイ状態になっている。	スタンバイを解除してください。 →『スタートブック』
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	(NAVI/AV)で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調整が適切でない。	正しく調整・設定してください。 →「フェーダー/バランス」(P125)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調整が適切でない。	
画質調整ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 →「ラジオを聞く」(P18)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「ラジオを聞く」(P18)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ設定

その他の機能

付録

症状	原因	処置
再生できない。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
	専用フロントカメラまたは専用バックカメラが動作している。	専用フロントカメラまたは専用バックカメラ動作中は、一時的に再生が停止します。専用フロントカメラまたは専用バックカメラを解除すると、再生が再開されます。 →『ナビゲーションブック』
	ファイナライズされていないディスクを挿入している。	ファイナライズされたディスクを挿入してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーション画面になっている。	(NAVI/AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイ (→P55) を ON に設定してください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイを OFF にして再生してください。 →『オートプレイ』(P55)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 →『視聴制限』(P54)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていない DVD を再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていない DVD では、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります(故障ではありません)。

DVD (つづき)

症状	原因	処置
⓪ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■ (再生停止) にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-R や CD-RW、CD-ROM を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください (WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-ROM を再生しないでください)。
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオ・システム設定

その他の機能

付録

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
パソコンから転送した楽曲データが再生できない。	BeatJam (Music) 以外のツールで楽曲データを転送した。	BeatJam (Music) を使用して転送してください。→「パソコンから楽曲データを転送する」(P73)
パソコンから転送した楽曲データがフィーリングプレイで再生できない。	BeatJam (Music) 以外のツールで楽曲データを転送した。 BeatJam (Music) で曲調解析されていないファイルを転送した。	BeatJam (Music) で曲調解析を行ってから転送してください。→ <i>BeatJam (Music)</i> のヘルプ
CD が録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音には制限があります。→「CD 録音の制限について」(P70)
プレイリストのタイトルに「CD - 日付 時刻」が表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が HDD に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。 通信接続設定が正しくされていない。	通信機器の接続を確認してください。 通信接続設定を行ってください。 →「ナビゲーションブック」
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手でタイトル情報を取得してください。 →「タイトル情報を取得する」(P97)

ビデオサーバー

症状	原因	処置
再生できない。	専用フロントカメラまたは専用バックカメラが動作している。	専用フロントカメラまたは専用バックカメラ動作中は、一時的に再生が停止します。専用フロントカメラまたは専用バックカメラを解除すると、再生が再開されます。 →「ナビゲーションブック」
	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	BeatJam (Video) 以外のツールで動画データを転送した。	BeatJam (Video) を使用して転送してください。→「パソコンから動画データを転送する」(P100)
映像が見えない。	ナビゲーション画面になっている。	NAVI/AV で画面を切り換えてください。

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
映像が見えない。	ナビゲーション画面になっている。	NAVI/AV で画面を切り換えてください。
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、 コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが 映る。	受信状態が悪くなった場合などは、 そのような症状になります。これら は地上デジタル放送特有の現象で、 故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
受信できない。 「受信できません」という メッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをし てください」というメッ セージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	初めて使うときやバッテリーを外した とき、リセットボタンを押したとき、「視 聴者設定クリア」(P37)をしたときは、 チャンネルスキャンをしてください。 →「 放送局を自動で登録する (チャン ネルスキャン)」(P32)
	移動により、受信中のチャンネル電 波が弱くなった。	他の中継局 (チャンネル) に切り換え てみてください。エリアプリセットで 受信中は、受信可能な中継局を自動的 に探して切り換えることができます。 →「 受信可能な中継局を探す 」(P24)
	放送局 (チャンネル) が増えたり、 他のエリアに移動して受信環境が変 わった。	受信環境が変わったときは、チャン ネルスキャンをしてください。 →「 放送局を自動で登録する (チャン ネルスキャン)」(P32)
	受信レベルが低下して、放送が受信 できない。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。画面に「@ワ ンセグ切り換え可マーク」が表示さ れているときは、ワンセグ放送に切 り換えます。 →「 サービスを切り換える 」(P27)
	車両に電波シールドガラスが使われ ている。	外付けの地上デジタル TV 用アンテ ナを使用してください。
メッセージが表示され、視 聴ができない。	B-CAS カードを挿入していない。	車のエンジンスイッチを OFF にし てから B-CAS カードを挿入してく ださい。 →『 スタートブック 』
	B-CAS カードの表裏を間違えて挿 入している。	B-CAS カードを正しい向きで挿入 してください。 →『 スタートブック 』
	B-CAS カードリーダーが正しく接 続されていない。	B-CAS カードリーダーが正しく接 続されているか確認してください。 →『 取付説明書 』
	本機が対応しない放送を視聴しよう としている。	以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送 (ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 ・ワンセグのデータ放送 対応している放送に切り換えてくだ さい。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバービデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ:
システム設定

その他の機能

付
録

地上デジタルテレビ (つづき)

症状	原因	処置
データ放送画面に切り換えられない。 映像切換 、 音声切換 、 字幕切換 のタッチキーが薄く表示されていて、切り換えられない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、 サービス切換 にタッチします。(→P27)

リアモニター

症状	原因	処置
RCA 入力のリアモニターを接続したときに、リアモニターに DVD の映像は映らない。	「リアモニター出力設定」の「接続端子設定」を行っていない。	「リアモニター出力設定」の「接続端子設定」(→P145) を「RCA」に切り換えてください。

メッセージと対処方法

メッセージが表示されたときの原因と対処方法について説明します。

音楽ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ディスクが入っていません。 マガジンが入っていません。	ディスクやマガジンが入っていない。	ディスクやマガジンを入れてください。
再生エラーを検出しました。 トラックの先頭から再生を再開します。	何らかの原因で再生ができないとき。	ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 →「スタートブック」
録音再生エラーが発生しました。 CDの通常再生に切り換えます。	何らかの原因で録音ができないとき。	
このCDは録音できません。	CD-R などコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のディスクなど、録音可能なディスクに交換してください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものを削除してください。 →「グループやプレイリスト、トラックを編集する」(P88) または、CD 録音 / PC 転送使用領域設定 (→ P149) で、CD 録音の領域を大きくしてください。
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	録音曲数の上限 (トラック 20 000 曲まで) に達したため。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものを削除してください。
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	CD から録音したプレイリストの数が 999 個に達している。	CD から録音したプレイリストは 999 個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。 →「グループやプレイリスト、トラックを編集する」(P88)
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P160)
再生できません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。 ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 →「スタートブック」 ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。 →「スタートブック」
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P160)

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ
設定

その他の機能

付録

映像ディスク

メッセージ	原因	処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は「2」です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード「2」を含むディスクに交換してください。
DivX® VOD レンタルコンテンツの認証に失敗しました。	本機で表示された DivX VOD コードとは異なる VOD コードでダウンロードしたコンテンツを再生しようとした。	本機で表示される DivX VOD コードを使ってダウンロードしたコンテンツを再生してください。
高解像度のファイルは再生できません。	本機で再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	DivX Home theater で再生できる最大解像度は 720 × 480@30fps, 720 × 576@25fps です。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P160)
再生できません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。 ディスクにキズやそりがある。	ディスクに汚れやキズ・そりがなければ確認してください。 →『スタートブック』
	ディスクの表裏が逆になっている。	ディスクのタイトル面を上にして、セットしてください。 →『スタートブック』
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」(P160)

ミュージックサーバー

メッセージ	原因	処置
プレイリスト数が上限に達しているため、これ以上録音できません。	プレイリストの数が 999 個に達している。	プレイリストは 999 個までしか作成できません。聴かなくなったプレイリストなどを削除してください。 →「グループやプレイリスト、トラックを編集する」(P88)
録音曲数の制限を超えたため、これ以上は録音できません。	録音曲数の上限(トラック 20 000 曲まで)に達したため。	録音済みの曲やプレイリストの中から、聴かなくなったものなどを削除してください。 →「グループやプレイリスト、トラックを編集する」(P88)
この画像には対応できません。	本機が対応していない画像形式を選んだ。 ファイル名が長すぎるまたは特殊コードを使ったファイル名になっている。	本機が対応できる画像形式またはファイル名に変更してください。 →「プレイリストに画像を設定する」(P93)

ビデオサーバー

メッセージ	原因	処置
録音中は再生できません。	CD 録音中にビデオサーバーに切り換えた。	録音中はビデオサーバーの再生ができません。録音が終了するのを待つか、 REC にタッチして録音を中止してから切り換えてください。

iPod

メッセージ	原因	処置
iPod ビデオに接続できませんでした。 iPod ビデオを使用する場合は iPod の再接続を行ってください。	何らかの原因で本機と iPod の間の認証が失敗した可能性がある。	エンジンスイッチを OFF/ON し、一度 iPod を本機から取り外し、iPod が問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
ERROR-11	正常に通信できないとき。	コネクターを一度はずし、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクターを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
ERROR-21	iPod ソフトウェアのバージョンが古いとき。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
ERROR-30	iPod に問題が発生したとき。	iPod をリセットしてください。

地上デジタルテレビ

メッセージ	原因	処置
DTV で高温を検出しました。 保護のため停止中です。	内部温度が高くなった。	正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。
サービスが登録されていません。 電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	電波状況の良い場所で、チャンネルスキャンを行ってください。 →「放送局を自動で登録する」(P32)
同時時間帯にすでに予約が設定されています。 これ以上予約を設定できません。不要な予約を消去してください。	他の番組を予約した時間帯に別の番組を予約しようとしている。 可能予約数を超える予約を行おうとしている。	同じ時間帯に重複して予約することはできません。 予約可能数は 100 件までです。必要が無くなった予約などを消去してください。 →「視聴予約する」(P33)
アンテナ接続エラーの可能性が有ります。	地上デジタル TV のアンテナに不具合がある。	地上デジタル TV のアンテナ接続が正しく行われているか確認してください。 →「取付説明書」

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー操作

ビデオサーバー

その他の機器

シールドアウト設定

その他の機能

付録

地上デジタルテレビ (つづき)

メッセージ	原因	処置
地上デジタルTVチューナーに不具合が発生した可能性があります。	本機内部の地上デジタルTVチューナー部に不具合がある。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
ICカードを正しく装着してください。	B-CASカードが挿入されていない。	B-CASカードがB-CASカードリーダーに正しくセットされているか確認してください。 →『スタートブック』
このICカードは使用できません。EC01	B-CASカードリーダーが正しく接続されていない。	B-CASカードリーダーが正しく接続されているか確認してください。 →『取付説明書』
	B-CASカード以外のカードを挿入した。	B-CASカードを挿入してください。 →『スタートブック』
	B-CASカードの表裏や向きを間違えて挿入している。	B-CASカードを正しく挿入してください。 →『スタートブック』
ICカードの交換が必要です。	B-CASカードが破損している。	B-CASカードのカスタマーセンターに連絡して、B-CASカードを交換してください。

AUTO TA&EQ

メッセージ	原因	処置
マイクを確認してください。	マイクが接続されていない。 マイクの接続が不完全な状態になっている。	付属の音響特性測定用マイクが正しく接続されているか確認してください。 →『AUTO TA&EQの設定方法』(P141)
騒音が大きすぎます。	周囲の騒音レベルが高すぎる。	静かなところに車を停車し、エンジンおよびエアコンやヒーターを止めてください。
サブウーファーを確認してください。 Fスピーカーを確認してください。 FLスピーカーを確認してください。 FRスピーカーを確認してください。 RLスピーカーを確認してください。 RRスピーカーを確認してください。	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	エンジンスイッチをON(本機の電源をON)にして、スピーカーから音が出ているか確認してください。 音が出ていない場合は、スピーカーの接続やスピーカー設定を確認してください。 →『取付説明書』、→『スピーカー設定』(P137)

※ F:フロント、FL:フロント/レフト、FR:フロント/ライト、RL:リア/レフト、RR:リア/ライト

索引

メニュー索引

CD/ROM

- ☒メニュー ▶ **サーチモード** → P44
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143

FM/AM

- ☒メニュー ▶ **BAND** → P20
- BSM** → P19
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143

DTV (地上デジタルテレビ)

- ☒メニュー ▶ **BAND** → P31
- 音声多重** → P32
- スキャン** → P32
- 機能設定**
- リスト小** / **リスト大** → P33
- 予約済み番組** → P34
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143

視聴設定タブ

- 12セグ・ワンセグ切換設定** → P36
- オート放送局サーチ設定** → P36
- 2画面表示設定** → P36
- 文字スーパー表示設定** → P36
- イベントリレー設定** → P36
- 緊急警報放送設定** → P36

環境設定タブ

- 地域設定** → P36
- 郵便番号設定** → P36
- ダウンロード設定** → P36
- 番組名称情報取得設定** → P37
- 視聴者設定クリア** → P37
- 番組表表示設定** → P37
- 4チューナー設定** → P37

受信機情報タブ

- お知らせメッセージ** → P37
- バージョン情報** → P38

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サービシング

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ:
システム設定

その他の機能

付録

DVD

- (メニュー) ▶ **L/R 切換** → P52
- 初期設定** → **基本字幕** → P53
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143
- 基本音声** → P53
- メニュー言語** → P53
- マルチアングル** → P53
- テレビアスペクト** → P54
- 視聴制限** → P54
- オートプレイ** → P55

DVD-VR

- (メニュー) ▶ **音声多重** → P61
- 初期設定** → **テレビアスペクト** → P62
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143

DivX

- (メニュー) ▶ **初期設定** → **映像出力設定** → P68
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143
- テレビアスペクト** → P68

MSV

- (メニュー) ▶ **編集** → P85
- タイトル情報取得** → P97
- フィーリング詳細設定** → P81
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143

VSV

- (メニュー) ▶ **初期設定** → **映像出力設定** → P107
- オーディオ設定** → P124
- システム設定** → P143
- テレビアスペクト** → P107

オーディオ設定

2チャンネル

フェーダー／バランス → P125

マルチチャンネル

リスニングポジション → P126

グラフィックイコライザー → P126

SFC → P128

サウンドレトリバー → P131

ソースレベルアジャスター → P132

ASL → P132

デジタルダイレクト → P133

ダイナミックレンジコントロール → P133

ダウンMIX → P134

オートサウンドセッティング → P135

詳細設定

フェーダー／バランス → P125

リスニングポジション → P126

グラフィックイコライザー → P126

SFC → P128

Dolby Pro Logic II → P129

Neo:6 → P130

ソースレベルアジャスター → P132

ASL → P132

デジタルダイレクト → P133

ダイナミックレンジコントロール → P133

ダウンMIX → P134

SW PLUS → P134

オートサウンドセッティング → P135

詳細設定

リスニングポジション → P136

グラフィックイコライザー → P136

タイムアライメント → P136

オートイコライザー → P137

スピーカー設定 → P137

カットオフ → P138

スピーカー出力レベル → P138

リスニングポジション → P136

グラフィックイコライザー → P136

タイムアライメント → P136

オートイコライザー → P137

スピーカー設定 → P137

カットオフ → P138

スピーカー出力レベル → P138

システム設定

AUTO TA&EQ → P142

デジタルアッテネーター → P143

録音設定 → P71

消音設定 → P144

ワイドモード → P144

AV入力設定 → P145

リアモニター出力設定 → P145

サブディスプレイ設定 (AVIC-VH9990) → P146

オートフラップ設定 (AVIC-VH9990) → P147

ガイド/ハンズフリーSP設定 → P147

その他設定 → P148

DivX VODコード → P149

CD録音/PC転送使用領域設定 → P149

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

ビデオ
サーバー

その他の機器

オーディオ
システム設定

その他の機能

付録

五十音順

あ行

明るさ	152
アクティブコントラスト	152
アングル	52
アングル選択マーク	52
暗証番号	54
イコライザー	
オートイコライザー	137
グラフィックイコライザー	126, 136
色あい	153
色温度	153
色の濃さ	153
映像切換	30
映像出力設定	68, 107
エクスターナルユニット	120
エリアプリセット	18, 24
エンファシス	164
オールランダム	84
オーディオ設定リセット	148
オート (ワイドモード)	154
オートイコライザー	137
オートサウンドセッティング	135
オート設定 (フィーリングプレイ)	81
オートフラップ設定	147
オートプレイ	55
音場	140
音声切換	30, 51, 61, 67, 106
音声多重	32, 61

か行

ガイド/ハンズフリー SP 設定	147
外部機器	122
学習クリア (フィーリングプレイ)	82
画質	152
画質モード	146
カスタマイズグループ	86
画像	93
カットオフ	138
機能設定	35
基本音声	53
基本字幕	53
グラフィックイコライザー	126, 136
グループ	74, 88
黒の濃さ	152
言語コード表	56
高音質	71

交通情報	21
コピーガード機能付き CD	160
コマ送り	48, 58, 64, 103
コントラスト	152

さ行

サーチ	50, 60
サービスリスト	30
再生順変更	90
サウンドセッティング (詳細設定)	135
サウンドレトリバー	131
サーチモード	44
サービス切換	27
サブジャンル	101
サブディスプレイ設定	146
視聴制限	54
シネマ	154
字幕切換	30, 51, 61, 67, 105
ジャスト	154
シャッフル再生	113
ジャンル	101
ジャンル分類	93
主音声	32, 61
消音タイミング	144
消音レベル	144
詳細情報	77, 89, 92
情報取得	97
初期設定	53, 62, 67, 106
スキャン再生	43, 119
スピーカー出力レベル	138
スピーカー設定	137
ズーム	154, 155
スロー再生	49, 59, 65, 103
接続端子	146
操作	31
操作タッチキー	46, 57, 63
ソースメニュー	12
ソースレベルアジャスター	132

た行

ダイジェストスキャン再生	78
タイトル	71, 101
タイトル情報	97
ダイナミックレンジコントロール	133
タイムアライメント	136
タイムシフト	27
タイムバーサーチ再生	42, 50, 60, 67, 76, 105
ダイレクトサーチ	50, 60
ダウン MIX	134
タッチパネルキャリブレーション	156

地上デジタルテレビ	22
チャプター	162
チャンネルスキャン	32
ディスクメニュー	47
デジタルアッテネーター	143
デジタルダイレクト	133
テストトーン	139
データ放送	26
デバイス名 (機器名称)	116
テレビアスペクト	54, 62, 68, 107
トラック	74, 95

な行

ナチュラル	155
ノーマル	154

は行

バックカメラ	145
早送り	41, 44, 47, 48, 57, 58, 63, 64, 102
早戻し	41, 44, 47, 48, 57, 58, 63, 64, 102
バランス	125
パレンタルロック → 視聴制限	54
番組情報取得	24
番組内容	26
番組表	25
バンド	20, 31
ピクチャーインピクチャー	155
ピクチャーサイドピクチャー	154
ビデオ	121
ビデオサーバー (VSV)	101
標準 (音質)	71
ファイナライズ	160
フィーリングプレイ	79
フェーダー / バランス	125
フォルダー	40, 44, 163
副音声	32, 61
ブックマーク	50
プリセット	
エリアプリセット	18, 23
ユーザープリセット	18, 23
フル	154, 155
プレイリスト	74, 91
プレイリスト詳細情報	92
フロントカメラ	145
ポジション	
→ リスニングポジション	136

ま行

マニュアルプリセット	19
マルチ CD	117
マルチアングル	52, 53
マルチ音声	106
マルチ字幕	105
マルチセッション	163
マルチチャンネル	124
ミュージックサーバー (MSV)	70
メニュー言語	53
モニター	146

や行

ユーザーグループ	85
ユーザープリセット	18, 24
予約	33

ら行

ラジオ	18
ラフサーチ	44
ランダム再生	43, 66, 78, 104, 115, 118
リアモニター	158
リアモニター出力	145
リージョン番号	161
リスト切換	28
リスニングポジション	126, 136
リターン再生	52
リピート再生	43, 49, 59, 65, 77, 103, 112, 115, 118
リンクゲートプレイ	83
連続複製防止システム	70
録音	70
録音設定	71
録音領域	70, 73, 100

わ行

ワイド画面	153
ワイドスクリーン設定	113
ワイドモード	154

はじめに
基本操作
放送受信
音楽ディスク
映像ディスク
ミュージックサーバー
ビデオサーバー
その他の機器
オーディオシステム設定
その他の機能

付録

数字

2 画面	29
2 チャンネル	124
3 点式インテリジェントディマー	152
16 : 9	155

A

A2DP	114
AAC	40, 163, 165
ALL REPEAT	115
AM	18
ASL (オート・サウンド・レベライザー)	132
AUTO (ワイドモード)	154
AUTO TA&EQ	140
AUX	122, 145
AUX1 (ライン)	145
AUX2 (IP-BUS)	145
AVRCP	114
AV 初期設定	12
AV ソース	14
AV 入力設定	144
AV プロファイル	114

B

BAND	31
BeatJam (Music)	73
BeatJam (Video)	100
BSM	19
BT AUDIO (Bluetooth Audio)	114

C

CD TEXT	117
CD 録音 / PC 転送使用領域設定	149
CHAPTER REPEAT	49, 59
CINEMA	154
CM スキップ	28, 48, 58, 64, 102
CM バック	28, 48, 58, 64, 102

D

d (データ放送)	26
DDCD	160
DISC REPEAT	43, 49, 59, 65, 118
DivX	63, 165
DivX VOD コード	149
Dolby Pro Logic II	129
DVD-VR	57
DVD ビデオ	46

F

FF/REV	44
FILE REPEAT	65
FM	18
FOLDER REPEAT	43, 65
FULL	154, 155

G

Gracenote®	166
GROUP REPEAT	77, 115

I

ID3 Tag	164
iPod	110
ISO9660	163

J

Joliet	163
JUST	154

L

Link Gate Play	83
----------------	----

M

m3u	163
MAGAZINE REPEAT	118
M-CD → マルチ CD	117
MP3	40, 163, 164
MSV プローブ情報	148

N

NATURAL	155
Neo: 6	130
NORMAL	154

O

OPEN/CLOSE	147
------------	-----

P

PinP	155
PLAYLIST REPEAT	77
PsideP	154
PsideP ワイドモード	155

R

ROM	40
Romeo	163

S

SCMS → 連続複製防止システム	70
SET BACK	147

	SFC (サウンドフィールドコントロール)	128
	SW PLUS	134
T		
	TI (交通情報)	21
	TITLE REPEAT	49, 59
	TRACK REPEAT	43, 77, 115, 118
U		
	UNFIT	80
V		
	VSV → ビデオサーバー	101
	VTR	121, 145
W		
	WMA	40, 163, 164
Z		
	ZOOM	154, 155

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

ビデオサーバー

その他の機器

オーディオシステム設定

その他の機能

付録



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる【☎】フリーコール および【☎】フリーコール および【☎】フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどからはご利用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話:【☎】0120-944-111 【一般電話】044-572-8101 FAX:044-572-8103

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

●カーナビゲーションのネットワーク接続(携帯電話、Bluetooth接続は除く)

電話:【☎】0120-702-383 【一般電話】044-572-8070 FAX:044-572-8103

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:【☎】0120-817-088

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:【☎】0120-5-81028 【一般電話】044-572-8100 FAX:【☎】0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:【一般電話】098-987-1120 FAX:098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:【☎】0120-5-81095 【一般電話】0538-43-1161 FAX:【☎】0120-5-81096

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2010

< KAMFF > < 10B07001 > < CRA4361-A >